第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

政策目標2

誰もが健やかに暮らし活躍できるまち

- 施策2-1 地域医療の充実
- 施策2-2 健康づくり支援
- 施策2-3 出産・子育て支援の充実
- 施策2-4 保育及び幼児教育の充実
- 施策2-5 高齢者福祉の充実
- 施策2-6 障がい者福祉の充実
- 施策2-7 地域福祉の充実
- 施策2-8 多様性のある社会の実現
- 施策2-9 保険・年金制度の運営

担当課	健康推進課		J	施策2-10	の全指標達成		
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1	地域医療の充実	指標数	9	9	9	9	9
市民・観光客等が質の高い医療を受けることがで		達成数	8	7	8	7	0
日指9安	きる	達成率	88.9%	77.8%	88.9%	77.8%	0.0%

			7	00.070	11.070	00.070	11.070	0.070	J			
	指標数 1 1 1 1 1 0 0 kg f f f f f f f f f f f f f f f f f f											
				1	1	·	1	1				
1 5	双果指標(KPI)			1	1	'	1					
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果	地域医療士塔库哈の線集	R1	目標値	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成		/ * / * +#		
指標	地域医療支援病院の継続	承認要件	実績値	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成			健康推		
		達成	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			進誄		
目標値	i 地域医療支援病院の継続は、「紹介率80)% \(\)	. 「紹1	介率65%」	以上かつ逆	紹介率40	%以上I.	「紹介率	50%	ルント		
ロ1示II の	かつ逆紹介率70%以上しのいずれかを満	- , - ,							/ -			
考えた				21107 2	/CC110C0	1000			示し	٥٤۶		
	2311121112			+050/101	1 - by >>+ (-T)	2 = 400(1).1	1	<u> </u>				
	R (実 績 評 価)・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。											
3												
年	(次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担	について啓	発を行い	1、市内・市	i外の医療機	関との連携	を密に行う	ことにより	病診連	携を進		
度	めていく。											
R	(実績評価)・地域医療支援病院の承認要	件について	、「紹介	产率65%以_	上かつ逆紹介	个率40%以	上」を達成	することが	できた	-0		
4												
年	(次年度修正点) ・ 今後も医療機関の機能分担	について啓	発を行い	1、市内・市	i外の医療機	関との連携	を密に行う	ことにより	病診連	携を進		
度	めていく。											
R	(実績評価)・地域医療支援病院の承認要	件について	、「紹介	1率65%以	上かつ逆紹介	7率40%以	上」を達成	することが	できた			
5	() () () () () () () () () ()			. , 00,000	,,			, , , , , , ,				
年	(次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担	について啓	発を行い). 市内•市	i外の医療機	関との連携	を密に行う。	ことにより	病診進	増を進		
度	めていく。		76 213 0	ין ניוטוי או	71-07ES/R/IX				/r302/ /	1/3 2 /2		
R	 (実 績 評 価) • 地域医療支援病院の承認要	供について	「紹介		トかつ道紹介	<u> </u>	ト」を達成	オスことが	できた	1		
6	(大順可圖 / 节地及区域又顶侧顶切外部安	コーにフリー	· 1107	1平00/0以_	エグ・フ定型)	1平40/0以	エ」で建成	a accil.	(0/	-0		
年	(加尔库拉丁卡) 。 今後七原康機則の地外八十	について砂	必ちない	· +m · +	カの圧停##	間 との 声性	ち応に伝言		r==o\≠	性を生		
度	(次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担	にしいて召	光を打り	i、山冈•山	リグトリンと療機	関しの連携	せ 当に 行つ	ここにより	内衫连	勝と進		
反	めていく。											

					指標数	8	8	8	8	8	※ 基/	本的な取 ・主な内容
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁二	コード)	達成数	7	6	7	6	0	71-022	主成状況
					達成率	87.5%	75.0%	87.5%	75.0%	0.0%		
					指標数	2	2	2	2	2		
(21	地域内の医療連携の推	É 進	達成状況	達成数	2	1	2	1	0		
					達成率	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		伊東市医師会と協力した	伊恵寺兄庁院にも	R1	目標値	70.0	72.0	75.0	77.0	80.0	%	// + (=== +/-
	0-	101 伊東市民病院と地域内の 医療機関の連携強化	伊東市民病院にお ける患者紹介率	67.8%	実績値	72.3	67.4	75.8	74.0		/0	健康推 進課
		区原城禺の建扬强10		01.070	評価	〇 達成	× 未達成	〇 達成	× 未達成		以上	
		ませる のかかりつけた	伊恵士の序覧から	R1	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%	//
	0-	102 市民へのかかりつけ医 を持つことの推奨	伊東市民病院からの患者逆紹介率	90.0%	実績値	92.6	90.2	106.5	104.6		/0	健康推 進課
	O101 紹介率は目標に達していることから、今後も医療機関の機能分担について啓発を行うことで紹介率の維持、向上につなげる。											
	R 3 0102 逆紹介率は目標に達していることから、今後も伊東市民病院内の地域医療連携室を中心に、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより、病診連携をこれまで以上に進める。 0101 紹介率は目標に達しなかったが、新型コロナウイルス感染症対策として年間を通じて発熱等診療医療機関になっている診療所においても有症状者の診療が積極的に行われたことが影響し、紹介患者が減少したことによるものである。引き続き地域の医療機関と											
年度		の連携を進めていく。0102逆紹介率は目標に達し行うことにより、病話	していることから、	今後も伊東	市民病院							
	0101 紹介率は目標に達していることから、今後も医療機関の機能分担について啓発を行うことで紹介率の維持、向上につなげる。 PR 8 0102 逆紹介率は目標に達していることから、今後も伊東市民病院内の地域医療連携室を中心に、市内・市外の医療機関との連携を密に											
価	_	行うことにより、病語	き連携をこれまで以	上に進める) ₀						- ///	
	R 6	O101 紹介率は目標に達した 変時などに24時間対 援病院の役割として	応できる体制を構築 「かかりつけ医」を	をしている。 支援するこ	こと、ま ことで、糸	た、開業医 紹介患者数の	訪問の強化な)増加を図る	や地域連携を	感談会を定其	明的に開催し	/地域	医療支
	J	0102 逆紹介率は目標に達し 行うことにより、病詞		- 124 - 12 - 1		党内の地域医	医療連携室を	中心に、市	内・市外の	医療機関と	の連携	きを密に

					指標数	1	1	1	1	1		
(02	2 伊東市民病院の運営	色の充実	達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		伊東市民族院の医療物	* 伊恵市民庁院の労	R1	目標値	420	420	420	420	420		/油库/任
	02	201 伊東市民病院の医療機 能の向上と健全な経営		414人	実績値	400	394	385	356			健康推進課
						× 未達成					以上	
	R 0201 昨年度に比べ常勤職員数は増加しているものの、全体の職員数は目標値には届かず不足していることから、引き続き伊東市民病院と連携し支援を行っていく。											
年度	R 0201 常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金を活用することで、医療機能の向上と健全な経覚に向けた支援をしていく											
/ 译 / 価	R 0201 常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金や医療職をはじめとした専門職に対する移住補助を活用することで、医療機能の向上と健全な経営に向けた支援をしていく。											
	R 6		こ達しなかったことが 輔助を活用することで							医療職をは	じめと	とした専

											_	
					指標数	2	2	2	2	2		
	03	3 救急医療体制の整備		達成状況	達成数	2	2	2	2	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		伊東市民病院が担う第		R1	目標値	365	365	366	365	365	В	73-13-14
	03	301 二次救急医療体制の整	診察日数	366⊟	実績値	365	365	366	365			健康推進課
		備		3000	評価	〇 達成	〇 達成	○ 達成	〇 達成			進味
		第一次救急医療を担う 伊東市立夜間救急医療		R1	目標値	365	365	366	365	365		
	03	302 センターや地域内の医	第一次、第二次救 急の診察日数	0000	実績値	365	365	366	365			健康推 進課
		療機関及び第三次救急 医療機関との連携強化	.0,0,0,0,0	366⊟	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			2011
	R 3	0301 診察日数は目標に達 専門医の確保等、病 0302 診察日数は目標に達 するとともに、伊東	院と連携し支援を行 していることから、	っていく。 現在の第-	·次救急图	医療体制とし	ンて伊東市圏					
年	R	O3O1 診察日数は目標に達 専門医の確保等、病	していることから、	現在の救急				伊東市民病	院での救急	医療機能の	高度(とに向け
度	4	0302 診察日数は目標に達 するとともに、伊東						E師会による	夜間救急医	療センター	の診療	寮を維持
	R	O3O1 診察日数は目標に達 専門医の確保等、病		.,	医療体制	削を継続する	るとともに、	伊東市民病	院での救急	医療機能の	高度(とに向け
佃	5	0302 診察日数は目標に達 するとともに、伊東		.,				医師会による	夜間救急医	療センター	の診療	寮を維持
	R	O3O1 診察日数は目標に達 専門医の確保等、病		.,	医療体制	前を継続する	るとともに、	伊東市民病	院での救急	医療機能の	高度(とに向け
	6	0302 診察日数は目標に達 するとともに、伊東						医師会による	夜間救急医	療センター	の診療	寮を維持

					指標数	2	2	2	2	2		
	04	■ 観光と医療との連携	推進	達成状況	達成数	2	2	2	2	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		来遊客も安心して訪れ	休日当番医	R1	目標値	71	71	71	71	71	В	健康推
	O	401 ることができる救急医	診療日数	76FI	実績値	71	71	72	72			進課
		療体制の整備		700	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	کوناید ا
		来遊客の利用も考慮し		R1	目標値	1	1	1	1	1	施設	健康推
	O	402 た医観連携の推進に資	健診センター数	1施設	実績値	1	1	1	1			進課
		する健診機能の充実			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	R	O4O1 診療日数は目標に達 医療を実施していく。		今後も伊東	市医師会	stによる休E	3当番医制及	び伊東市民	病院による	時間外診療	、第二	二次救急
	3	0402 健診センターの利用:	者の増加を図るため	、市民病院	において	て広報を行う	うとともに、	来遊客につ	いても受入	れを進めて	いく。	
<i>-</i> -	R	O4O1 診療日数は目標に達 医療を実施していく。		今後も伊東	市医師会	≷による休E	3当番医制及	び伊東市民	病院による	時間外診療	、第二	二次救急
年度	4	O4O2 健診センターの利用:	者の増加を図るため	、市民病院	において	で広報を行う	うとともに、	来遊客につ	いても受入	れを進めて	いく。	
	R	O4O1 診療日数は目標に達 医療を実施していく。		今後も伊東	市医師会	≷による休E	3当番医制及	び伊東市民	病院による	時間外診療	、第二	二次救急
価	5	0402 健診センターの利用	者の増加を図るため	、市民病院	において	で広報を行う	うとともに、	来遊客につ	いても受入	れを進めて	いく。	
	R	O4O1 診療日数は目標に達 医療を実施していく。		今後も伊東	市医師会	会による休E	3当番医制及	び伊東市民	病院による	時間外診療	、第二	二次救急
	6	0402 健診センターの利用	者の増加を図るため	、市民病院	において	で広報を行う	うとともに、	来遊客につ	いても受入	れを進めて	いく。	

_											-	
					指標数	1	1	1	1	1		
	05	がいの一般である。		達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		(((中th) 上岸市地名の#	県医療救護計画に	R1	目標値	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院		// + (- ++++
	O:	501 災害拠点病院機能の維持	おける伊東市民病	災害拠点	実績値	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院			健康推 進課
			院の位置づけ	病院	評価	〇 達成	○ 達成	〇 達成	〇 達成			進示
	R 3	0501 地域災害拠点病院とし	ンて、災害用医療資	器材を整備	していく	くことなどに	より、災害	医療体制を	これまで以	上に充実さ	せる。	
年度	R 4	0501 地域災害拠点病院とし	Jて、災害用医療資	器材を整備	していく	くことなどに	より、災害	医療体制を	これまで以	上に充実さ	せる。	
度評価	R 5	0501 地域災害拠点病院とし										
	R 6	0501 地域災害拠点病院とし	Jて、災害用医療資	器材を整備	していく	くことなどに	より、災害	医療体制を	これまで以	上に充実さ	せる。	

担当課	健康推進課			施策2-20	の全指標達成	戊率	
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2 健康づくり支援		指標数	20	20	20	20	20
月指す姿	市民がライフステージに合った、健康的でいきい	達成数	4	4	6	8	0
日拍9安	きとした生活を送ることができる		20.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%

			指標数	2	2	2	2	2		
1 A	は果指標(KPI)		達成数	0	0	0	0	0	•	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果	 健康寿命(お達者度)	H28	目標値	男性18.08 女性20.84		男性18.37 女性21.01		男性18.65 女性21.19	年	
1		男性 17.48年	実績値	_	_	_	_	_		健康推 進課
		女性 20.30年	評価	_	_	_	_	_	以上	
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標	 お達者年齢		目標値	_	_	_	_	_	歳	
1		<u>*</u> 1	実績値	男性79.0 女性84.2	男性78.8 女性84.2	R7.9公表	R8.9公表		700%	健康推 進課
			評価	_	_	_	_	_	以上	
目標値の考えが	実績を基に、令和8年度以降の推計をし		去公表資	資料を基に 持	隹計した将	来予測値を	·設定。今	後、令和3	年度	以降の
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標	健康意識(いとう健康マイレージ	R1	目標値	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600		72 CT +44
担信	参加者数)	47.550.1	実績値	16,032	16,701	17,014	17,377		人	健康推 進課
_		17,550人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	连床
目標値の考えが	通じ運動習慣を持つ人の増加につなげる	種健康診断 ことで、何	断やがん 尹東市民	検診等の	受診促進と 哉の向上と	、健康教室 健康寿命の	室や介護予)延伸を図	防活動など る。	への	参加を
R 5	2(実績評価)・運動教室や健康相談などが 健診受診者はコロナ禍以前ま							曽加傾向が見	見られ	たが、
年度	(次年度修正点)・健康マイレージ対象事業で							市民を増やす	t.	
R 6	2(実 績 評 価)・運動教室や健康相談などの が、目標は未達成となった。	参加者及び	健診受診	含もWEB	予約などによ	り増加し、	昨年度より	も300人	以上增	見えた
年度	(次年度修正点) ・健康マイレージ対象事業で す。	ある検(健	診や傾	康講座、民	間業者等の	周知を図り、	. 健康づくり	りに取り組む	3市民	を増や

※1 お達者度は令和5年度に公表された令和2年度実績をもって廃止となり、令和6年9月9日に公表された令和3年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなったため、成果指標を変更する。令和3年度以降の実績を集計し、令和8年度以降の目標値を推計していく。

			0.216,636,134,168,	,,,,,,,	15-12-WF	10	40	40	40	40	1 #-	+45+ 10
					指標数	18	18	18	18	18	※ 叁/	本的な取 ・主な内容
2		基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁二	コード)	達成数	4	4	6	8	0		主成状況
					達成率	22.2%	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%		
			*.た健康づく		指標数	2	2	2	2	2		
(O1		ンに関係ノヘ	達成状況	達成数	0	0	1	2	0	1	
		りの推進			達成率	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R1	目標値	7,398	7,418	7,438	7,458	7,478	1	72 CT +44
	0	101 年代別の健康の特徴に 合わせた事業の実施	健康教育利用者数	7.070.1	実績値	3,327	4,819	5,823	7,597		人	健康推進課
		ログはた事業の美胞		7,378人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	〇 達成		以上	進味
		民間施設や運動指導の専	運動初心者を対象に	R1	目標値	700	700	700	700	700		
	0	102 門職等と連携した参加し かすい健康づくの事業の	した教室※2の延べ	5071	実績値	324	642	817	1,226		人	健康推
		実施	参加者数	527人	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	進課
		0101 新型コロナウイルス原	感染症拡大防止のた	め、教室は	中止又に	参加人数の	制限等規模	を縮小して	実施している	る。特に不特	記多	数が参
	R 加するキャンペーン事業を中止したため利用者数が大幅に減少した。											
	3	0102 同上の理由により、	参加者数が減少して	いる。また	2つの選	動教室が高	齢者福祉課	へ移ったこ	とも参加者数	数の減少の要	要因と	なって
		いる。										
		0101 新型コロナウイルス原										
	R	し、健康チェック事業 ながら再開していきが		ソハーツは	この个特	アラダルで	別りる事業	は 中 正 し C	いるにめ、	ラ俊は感染が	EXJ朿	を行い
	1	0102 新型コロナウイルス原	<u> </u>	1 アハた料	安を市門	11 たことに	・トル マゎ	ぞり の 数字:	会加来が始け	の」た 数5	マ宇佐	味知ち
年	-	感染症が落ち着いてき										
度		行いながら、市民に制					u siecei.		1000 01		<i>ж</i> ш,	
反		0101 健康チェック事業や含					の増加につ	ながった。	しかしながら	う、目標値に	こ達し	なかっ
評	R	たのは機会の提供がス	下足していると考え	るので、充	足を図る	5 .						
	5 0102 運動習慣の促進を目的とした、新規健康講座の開催など各種教室の開催回数が増えたため。											
価												
		O1O1 健康機器を使った健康		動や食生活	などの健	康教室の増	加により、	目標値を達	成できた。ま	また、健康語	構座の	依頼も
	R	増えており周知に力を	を入れる。									
	6	0102 市内スポーツジムを介	して静岡県エアロ	ビック連盟	と連携し	た教室を実	施したこと	や、壮年期	が参加しやす	すいように否	友間の	運動教
		室を開催したことに。	より、参加者が増加	した。今後	は運動に	関心がない	人が参加し	やすい企画	を検討してい	۱<.		

						指標数	3	3	3	3	3		
()2	2 生活	5習慣病対策		達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
						達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		4	活習慣病に関する知		R1	目標値	49.0	54.0	60.0	35.0	40.0	%	健康推
	O2		洒音関例に関する和 の普及啓発	特定保健指導実施率	33.8%	実績値	30.5	26.3	18.6	R7.10公表			進課
		094			00.070	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
		<u>*</u> *	煙・受動喫煙に関す		R1	目標値	10.0	10.0	9.0	9.0	9.0	%	健康推
	O ₂		情報提供	女性の喫煙率	11.3%	実績値	10.6	11.2		R7.10公表			進課
			TIS TIKIKE IV					× 未達成				以下	X=U/K
		15/2	周病等歯の健康に関	歯科教育への参加	R1	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	人	健康推
	O ₂		る健康教育の実施	人数	3.709	実績値	2,080	2,478	2,585	2,804			進課
		_		, ,,,,	٥,, ٥٥				× 未達成			以上	7.2.01
		0201	保健師等からの電話に										
			スが多く、また、新型										
	R 0202 各種健康相談での個別禁煙指導や、職域健診時の禁煙に関する情報提供を行ったことにより、喫煙率は減少しているものの、目標 達成には至らなかった。												
	0203 新型コロナウイルス感染症拡大による講座・教室等が中止になったことに伴う参加人数の減。国・県からの新型コロナウイルス関												
			連情報の収集を積極的	りに行い、開催時期	の変更なと	検討する	5 .						
		0201	個別対応となる特定係 Tの利活用など対象を						向が見られ、	、前年度を	下回った。 *	今後は	, IC
		0202	新型コロナウイルス原	成沈庁の影響が小な	ノたり 性	宁健於西	≤≤∞∞/++曲hr	リート一方で	助価索什	減とたらたか	かった	幺土纠	A=O1/
	R 4	0202	禁煙、受動喫煙の健康				でう学は追加	10/2-/J C	、吹圧学は	吸しなりなん	J. ノ/こ。 フ!:	夕し心	
		0203	令和4年度においても	5新型コロナウイル	ス感染症σ)感染拡大	防止等の理	由による歯	科教室等の	一部中止や、	対象施設(の園児	、児
年		0200	童、生徒数の減少に。	より、目標人数を大	幅に下回っ	た。社会	的要因に影	響を受ける	が、継続的	に周知方法を	5考慮して	事業展	開して
			いく。	_	- 1446	- 1/1			.E. (1)				T-11 C -
度		0201	特定保健指導対象者は確保が困難であった。		- 1111-1-12						川えて、勧告	芝専門	職員の
		0202	健康相談を13回1,					施した。喫	煙が習慣化	している人	\のアプロ-	ーチ方	法に改
評	R		善が求められている。										
oΤ	J	0203	対象施設での歯科教室	室等の実施回数が増	加したこと	で参加人	数も増加し	た。実施内	容としては、	、対象となる	る施設と打ち	う合わ	せを行
			い、適切な支援を施設		。児童生徒	数の減少	か大きく影	響している	か、歯科教	至等の開催)	う法につい	€、様	マな機
価			会を捉えて実施してい	100									
		0201	令和7年10月公表										
	R	0202	令和7年10月公表										
	6	0203	対象の園児や児童数点	が減少しているため	目標値には	達しない	が、災害時	対応の啓発	を高齢者健康	東体操クラブ	ブの20か所	532	人に実
		0200	施したため、昨年よりている。)実績値は上がった	。また、別	途出張相	談を328/	に対し行い	、健康に関	する正しい	知識の普及	啓発を	実施し

					指標数	2	2	2	2	2		
	03	健全な食生活の推進		達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		ホームページ等ICT			目標値	4	4	_	5	6		健康推
	03	3O1 を活用した望ましい食	ICT活用回数	_	実績値	8	8		•			進課
		生活の情報発信		% 3	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		伊東ならではの食材を生	◆	R1	目標値	1,000	2,500	2,600	2,700	2,800	,	// + (===+#
	03	302 かした地域の食文化の継 承、食育推進団体との連	食育推進団体活動 延べ人数	0.004	実績値	878	869	1,396	1,652		^	健康推 進課
		携強化	二 進へ入数	2,804	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	進味
		0301 新型コロナウイルス原	感染症の感染状況を	鑑み、栄養	講話や米	料理教室が中	止となった	ため、料理	動画を撮影	一普及啓発に	こ努め	た。
	R											
i	3 0302 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、食のイベント等が中止となったため。											
		0301 ICT活用回数は目標に	達していることかり	ら、今後も	望ましい	食生活の情	報を発信し、	、健全な食	生活を推進し	ノていく。		
年	R 4	 0302 登録団体は、昨年度。	トの1団体小なくつ2	団体であっ	<u>、</u> た ‡#	= ¬¬+	aで合くがゝ	/トの汗動か	がカルとたり	口煙估什	支成で	* キた
لمد		かった。引き続き食剤					リし戻すハン	ノーのカロ動力	中田になり	、日际心は	建成し	.0%
度		0301 I C T 活用回数は目標					情報を発信	し、健全な	食生活を推済	隹していく。		
≣亚	R	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			. 0 0 . 0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	113 112 07 010		24270 0127			
01	5	0302 登録団体は、昨年度。	より4団体少なく1	9団体であ	iった。 I	コロナ禍以降	の食イベン	/トが縮小し	ていて、目標	票値は達成で	できな	かった
価	j	が、「産業フェアして	ずおか2023」を視	察し、他地	域の地産	E地消やPR	方法等を学	び、連携強化	比に努める。			
		0301 CT活用回数は目標	票に達していること	から、今後	も望まし	ルの食生活の	情報を発信	し、健全な	食生活を推済	進していく。		
	R											
	6	0302 食育推進団体の登録が						票値は達成で	できなかった	が、「産業	フェフ	アレず
	:3	おか2024」の視察 令和3年度からの新規事業の			他し、進	捞蚀化に分	めいこ。					

											_	
		. 受診しやすい健(検)	診の環境づ		指標数	1	1	1	1	1		
()4	「 くりと健(検)診内?		達成状況	達成数	0	0	0	1	0		
		くりこ庭(快)診内は	合の元夫		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		伊東市医師会等と連携	各種健(検)診の市	R1	目標値	2	2	2	2	2	勿生	// + (== +#+
	O	401 した受診しやすい体制	内での実施医療機関	〇機関	実績値	0	1	1	6		毎年	健康推進課
		の整備	の増加数 ※4	の協関	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	〇 達成		以上	连床
	R	0401 伊東市医師会等と連携									各種	健
	3	(検)診を同じ会場で	で受診できる総合的	な健(検)	診体制 <i>0</i>)整備を目指	し、実施医	療機関数を	増やしている	<.		
		0401 目標の2件増加までは										
左	R	健(検)診と同時にで	できる医療機関が増	えた。引き	続き受診	機会の増加	に向けて、	受診動向を	踏まえ伊東市	市医師会等/	∖働き	かけた
年度	4	<i>ι</i> ۱.										
戸	R	O4O1 特定健診と後期高齢で	旨健診の実施医療機	関が1機関	増加した	-0						
·度評価	5											
	R	O4O1 胃がん検診の実施に係	半い医師会医療機関	のうち胃内	視鏡検査	を実施して	いる6医療	機関が追加	となった。	そのため、そ	その6	医療機
	6	関においては同時に到	実施できるがん検診	項目(胃が/	ν検診)が	増加した。						

6 関においては同時に実施できるかん検診項目(育かん検診)が増加した。 ※4 市外での実施医療機関体制構築が困難なため、管理指標を「市内」と修正したことに伴い、目標値を「3」から「2」とした。																	
' 4	市	がでの実施医療機関	体制構築	心が困難なため、 管	理指標を「		_修		اع		目柱		3]			1	
	_	ont-	-	C +4\4	· · · · · · · · ·	指標数		6		6		6		6	6		
O!	5	こころの健康:	0 < 0	り推進	達成状況	達成数	<u> </u>	3	<u> </u>	3	_	3	ļ.,	3	0		
		<u> </u>		77.TD+K+#	#># I#	達成率	۲	50.0%	5	50.0%	۲	50.0%	,	50.0%	0.0%		+0.1/2
		主な内容		管理指標	基準値	日標値		R3		R4		R5		R6	R7		担当
_	_ (。 健康講座等にお	ける情	#≢#######	R1			15		20		25		25			健康
\ C)5(01 解提供の充実		情報提供機会	50	実績値 評価		15 達成		15 未達成		15		15 未達成		以上	進設
					D.4		0		X		X		X			以上	
				A	R1	目標値		1		1		1		1	1		健康
				会議開催数	1 🗆	実績値		0		0		0	1	0			進設
		庁内各部署及び伺	8亩市库]	評価	×	未達成	×	未達成	×	未達成	\times	未達成		以上	
	_ (02 師会等関係機関と		研修開催数(職員	R1	目標値		1		1		1		1	1		健康
C)5(~ トリークを利用し		対象自殺対策研	1 🗆	実績値		1		1		1		1			進設
		体制の構築と人材	才育成	修)			0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	ر ا
				 研修開催数(ゲー	R1	目標値		2		2		2		2			健康
					20	実績値		3		3		3		3			進制
				לפוולט זיי	1	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	J
		インターネット	を利用	こころの体温計ア	R1	目標値	-	10,000		10,000	1	10,000		10,000	10,000	件	なま
C)5(03 したセルフチェ	ックの	クセス数	8,587件	実績値		7,395		6,702		6,776		6,676		+	健康進
		普及啓発		ノビへ数	0,0071	評価	X	未達成	X	未達成	X	未達成	×	未達成		以上	Œ
		こころの打手が事	# O FII	./\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\	R1	目標値		12		12		12		12	12		/2± (==
C)5(O4 こころの相談事: 用促進	乗の利	メンタル相談の実施回数 施回数	100	実績値		10		12		12		12		- 0	健康進調
		用促進		他山致	100	評価	X	未達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	進
	(0501 保健委員・民 実施した。今	、電話や 生委員や 後も健康	や来所等に対して応 や市役所管理職への 表の社会的決定要因	対した。 メンタルへ を考慮し、	ルスに 日程調 <u>書</u>	つい 怪を	ての講座 しながら	≧や 5研	市民・市 修を実施	役員	所新規採 ていく。	用罪	哉員対象	のゲートキー	-/パー	研修
F 4	3	0502 コロナ禍によ コロナ禍で得 0503 チラシや伊東	た啓発ア	5法(SNS、ZOC	DM等)を参	参考に会	議と	同等の	手法	を検討し	た	い。					
		0504 伊東市メール	マガジン	も活用し、若い世代 Vを活用し、メンタ る旨掲載したところ	ル相談で相	談できる	3内	容の一部	『を	具体的に	ΓΞ	季節によ	る				での
		0501 保健委員や市 した。関係部	役所管理 との選	里職へのメンタルへ 重携、協力、理解が	ルス講座、 必要となる	市民や市	お役割き	所の新規 続き研修	採等	用職員な の機会を	どる 検i	を対象と 対する。	した	ミゲート	キーパー研修	多など	
F	3		行される	ることから、取組内	容の強化を	図ってい	1<	0									
		0503 各種研修会等 した。今後も 0504 メンタル相談	セルフラ	チェックの普及啓発	に努めてい	\ <.											
		ある。 0501 保健委員、市	役所管理	里職に対しメンタル													
F		き続き研修等 0502 一般市民、市			社職員にク	ートキー	- <i>J</i> °	一研修を	実	施。職域	^(の知識普	及る	を強化し	ていく。		
6		O <mark>503 昨年から引き</mark> クをしないた		「こころの体温計」 知方法を見直すとと									した	こが、良	好な人は継続	売して	チェ
	(0504 メルマガによ	る募集な	ゆ伊豆新聞等でのPF	Rを強化する	るととも	に、	各種相	淡て	でも案内の	りチ	ラシ等の	D配	布を強化	じた。		

						指標数	4	4	4	4	4	1	
(06	: 成沈	症対策の推進		 達成状況	達成数	0	0	1	1	0		
		※ ※	作对 ROJEE		(主)(八)(1)	達成率	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値	连戍华	R3	R4	R5	23.0% R6	R7	半位	担当課
			エタ内台	日吐田宗	R1	目標値	10		10	10	10		担当味
	06	. 感	染症に関する正しい	== 334 ◇ 88 / 世 米/1	וח	実績値	5				10		健康推
	U	501 知識	戦の普及	講習会開催数	40		_	_	_	_		IVI E	進課
					D.4				× 未達成		400	以上	
	0	~~ 予防	方接種の実施及び検	定期予防接種の	R1	目標値	100		100		100	%	健康推
	U		本制の整備	接種率	97.4%	実績値	99.6		88.5	90.7		1	進課
									× 未達成				
		咸多	染症を予防する生活	肺がん・肺結核検	H30	目標値	36.0		36.0	36.0	36.0	%	健康推
	06		置づくり	診受診率	11.4%	実績値	10.3		R8.2公表	R9.2公表			進課
				u> > 0> 1			× 未達成					以上	2011
		災害	鳥時の感染症予防に	災害時医療救護等	R1	目標値	2	2		2	2		健康推
	06		\て関係医療機関と	対策連絡会の実施	20	実績値	0	1	2	2			進課
		の連	重携強化	対 水 建 心 云 切 夫 心	20	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	進床
		0601 (呆健委員の全員研修会	会で実施。後半の研	修が新型ニ	ロナウィ	′ルス感染症	E拡大防止σ	ため中止に	なり10回実	施予定が5	回にた	なった。
		0602 #	接種時期の紹介など(の接種勧奨を実施し	、全体の接	種率とし	ては、10	0%に近つ	がいているが	、種類ごと	こみると8(○%前	後に留
	R	=	まっている予防接種を	もあり、目標達成に	は至らなか	った。							
	3	0603 ‡	准計対象者数8,585	人受診者2,741人	R2はコロ	ナ禍で受	診者が減っ	たが、R31	す少しずつで	だはあるが受	診者は増加	してい	1る。
		7	さらに感染対策を強化	比し、受診勧奨を図	る。								
		0604 \$	新型コロナウイルス原	感染症拡大防止のた	め中止								
		0601	呆健委員の研修会で原	感染予防の研修を実	施。特に手	洗いの重	要性をPR	するために	手洗いチェッ	ノカーを用い	て、保健委	員がE	自ら「正
			しい手洗い方法」にご	ついての研修を行っ	たが未達成	であった	。今後、福	副祉施設等力	ら講習会開	催の依頼がる	あった際には	は、健	康の社
			会的決定要因に考慮し										
			令和4年度から積極的				宮頸がんワク	7チンの接種	率(14.1%	6)が全体接	種率の減少	に影響	響してい
	R		る。引き続き国の推り										
	4	0603 3	推計対象者数26,14 6	6人受診者2,713人	令和3年	度及び令	和4年度は	少しずつで	はあるが受調	多者は増加し	ている。		
			さらに感染対策を強化	化し、受診勧奨を図	る。なお、	県の推計	├総数が合₹	03年度及び	令和4年度で	では違ってい	るので、目	標値に	は今後
		(の数値で修正する。										
			新型コロナウイルス原								イルスによる	る制限	が緩和
年		7	された中で、健康の神	社会的決定要因を考	慮しながら	開催して	こいき、関係	系医療機関と	の連携強化	に努める。			
		0601	目標値には届かなかっ	ったが、保健委員対	象に感染症	に関する	ち支部研修を	50実施し	たほか、担	当保健師から	るは日常的に	こ事業	を実施
æ			する中で感染症対策に										
度		0602 =	令和4年度から積極的	的勧奨を再開し、統	計対象とな	った子宮	頸がんワク	フチンの接種	率(12.9%	6) が全体接	種率の低下	に影響	響してい
	R	7	る。引き続き国の推り	奨体制等に沿って周	知を図りた	:UN.							
評	5	0603 =	令和8年2月公表予定	Ē									
UI													
		0604 1	年2回開催し、目標に	こ達した。今後は、	連絡会を通	じ感染症	予防を鑑み	ナた訓練内容	の検討や資	機材の購入し	こついて関係	系医療	機関と
価		ì	重携を図っていく。										
		0601 E	作年度と同じく保健	委員の研修会にて実	施、コミセ	ことまつり)等で保健す	長員通信等で	のPRも行い)実施したが	、目標値に	は届か	かなかっ
		1	たため、更に増回に1	ついて検討する。									
		0602 =	令和4年度から積極的	的勧奨を再開し、統	計対象とな	さった子宮	頸がんワク	7チンの接種	率(20.9%	6) が全体接	種率の低下	に影響	響してい
	R	1	るが、確実に接種率に	は向上している。引	き続き国の	推奨体制	等に沿って	「周知を図り	たい。				
	6	0603 =	令和9年2月公表予定	ŧ									
		0604 1	年2回開催し目標を過	達成した。今後は、	感染症予防	をテーマ	にした訓練	東内容につい	て連絡会で	検討するとの	ともに、関係	系医療	機関と
			も情報共有を図っては										

担当課	子育て支援課			施策2-30	の全指標達成	艾 率	
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	出産・子育て支援の充実	指標数	16	16	16	16	16
	子育て世代が安心して出産ができ、心身共に健や かに子育てができる	達成数	7	9	12	11	0
,	子どもが心身ともに健やかに成長できる	達成率	43.8%	56.3%	75.0%	68.8%	0.0%

				指標数	2	2	2	2	2	1	
1	成果指標(KPI))		達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
⊆\;			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成別指	☆ 丁月して米!	しいと思う親の割合	R1	目標値	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	%	子育て
1	* (乳幼児健康	康診査アンケート)	90.5%	実績値	93.9	94.2	94.3	96.6			支援課
		1) L CD 3 to a thin A a 3 to		· .—	〇 達成	○ 達成	○ 達成	〇 達成		以上	
目標		いと思う親の割合のうち、									
考え		3、1歳6か月児、3歳児優 とを見込んで目標値を95%		יע יענטיי.	ノートで果	計しに場合	の基準値	90.5%&	省まん、合	·干及	1 %柱
57			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	半位	担当課
成		育て支援の充実」に満	R2	目標値	63.5	65.0	66.5	68.0	70.0		担当味
指		市民の割合(市民満足		実績値	55.1	53.0	57.1	58.5	10.0	%	子育て
2	度調査)		62.0%			× 未達成				以上	支援課
日標	値 基準値である	令和2年度の結果をもとに	 、各年度 <i>*</i>						とした。		
σ								, .			
考え	方										
	1(実績評価)	• 妊娠期からの切れ目ない充	実したサポ	一ト体制	により、目	標を達成で	きた。				
R	(次年度修正点)	産前、産後サポート等新た	な事業も追	加して展	開していく	ため、更な	る充実を図る	る。			
3		15円 コロナウノル コ成物点	tt+に トフ	夕任市兴		より 上 上 日 上 に に に に に に に に に に に に に	の見郷生に	F10 = = = = =	#D#AD#	形法を	きせる
度	2(美額評圖)	新型コロナウイルス感染症 きなかった。	払入による	合性争果	の角催中止	.心然候船小	の影響寺には	より、中氏が	両正及の日常	景恒さ	達队で
150	(次年度修正占)	新型コロナウイルス感染症	対策を行い	タ	業を通営運	い関催する	ことたどに、	より 出産・	・ 子音でも指	どの存	宝を図
	(外午及廖正杰)	る。	VIN G 110	· DŒŦ	大きたので		دد مدادر	スツ、田庄	J H CXII	♥ ♥>) L	7.60
	1(実績評価)	・ 妊娠期からの切れ目ない支	援体制の充	実により	、子育て期	に子育てを	楽しく思う	親の割合のE	目標を達成す	するこ	とがで
		きた。									
R	(次年度修正点)	• 伴走型支援の充実や産後ケ	ア、産前産	後サポー	トの新規事	業の展開に	より更なる	充実を図る。			
4	(+ (+ (- 5 //02				\
年度	2 (実績評価)	新型コロナウイルス感染症 きなかった。	拡大による		の開催中止	や規模縮小	の影響等に	より、市民活	歯足度の目標	票値を	達成で
反	(勿年度終正占)	出産・子育て支援に関する	性起た古兄	リーカナレフ	海打かつゴ	油に必信し	夕徒中兴:	た田海に宝魚	なオスニンに	10	ш
	(水牛及修正黑)	産・子育て支援の充実を図る			週別の フル	述に光后し	、 首性尹未?	で口消に夫別	せりることに	-みり	, ш
	1 (実績評価)	妊娠期からの切れ目のない		充実によ	り、子育て	期に子育て	を楽しいと	思う親の割る	今の月標値を	達成	するこ
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	とができた。									
R	(次年度修正点)	・現在、実施している事業の	見直しによ	り、子育	て世帯が子	育てを楽し	いと感じられ	れるよう、ま	支援の充実を	を図る	0
5											
年度	2 (実績評価)	・目標値を達成できなかった					なり、各種	事業を通常過	通り開催する	ること	ができ
及	()加尔克姆丁 上)	たことにより、満足度は過去					(ラカケラリ	₽ ₩+		トナフ	
	(次年度修止点)	・出産・子育て支援に関するより、出産・子育て支援の充					信刀を高め、	、	2円消に実施	世9 る	رحار
	1 (実 績 評 価)	・伴走型相談支援体制の充実					と思う親の	割合が増え	日標値を過	を成す	ること
		ができた。		J TU4		CCACOI				E120 9	JCC
R	(次年度修正点)	・引き続き、妊娠期からの切	れ目のない	支援体制	の充実に努	めていく。					
6											
年	2(実績評価)	目標値を達成できなかった		子育て支	援に関する	各種事業の	開催や各種類	媒体による情	青報発信によ	じり、	市民満
度		足度は年々向上してきている	-								
	(次年度修正点)	・引き続き、出産・子育て支				施し、各種	媒体によるす	市民への発信	言力を高め、	出産	・子育
		て支援の充実を図り、市民満	正度を高め	しいさに	. V 1 ₀						

					+15.4至.44	1	4.4	1	4.4	1	4.4	I .	4.4			× =-	本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・ 主な内容(4歩)	1— E1	指標数達成数		14 6		14 8		<u>14</u> 11		<u>14</u> 10	14	•	組	・主な内容
_	2	基本的な取組(2桁コート)	- 1747 谷内の土・	ורן – ו	達成率	1	12.9%	-	<u> </u>	7	8.6%		1.4%	0.09	0/.	<i>ත</i> ;	達成状況
					指標数	4	5	_	5	- 1	5	1	5	5	⁄o		
() 1	子育て世帯の経済的	古塔の推進	達成状況	達成数		2		2		3		3	0			
	ו כ		又]友0月任(年	建规机加	達成率	1	- <u>-</u> 10.0%		- <u>-</u> 10.0%	6	0.0%	60	0.0%	0.09	0/_		
		 主な内容	管理指標	基準値	建热平	-	R3		R4	0	R5		7.0 <i>7</i> 6 R6	0.07 R7	_	畄位	担当課
		工体均量	日在1日1年	至手追 R2	目標値		230		235		240		245		250		
	0	101 誕生祝金の贈呈	出生数(暦年)		実績値		208		215		212		171			件	子育て
		TO T DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE PROPER		242件	評価	×	未達成	×	未達成	×		×	 未達成			以上	支援課
				R2	目標値		2		3	/ \	3	/ /	3		3		
	0	102 子育て支援医療費助成	制度周知の回数		実績値		2		3		3		3				子育て
	-			1 🗆	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成			以上	支援課
				R1	目標値	Ť	260	Ť	265	_		_			_		
			妊婦健診助成件数	07.4	実績値		235		240						_	件	子育て
			<u></u> %5	271件	評価	X	未達成	X	未達成						_	以上	支援課
	O.	103 妊産婦健診助成		R1	目標値		250		255						_		
			産婦健診助成件数	057/11	実績値		223		205						_	件	子育で
			<u></u> %5	257件	評価	X	未達成	×	未達成						_	以上	支援課
				R1	目標値		85		85		85		85		85		
				וח	日际但								- 65		65	人	子育て
	0	104 不妊治療費助成	延べ支給人数	04.1	実績値		88		106		56		44			/\	支援課
				81人	評価	0	達成	0	達成	_	未達成	V =	丰泽战			以上	2 4324011
				R4	目標値		上 一		上 一		100	^ /	100	1	00		
			妊婦健診助成率		実績値						100		100		-	%	子育て
			<u></u>	100%	評価		_		_	0	達成	0	達成			以上	支援課
	U	105 妊産婦健診助成		R4	目標値		_		_		100		100	1	00	%	フヴァ
			産婦健診助成率 ※5	100%	実績値		_		_		100		100				子育て 支援課
					評価			<u> </u>		0	達成)	達成			以上	
		O101 出生数の減少により を整えていきたい。	目標を達成できなか	った。出産	• 子育((文:	援制度を	允	美させ、	 手育	1 (世代)	か女!		出産・チ	一首(じさ	る境境
	R	0102 2回の周知完了により) 日煙を達成でき	=													
	3	0103 妊婦健診の助成は1C			%になっ	7 L'	ないたと	か居	知め受診	念 春九	受等を充	1字	ていき	たい			
		O104 充分な周知により、													١,		
		0101 目標値は達成できなが														え心し	て出
		産・子育てできる環境															
	Ь	O102 3回の周知完了により)目標を達成できた。	今後も制	度の周知]に多	努めたい	0									
	R 4	0103 妊婦健診及び産婦健										和元年	年と比	蛟すると	二減少	/傾向	であ
		り、今後も増加する															
		0104 新制度の開始により、	旧制度適応の申請	者が増え全	体として	甲	請者数力	増加	かした。	今後	きも周知:	や相語	淡しや	ずい体制	引づく	いに	.努めた
年		()。	ᄆᆥᆉᆉᆌᄼᄝᄱᆉ	フレレナに	- +	- 67 1	+EO		. 	+ =1	m + =		->+ +	△= →1 <i>▼</i>			
+		0105 引き続き、医療機関															ウ フち
		O1O1 出生数の減少によりE 支援していきたい。	コ际で連択しらなか	ノル。 正性	- 丁月(·又:	1を叩らり。	ソノてき	大、削岌	·UJI	別に劣の	ب) رو	丁月	C LE1 VO.	ノ山道	= - 1	月して
度		0102 3回の周知完了により)日標を達成できた	今後共制	度の周知	11,7 \$	区めたい										
	R				ᆺ	راد	۱ ۷۵/روور	0									
評	5	0104 令和4年度から保険過	適用になり1年が経済	周し、旧制	度の申請	者は	は0で申	請者	き数とし	ては	減少した	≥ څ	後も周	別や相	談し	かす	い体制
от		づくりに努めたい。			. 210												
		O105 妊娠届を提出した全	ての妊産婦に対し、	健診の助成	なができて	T61.	る。引き	続	き、あら	ゆる	る方法で	周知	し漏れの	のないよ	こうに	して	いく。
価																	
		0101 出生数の減少により	目標を達成できなか	った。出産	• 子育で	(支	援制度の)充	実、制度	の居	知に努	めて、	子育	て世代の)出產	€•子	育てを
		支援していきたい。															
		0102 3回の周知完了により	り目標を達成できた。	・今後も制	度の周知	ルに多	答めたい	0									
	R	0404 中誌 老** トレブ (1)で	リレ <i>ブ</i> ロフ 中華ナ	※由士フナ	- A A E -	חאר.	+□=₩ <i>!</i> +-#-	1+*	Eta a t	1 > 4	- = 1-50	4-71	1++1	,			
	6	0104 申請者数としては減! 	少している。 申請を	布室9 るた]/\(())周失	<u> </u>	怕談体制	מיכענו	雨れのな	V 19	くつに劣	y) ((ハさに	/10			
		 0105 妊娠届を提出した全 ⁻	ての好産婦に対し	健診の助す	かできて	-1.1	ス 21キ	:	きねに	MZ	方注で	国知	に漏われ	カたい	- >1-	1.7	1.16
		0100 対派田で近田0/6主	CONTIEXUICATIO	はロンマノロハリン	My CG (_ / / /	O. 21C	י טעוו -	ر دری ک	0 W	DI DICI		U11811 LC	אועטיכי	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	-00	V 1 0

※5 出生数が減少傾向にあるため、管理指標0103を見直し、管理指標0105を新設した。

201 総合的相談窓口の設置 子育て世代包括支援 接センター、妊娠・出産包括支援 東美値 2.024 2.324 2.104 2.153 2.153 2.024 2.324 2.104 2.153 2.153 2.024 2.324 2.104 2.153 2.153 2.024 2.324 2.104 2.153 2.1	当										
主な内容 管理指標 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 単位 担 0201 及び産前・産後の専門 的支援の充実化 場に対する原育環境及び 原・出産包括支援 事業の利用者数 事業の利用者数 原注 できた。今後も相談したすい体制づくりに努めていきたい。 1,778人 事業の利用者数 の 達成 の 達	育で 接課 育接課 育様課										
A	育で 接課 育接課 育様課										
O201 及び産前・産後の専門的支援の充実化 接センター、妊娠・出産包括支援事業の利用者数 実績値 2,024 2,324 2,104 2,153 以上	接課でで選挙できます。										
O201 及び産前・産後の専門 的支援の充実化 接ゼンダー、妖・出産包括支援 事業の利用者数 1,778人 字 価 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 以上 2,324 2,104 2,153 以上 2,104 2,154 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104 2,104	接課でで選挙できます。										
# の	育て援課										
発達面で支援が必要な 子どもとその保護者等 に対する療育環境及び 相談支援 さくらんぼ教室、 ポニーの教室、リトルキッズの開催 回数 R1 36回 目標値 実績値 20 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 3	発課で育て										
0202 子どもとその保護者等に対する療育環境及び相談支援 ポニーの教室、リトルキッズの開催回数 実績値 20 36 36 36 36 0203 保護者のネットワーク づくりの推進 母親交流事業、海カフェ、多胎児ピアサポート事業の開催回数 日標値 50 52 52 52 52 0204 子育て支援に関する情報発信の充実 メルマガ、アプリ等による情報発信回数 R2 目標値 12 12 12 12 12 0201 各事業の充実により目標を達成できた。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。	発課で育て										
Raction Campa の	² 育て 返援課										
0203 保護者のネットワーク づくりの推進 母親交流事業、海 カフェ、多胎児ピアサポート事業の 開催回数 R1 48回 実績値 28 51 93 114 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	援課										
0203 保護者のネットワーク づくりの推進 カフェ、多胎児ピアサポート事業の 開催回数 大ルマガ、アプリ等による情報発信 回数 実績値 28 51 93 114 0204 子育て支援に関する情報発信の充実 メルマガ、アプリ等による情報発信 回数 年間標値 12 12 12 12 12 0201 各事業の充実により目標を達成できた。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。	援課										
0203 ははないです。 大力式・ト事業の開催回数 48回 実績値 28 51 93 114 アサポート事業の開催回数 対している。 28 51 93 114 評価 × 未達成 × 未達成 ○ 達成	援課										
開催回数 評価×未達成×未達成○達成○達成 以上 0204 子育て支援に関する情報発信の充実 メルマガ、アプリ 等による情報発信回数 R2 目標値 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12											
O2O4 子育て支援に関する情報発信 等による情報発信 7回 実績値 16 12 13 12 要額 O2O1 各事業の充実により目標を達成できた。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。	'.杏て										
O2O4 報発信の充実											
回数	を援課し										
ログログ 新空 コーフ・バイル 人際発症が入し その関係中国 () おきぎょしょり 早候を達取 (ごろん) いつに 「恩柔知(声) 帰属しない() 手腕 (ごろを)	よう										
47 J 1 1 1 1 1 1 1	0,2										
R											
努めていきたい。											
0204 メルマガやアプリを利用して、定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的に実施する。											
0201 各事業の充実により継続して目標を達成できている。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。											
020年日学来の元人にのり配売して日孫と定例できている。 ク及び旧談のですが行行的ライクに対めていてたい。											
O2O2 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら事業を通常通り再開したため、目標を達成することができた。											
R											
4 0203 事業の拡充により、目標を概ね達成できた。今後も継続して、保護者同士のネットワークづくりを支援していきたい。											
0204 メルマガを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的に実施する。											
年											
O2O1 令和5年度より、伴走型相談支援の体制の整備を行い、更なる充実が図られ目標を達成できた。今後も相談支援体制の充実に	努め										
でいきたい。											
0202 新空コロナブイルス感染症がよう類になり、通常通り角催することができたため、自信を達成することができた。											
R											
O2O3 事業の拡充により、目標を概ね達成できた。今後も継続して、保護者同士のネットワークづくりを支援していきたい。											
O2O4 メルマガや子育て支援アプリを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的に実施する。											
価											
O2O1 伴走型相談支援体制が定着し、目標を達成することができた。今後も相談支援体制の充実に努めていきたい。											
0000 対象者のニーブにちった物宮を開催することができ、中極を法式できた											
0202 対象者のニーズにあった教室を開催することができ、目標を達成できた。											
0202 対象者のニーズにあった教室を開催することができ、目標を達成できた。 R 6 0203 個々の特性に合った事業の展開により、目標を達成することができた。対象者のニーズに合った事業を展開し、保護者のネッ	-										
R	۲										

					指標数	2		2		2		2	2		
(23	3 ひとり親家庭の自立個	足進	達成状況	達成数	2		1		2		2	0		
					達成率	100.	0%	50.09	%	100.0%	10	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	3	R4		R5		R6	R7	単位	担当課
			訓練修了者割合二自立支援教育訓練	R1	目標値		100	10	00	100		100	100	%	
	03	自立支援教育訓練及び BO1 職業訓練促進給付等の 就業支援	及び高等職業訓練 促進給付費に係る 支給者数/(支給	100%	実績値		100	10	00	100		100		70	子育て 支援課
			者数十受給資格喪 失者数)	10070	評価	〇 達	該	〇 達原	戉	〇 達成	0	達成			
			相談者における就	R1	目標値	5	53.0	54	1.0	55.0		56.0	57.0	0/	
	03	302 子育てや生活に係る相談 支援体制の強化	職割合二就職者数 /相談実人数	EE0/	実績値	6	6.6	50	0.0	85.7		71.4		%	子育て 支援課
		٥١٨٤ ٥٠٥١ ٢٠١٨	(年度末時点)	55%	評価	〇 道	感	× 未達	成	〇 達成	0	達成		以上	Z J Z L X
度	R 5 R	なった。 学後はハロー ていく。 0301 申請者全員が訓練を修	達成しているが、新ずつけることができる了し、目標値を達感染症の影響等によっワークとの連携を多了し、目標値を達めていまれています。 日標値を達してするとともに、相多了し、目標値を達	型コロナウ がいます できた できた できた できた できた できた できた できた できた こっへき できた こった きん できた かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	で いなかった るととも ローク等の もめ細かな	があった こことも 5に、 柏 フイベン	き。 5あり 1 1 1 1 1 2 5 5 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	、良いá に対しる 果もあり 継続して	そ件できる。	の就職に結 細かなサポ 目標値を達 く。	びつ	けるこ。 を行い、 ること7	とができずB 自立に向け ができた。≤	目標末けた支	達成と接をし
		を見せているが、引き								11970 -331770		-2-3-7-(/		C.00/L	740

主な内容 管理指標 基準値 児童館年間利用者 割合=利用者数実 積/住民基本台帳 り活動を行うとともに 子どもの居場所づくり の推進 スピー・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6	7	3 2 66.7% R5 22.0 14.3 × 未達成	3 1 33.3% R6 23.5 16.9	3 0 0.0% R7 25.0	単位 %	担当課				
全のが推進 全成状況 達成数 達成数 達成数 達成率 基準値 単域での子どもの見守り活動を行うとともに子どもの居場所づくりの推進 日標値 大きではの居場所がとりの推進 日標値 大きではのというの推進 日標値 大きではのというの推進 日標値 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日	0.0% R3 17.0 12.6 〈未達成〉 6	66.7% R4 20.5 11.1 × 未達成 7	66.7% R5 22.0 14.3 × 未達成	33.3% R6 23.5 16.9	0.0% R7						
主な内容 管理指標 基準値 児童館年間利用者 割合二利用者数実 績/住民基本台帳 り活動を行うとともに 子どもの居場所づくり の推進 アども食堂実施箇 野数 展2 目標値 実績値	R3 17.0 12.6 〈 未達成 〉 6	R4 20.5 11.1 × 未達成 7	R5 22.0 14.3 × 未達成	R6 23.5 16.9	R7						
児童館年間利用者 割合=利用者数実 続/住民基本台帳 り活動を行うとともに 子どもの居場所づくり の推進 R1 目標値 実績値 19.9% 評 価 × 子ども食堂実施箇 所数 6 第所	17.0 12.6 〈 未達成 〉 6	20.5 11.1 × 未達成 7	22.0 14.3 × 未達成	23.5 16.9	1 11						
地域での子どもの見守 り活動を行うとともに 子どもの居場所づくり の推進 割合=利用者数実 績/住民基本台帳 人口(3月末時 点) 19.9% 評価 × 子ども食堂実施箇 所数 82 目標値 実績値	12.6 〈 未達成 〉 6 5	11.1 × 未達成 7	14.3 × 未達成	16.9	25.0	%					
0401 り活動を行うとともに 子どもの居場所づくり の推進	〈 未達成 〉 6 5	× 未達成 7	× 未達成			/0					
0401 子どもの居場所づくりの推進 (カン) (カン) (カン) (カン) (カン) (カン) (カン) (カン)	6	7		✓ 丰達成			子育て 支援課				
子ども食堂実施圏 実績値 実績値	5	7				以上					
所数 6 6 美績 美績	Ŭ		8	9	10	箇所	子育て				
		7	9	10			支援課				
	〈未達成(○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上					
児童虐待の早期発見及 R1 目標値 R1 目標値	30	32	34	36	38		子育て				
0402 防止のための関係機関 議の開催回数 30回 実績値 20 37 34 31											
	〈未達成(〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上					
0401 新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により目標を達成の実施箇所数の増加に取り組みたい。	戏できなか?	った。感染	症対策を行	い、児童館の	の利用者数、	子ど	も食堂				
3 0402 個別ケース検討会議の回数は目標値を下回った。R4からは児童相言会議に参加できるようになったので、今後は積極的にケース会議を											
O4O1 新型コロナウイルス感染症による影響が尾を引き、目標を一部の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。	部達成できた	なかった。:	生活様式の	変更に応じ	て柔軟に対応	ぶし、	児童館				
年4 0402 積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関 4年度から未通告ケースについても児相職員がケース会議に参加	- 1. I. I. I. I. I					こより	、令和				
度 0401 新型コロナウイルス感染症が第5類になり、コロナ禍以前の状							ナ禍に				
■ よる生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、子どもの居場所づ			.,								
5 0402 積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。要保護児童対策地域協議会実議終了後にケース会議を開催する等、関係機関が参集しやすい工夫を講じた。 0401 児童館利用者数については、目標未達成だが、過去4年で最多の利用者数であった。子ども食堂の実施箇所数については、加傾向にあり、日標を達成している。利用者の声を聴き、引き続き子どもの居場所づくりの推進に取り組みたい。											
											6 0402 相談受理件数、通告受理件数及び要保護児童対策地域協議会管
できなかった。令和5年度から事業化している専門家を招致した 努めたい。	できなかった。令和5年度から事業化している専門家を招致したケースカンファレンスの場も活用して積極的な個別ク										

担当課	幼児教育課			施策2-40	の全指標達成	戊率	
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 4	保育及び幼児教育の充実	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	子どもたちが健やかに成長することができる	達成数	9	8	9	10	0
日1日9安	子育て世代が子育てと仕事が両立できる	達成率	64.3%	57.1%	64.3%	71.4%	0.0%

	1 月 (2178) 月 (21年37周立(28	•	是炒牛	04.070	01.170	04.070	11.470	0.070	<u>l</u>				
			指標数	3	3	3	3	3	1				
1 成	果指標(KPI)		達成数	1	0	1	1	0	-				
1 12			達成率	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%					
		基準値	是水平	R3	R4	R5	R6	R7	単位担当	緷			
成果		R2	目標値	2	0	0	0	0	THE 12	JUAN			
指標	待機児童数<4月1日時点>	1 12	実績値	1	1	0	0	0	人 幼児	教			
1		5人		·	•	Ŭ			いっ 育語	果			
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		× 未達成		○ 達成	Δ.T.D.O.	以下	$\overline{}$			
目標値								か、行和と	年度から	Ť			
の	和3年度にかけて減少傾向にあり、少子	化の進行	も見据え	乙、令和4	4年度に目	標達成を見	込んた。						
考えた													
	園での保育に満足している保護者	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当	黒			
成果		R1	目標値	99	99	99	99	100	% 幼児				
指標		000/	実績値	97.4	96.6	96,2	97.7						
2	(保育園・幼稚園評価アンケート)	99%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	未			
	保育園保護者アンケートに基づき、園で	の保育に								2/2			
目標値													
の	稚園保護者アンケートでは令和元年度9						一升平で頃	3V1C 0/2	O./C.	40			
考えた	. 性風休暖日アプリートでは1740万千反り 	3/0 CW6	ארנשטונ	しって日気	RC U/Co								
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当	課			
成果	多様な保育への満足度	R1	目標値	87	89	91	93	95	0/ /+10	±/-			
指標3	(保育園・幼稚園評価アンケート)	000/	実績値	84.2	87.1	76.5	77.1		% 幼児				
3		86%		× 未達成		× 未達成			以上 育語	木			
	保育園保護者アンケートに基づき、多様	な保育への						7%であり	-				
目標値	よっては保育体制の見直し等を図り、多									,			
の		18(109 0) H C L	т п оу /		MH) C		G D 18 9 C	こととの思	1			
考えた	O、 工井平包 Z /6 C O/C。												
	1 (実績評価)・保育士不足の要因により、	待機児竜か	「1 人登生	1,15									
	(次年度修正点)・特別な支援が必要な児童(アルスニと	から ある	クロ能を体制	の変化が	# 1 .1.\≣甲型百a	が			
	あり、課題改善に努める。	牌古九 6	がロリノア	元)が追ん	CVISCE	から、文八位	いる的ない。	又ひりほぼんりま	世しい 味起/	J.			
R		田の田均店) (10/ · /P /	(用OE E0/)								
	2(実 績 評 価)・幼稚園・保育園で実施した保護者アンケート結果の平均値(幼稚園99.2%・保育園95.5%) (次年度修正点)・園で実施している職員研修の充実を図る、職員の自己評価の方法を見直すなど、保育の質の向上に努めたい。												
年	(次年度修正点)・園で実施している職員研修の充実を図る、職員の自己評価の方法を見直すなど、保育の質の向上に努めたい。 3 (実績評価)・保育園保護者アンケートに基づき、多様な保育への満足度は84.2%であった。												
度							<u> </u>						
	(次年度修正点)・就労形態の多様化により、		「のニース	が高まる中	で、延長保	育の実施が	ない公立園で	で開所時間の	D延長を検討	51			
	するなど、保育サービスの向												
	1(実 績 評 価)・手厚い支援が必要な児童(
	(次年度修正点)・手厚い支援が必要な児童の		め確保が	「課題となっ	ているため	課題改善に	努めるととも	らに、保護者	すへの適切な	な			
	情報提供の体制強化に努める	0											
R	2(実 績 評 価)・幼稚園・保育園で実施した	保護者アン	/ケート結	果の平均値	(幼稚園98	3.2%・保育	園94.9%)						
年	(次年度修正点)・園で実施している職員研修												
度	3 (実 績 評 価) ・保護者アンケートに基づき	、多様な保	育への満	記度は87.	1%であった	こ。園ごとの	評価におい	ては、民間	園では多様	な			
反	保育サービスの実施が充実し												
	(次年度修正点)・就労形態の多様化により、					育の実施が	で関立公司	で開所時間の)延長を検討	1			
	するなど、保育サービスの向		/		- 、 是 以 亦	. 5 - 2 / 10/5 /	··· — · · · · · · · · · · · · · · · · ·		~~ ~ ~ ! ^ !				
	1 (実 績 評 価) ・待機児童は0人だった。												
	- (矢 順 計 画) ・ 特優九量はしへたうた。 (次年度修正点) ・ 医療的ケア児の受入れガイ	ドラインを	作成し、	医療的ケア	児のスハー	ズな受入われ	が出来るよう	うに努める					
	2 (実績評価)・幼稚園・保育園で実施した							ه کې رټ ورت.					
•			, ,,,,				,						
R	(次年度修正点)・園で実施している職員研修	の充宝を図	る。贈言	の白己証価	の方法を目	直すなど /	早音の質の原	うトに努めた	=し、新たし	-			
5	導入したICTにより、保護者						↑日♥/只♥V/II	ى_رى مارى	_ v io 初 / C l	_			
年	37 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7					・ 用ごしの	===/==/-=+// \	→		11			
度	3(実 績 評 価)・保護者アンケートに基づき							には、仏野	• 串工見•	/\			
	幡野では病児保育が未実施の												
	(次年度修正点)・就労形態の多様化により、						公立園での開	引所時間延長	その検討や	丙			
	児保育未実施の公立園での実	施体制の計	画など、	保育サービ	人の同上を	図る。							
	1(実 績 評 価)・待機児童は〇人だった。												
	(次年度修正点)・医療的ケア児の受入れガイ	ドラインを	作成し、	医療的ケア	児のスムー	ズな受入れる	が出来るよう	うに努める。					
		実施した保護者アンケート結果の平均値(幼稚園99.7%・保育園95.6%)											
R	2 (実績評価)・幼稚園・保育園で実施した	保護者アン	/ / /										
	2(実 績 評 価)・幼稚園・保育園で実施した	保護者アン	7 I MC	32/(42 23/2									
6						直すたど /			=(,) また				
6年	(次年度修正点)・園で実施している職員研修	の充実を図	る、職員	の自己評価	の方法を見				こい。また、	,			
6 年度	(次年度修正点)・園で実施している職員研修 ICTを活用し保護者とのコミ	の充実を図 ュニケーシ	る、職員 ョン強化	の自己評価 や、利便性の	の方法を見の向上に努め	かていく。	呆育の質の阿	句上に努めた					
6 年度	(次年度修正点)・園で実施している職員研修 ICTを活用し保護者とのコミ 3 (実 績 評 価)・保護者アンケートに基づき	の充実を図 ュニケーシ 、多様な保	る、職員 ョン強化	の自己評価 や、利便性の	の方法を見の向上に努め	かていく。	呆育の質の阿	句上に努めた					
6 年度	(次年度修正点) ・園で実施している職員研修 ICTを活用し保護者とのコミ 3(実績評価)・保護者アンケートに基づき 和5年度の落ち込みの影響が	の充実を図 ュニケーシ 、多様な保 大きい。]る、職員 ョン強化 !育への満	の自己評価 や、利便性の 記度は77.2	の方法を見 の向上に努む 1%であった	かていく。	呆育の質の阿ら0.7ポイン	り上に努めた ント回復した	こものの、:	令			
6 年度	(次年度修正点)・園で実施している職員研修 ICTを活用し保護者とのコミ 3 (実 績 評 価)・保護者アンケートに基づき	の充実を図 ュニケーシ 、多様な保 大きい。 多様な保育	る、職員ョン強化 育への満	の自己評価 や、利便性(は足度は77.5 ばが高まる中	の方法を見 の向上に努む 1%であった で、延長保	かていく。 E。前年度か 育未実施の2	呆育の質の阿ら0.7ポイン	り上に努めた ント回復した	こものの、:	令			

						指標数	11	11	11	11	11	※ 基本的な取
2	2 1	基本的な	取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	コード)	達成数	8	8	8	9	0	組・主な内容の達成状況
						達成率	72.7%	72.7%	72.7%	81.8%	0.0%	
						指標数	2	2	2	2	2	
	01	待機	児童対策の推進		達成状況	達成数	1	1	1	2	0	
						達成率	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
					R2	目標値	0	0	0	0	1	園幼児教
	0,	101 保	育環境の整備	施設の整備数	O園	実績値	1	0	0	0		
					O Æ	評価	○ 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上
		√h:	椎園預かり保育の運	1 園当たりの預か	R1	目標値	12	13	12	10	10	人幼児教
	0	102 党	性国項グリ末目の建	り保育利用者数	11.2人	実績値	9.3	8.7	11.9	11.5		八 効パ教 音課
				7 71110 1070 277		評価			× 未達成			以上
年度	R3 R4	0102	令和3年度に、民営領し、環境整備の準備を 新型コロナウイルス預かり保育内容を充 待機児童対策は解消 準備として主に候補 新型コロナウィルス 新型コロナウイルス 公立こども園設置に 度に組織するための	選めた。今後の整備 感染症拡大に伴うま 実するなどして利用 に向かう中で、受け 地の選定に係る協議 感染症拡大に伴うま 感染症なり類移行に 向け、再編対象とな	計画を見据 ん延防止措 者増に努め 血確保とし を行った。 ん延防止措	える上で、	令和7年度 る利用者を な整備は予定 対震性能が劣 の利用者を な容を充実す	開所を目指 制限したこ としていない る園舎の安 制限したこ るなどして	すことからR. とが影響しいが、公立保全対策についたが影響したが影響したが影響したが影響したが影響したが影響して、	4以降の目標 、目標値を 育園での認い いての検討 、 目標値を 努める。	値を変更した。** 下回った。** 定こども園! を行った。** 下回った。**	た。 令和4年度は 設置に向けた 令和5年度は
= 4	R 5		受に組織するにめの 少子化が進む中で毎		標には届か	なかった	。来年度も	園児数が減	沙するが、	預かり保育に	内容の充実は	と保護者への
個		0,02	周知を行っていくこ	とで利用者増に努め	、目標値の	達成を目	指していく	0				
	R		公立こども園設置にが、市長判断により	設置は継続審議とな	った。							
	6	0102	預かり保育内容の充 行っていくことで利	実と保護者への周知 用者増に努め、目標	を行った結値の達成を	果、目標を目指して	標値を達成し いく。	た。今後も	、預かり保	育内容の充領	実と保護者の	への周知を

					指標数	3	3	3	3	3	1		
()2	2 多様な保育事業の推済	焦	達成状況	達成数	2	3	2	2	0			
					達成率	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
				R2	目標値	9	9	10	13	13	園	幼児教	
	02	201 延長保育	実施園数	9園	実績値	9	9	9	9			育課	
					評価		0	× 未達成		_	以上	1501	
				R2	目標値	5	3	3	3	3	園	幼児教	
	O ₂	202 一時預かり	実施園数	5園	実績値	3	3	3	3			育課	
						× 未達成		〇 達成	〇 達成	0	以上		
	0	000 底旧归春	中拉甲粉	R2	目標値実績値	7 8	8	8	8	8	園	幼児教	
	U ₂	203 病児保育	実施園数	7園	- 4:1241	•	_				以上	育課	
		0201 就営形能の名様化に	半い 伊奈時間を延	EL フ旧会	o				〇 達成 民間保育	司の周(小:	.,	李 而今	
	O2O1 就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園9園(小規模保育所含む)で実施し、保育の確保に努めた。												
	R			ーブ(就学	· 音归命	か等)に対	t応すスため	(公立保育)	周1周 民	問促育問ク	ヨで宝	施工。	
	J J	た。少子化に伴い待機									& C >	טטנו:	
)	0203 児童が保育中に体調								早育 (体調)	不良児	型) を	
		実施した。緊急的な対									1 12/1	1, 6	
		0201 就労形態の多様化に係	¥い、保育時間を延	長して児童	を預けら	れる環境が	必要とされ	ている中で、	、民間保育	園園 (小港	見模保	育所含	
		む)で実施し、保育の											
	R	0202 保育所等を利用してい	いない家庭の保育二	ーズ(就労	• 育児娘	えれ等) に対	応するため	、公立保育	園1園、民間	間保育園2	園で実	施し	
年	4	た。少子化に伴い待機	機児童数や保育需要	は減少傾向	ことみられ	າる。							
+		O203 児童が保育中に体調					園(公立2	園、民間6	園)で病児の	呆育(体調	不良児	型)を	
		実施し、保護者が安心	いして子育てができ	る環境整備	に努めた	-0							
度		O2O1 就労形態の多様化に係		長して児童	を預けら	れる環境が	必要とされ	ている中で	、民間保育	園9園(小規	見模保	育所含	
		む)での実施に留まっ	っている。										
評	R		0				抗するため	、公立保育	園1園、民間	間保育園2	園で実	施し	
01	5	た。少子化に伴い待機											
		0203 児童が保育中に体調で					園(公立2	園、民間6	園)で病児は	呆育 (体調	不良児	型)を	
価		実施し、保護者が安心		0 11170		- •							
		0201 就労形態の多様化に係る		長して児童	を預けら	られる環境が	必要とされ	ている中で、	、民間保育	園 9 園(小月	見模保	育所含	
	0	む)での実施に留まっ			4 2510.6	これない / ニャ	☆オフため	八六四本		明心女田へ	ヨズ庄	tte I	
	R 6	O2O2 保育所等を利用していた。	1ない多姓の休月—	一人(別た	7 电冗别	どれ寺)に刈	見るので	、公立徐月	图 图、比	りほ 月風 乙ぱ	見じ夫	他し	
	J	0203 児童が保育中に体調で	K良となった場合の	保育ニーフ	で対応さ	tata 8	周(か立つ	周 民間の	園)で病児(早育 (休調)	不良归	型) を	
		実施し、保護者が安心							Δ1/ C1/YY)TΙ		דלאניו	王/ 乙	

					+P:+#= #5		_		4		4	1				
	~		/-	\± +\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	指標数		4		4		4		4	4		
(ノゴ	保育及び幼児教育の	代美	達成状況	達成数	_	3	_	2	_	3		3	0		
					達成率	1	5.0%	5	50.0%		5.0%	(5.0%	0.0%	22///	10.11.50
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7		担当課
			1園当たりの小学	R1	目標値		4		4		5		5		6 🔳	幼児教
	03	3O1 小学校との連携	校との交流実施	30	実績値		5.3		6.3		4.1		7.7			育課
			回数	00	評価	0	達成	0	達成	X	未達成	0	達成		以上	130/1
			 1 園当たりの研修	R1	目標値		2		2		3		3		3 🗇	幼児教
	03	302 職員の質の向上	会開催数	1 🗆	実績値		3.3		3.4		4.3		2.4			育課
			Ziolex		評価	0	達成	0	達成	0	達成	X	未達成		以上	
			さかり口本サギ	R1	目標値		13		15		5		5		5 人	ルカリロギケ
	03	303 人材確保	預かり保育サポー ター登録人数	5人	実績値		6		5		5		6			幼児教育課
			ター豆球八数	5/	評価	X	未達成	X	未達成	0	達成	0	達成		以上	月味
				R1	目標値		2		3		3		4		4 _	
	03	304 園外及び地域活動等の	1 園当たり実施	<u> </u>	実績値		2		2		4		4		<u> </u>	幼児教
		体験	回数	20	評価	\cap	達成	×	未達成		達成	0	達成		_ 以上	育課
		0301 新型コロナウイルス原	L 或染症拡大防止に伴	い交流活動								_		宣首付きョ		
		施するなど、創意工具			بر کلو دران کار	ا ری ر	J (, <u>c.</u> 05.j.	J		,, ,	J (J (1) C 3	11111000	.,,,
		0302 新型コロナウイルス原			ていたが	1487	カロトか	(結合)	/ 巾でも	ラス	た研修	宇協	に奴めた	=		
	R	0302 利主コロナラトルへに	50未延144人的正に仕	VI, IIIIC	/ C 0 1/C II,	الا	り十正刀	י טעווי	\ + C 0	בישי	(AU)119	大川	3105001	∟ ∘		
	3	0303 幼稚園での預かり保育	きの申込者が名い口	でも多えて	能とする	スたx	かに会和	1つか	干度に幼	雅信	割物論○□	215	どのせか	3一勺一制	きを かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	量会 加.
		遇の改善を図るために														
		0304 新型コロナウイルス原									– –					
		や地域で活躍する人を								ے د	//\/J\/U	ی ای ر			- ') \ 1	212/17
		0301 新型コロナウイルス原								٢	デオレ	₽ −	- 物写首(オきの手糸	【 の交換	るを実施
		するなど、創意工夫に			19200 00	ν I \	ام وا		,J.J.J <u>_</u>		. , , , ,		(- 5 74)		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(2)/10
		0302 新型コロナウイルス原			た研修の) 中 i	トが続く	ф-	でも必要	な研	修実施	に撃	Sめた。			
					·/Cb/1190	- 1 1	±/5 //50 V	٠,		.0.0,	1197080		,05,00			
	R	 0303 幼稚園教諭OBなどの	サポーター制度を創	訓設. 机温	の改善を	図る	ために:	介 和	13年度#	からし	は会計的	E度	日職	の位置付	けとな	った
	4	が、現状で預かり保育	音等に対応する5名	が登録して	おり不者		にく運営	1311	ている。	見に 関い こうしん マンド マンド マンド マンド アンド マンド マンド アンド マンド マンド マンド マンド マンド マンド マンド マンド マンド マ	数も毎	年洞	少して	いるので、	月標何	を修正
		した。														
		0304 新型コロナウイルス原														
年		行事や地域で活躍する								る交	流活動	に制	限がなる	くなり、タ	マ年度に	には地域
+		一 行事への参加も多くな									±0.— o			\-\-\-\-\-\-\	T // T \	L . »—»
		0301 新型コロナウイルス原				31/1	こ同じ字	<u> </u>	かい字 生	ر02	相互の	父沂	か実施す	されたか、	き 紙 ヤ	ロヒテオ
度		レターでの交流が減り				-> 10 1	-=1 -= 1	<u></u>	\ 	V	++			# <i>!</i>	<u> </u>	
_		0302 新型コロナウイルス原	密染症による制限か 	なくない,	通常と	31/1	こ計画し	<i>,</i> ((ハた研修	かき	施され	にに	:め、目科	票値を達成	えした。	
	R	0000 /+**/		N=0 b0.00				A 7.	0 = ===================================		1.0=1.5			- J- m/ I		
評	5	0303 幼稚園教諭OBなどの												の心直切	けとな	つに
		が、現状で預かり保育												-1	L1	= \
/TT		0304 新型コロナウイルス原										奴包	:美施し/	こはか、エ	四现行制	当代が迅速
価		で活躍する人との交流											- 	-10 CH	= / /- \-	= -+- 1
		0301 新型コロナウイルス原	感染症による制限が	なくない,	昨年度以	人上に	し同じ字	<u>' X</u> (かい 学生	C0_	他旦の	父沂	か実施す	され、日付	制しては	直放し
		た。	************	±2)+1 + 1	- FE -		ı + m →	·	<i>₩</i>	+## ^^	1 +					
		0302 研修計画全体を見直し	ノ、教職貝の負担を	軽減 しに上	で、質0	기민_	口を図る	加州	参体制 を	愽粱	じた。					
	R	0000 (1111)		≥ii=D. bo v⊞	Φ76± ±	-	+41-	<u> </u>	10 /= d= 1	b) = 1	+ ^ = 1 <i>5</i>	- 0,-	/- CD 11-01 C	0 H = 2 H	1 → 1 - +	+
	6	0303 幼稚園教諭OBなどの												の位置付	けとな	つに
		が、現状で預かり保育										-	-	- 1 - 4 > - 1	L1-F1-	= 1 1 1 2 2
		0304 新型コロナウイルス原										奴を	実施し	こはか、対	鸣项行	学や地域
		で活躍する人との交流	元治 切り に に に に に に に に に に に に に	15イノイル、地	现1丁事/	(ひ)		リ	コ信但と	连队	いした。					

					指標数	1	1	1	1	1		
	O ₄	4 情報提供、相談体制。	の充実	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		ニーズに対応したサー	利用者支援事業、	R2	目標値	8	8	8	8	8	か所	かり日本ケ
	C)401 ビス内容の情報提供と	子育て支援セン	8か所	実績値	8	8	8	8		ומט	幼児教 育課
		相談体制の強化	ター実施か所数	0/3/7/1	評価	○ 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	HIM
	F 3	D (V++=10 10=						に努めた。	また、市内 ⁻	7か所の子育	うて支	援セン
1	F 全	マ 0401 利用者支援事業におい ター(独立型2、保証						に努めた。	また、市内 ⁻	7か所の子育	うて支	援セン
Į	平 F E	R 0401 利用者支援事業におり ター(独立型2、保証						に努めた。	また、市内 ⁻	7か所の子育	うて支	援セン
	F 6	- () - ()						に努めた。	また、市内 ⁻	7か所の子育	うて支	援セン

		ሪከ ፤	進園及び保育園の	ま 記 器 計 画 の		指標数	1	1	1	1	1		
(25	策		がいほうし	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
		來人				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		纹	稚園及び保育園の認	認定こども園整備	R2	目標値	1	0	0	0	0	園	幼児教
	05		ここも園を見描えた	数	O園	実績値	1	0	0	0		<u> </u>	育課
			編			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	R 3	0501	令和3年度に、民営係 けて取り組んだ。	保育所1園を認定こ	ども園とし	て開所し	た。公立園	は、子ども	・子育て会	議にて審議し	ン、再編計画	画の策	定に向
年度	R 4	0501	公立園での認定こども ち上げ、会議を開催し		令和3年度	に策定し	た再編計画	に基づき、	幼保の職員	で構成する「	フーキングク	ブルー	プを立
度評価	R 5	0501	公立園での認定こども る会議の開催やこども			に策定し	た再編計画	に基づき、	幼保の職員	で構成する「	フーキングク	ブルー	プによ
	R 6	0501	公立園での認定こども	5園開所に向けて、	令和3年度	に策定し	た再編方針	に基づき、	個別計画の	策定に向けて	て準備した。		

担	当課	果 高齢者福祉					施策2-50	の全指標達成	灭 举			
政策	目標	票 2 誰もが健や	かに暮らし活躍できるまち		年度	R3	R4	R5	R6	R7		
施策范	分野	予 5 高齢者福祉	 Lの充実		指標数	21	21	21	21	21		
+t	2 -d- 3	高齢者が地	地域の中でいきいきと生活でき	きる	達成数	5	6	5	5	0		
日拍	≦ す	数 地域におい	て住民相互で支え合い暮らすこ	ことができる	達成率	23.8%	28.6%	23.8%	23.8%	0.0%		
					指標数	3	3	3	3	3		
1 点		見指標(KPI)			達成数	0	Ö	0	0	Ö		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果	<u> </u>	元気な高齢者	当の割合<4月1日時点>	基準値	口抽法	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当調
指標			号被保険者のうち、要介護・	R2	目標値	84.0 83.1	84.0 82.8	84.0 82.3	84.0 82.3	84.0	%	高齢者
1	3	要支援認定を受	けていない高齢者の割合)	84.1%				× 未達成			以上	福祉課
目標値	ā Z	本市は、令和	3年度が高齢者人口のピー									蒦認定
の 考え方	, ?	を受ける割合	が増えるものであるが、介	護予防の国	取り組み	を一層推進	進すること	によりその)割合を維持	持させる。		
3/6/5				基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当認
						男性18.08	男性18.22	男性18.37	男性18.51	男性18.65		1=_0
成果		/#### / / ·	-v=+c-	H28	目標値	女性20.84	女性20.93	女性21.01	女性21.10		年	
指標 2	1	健康寿命(な	3)達有度)	男性	実績値	_	_	_	_	_		健康推進課
_				17.48年 女性	=====							连床
				20.30年	評価		_				以上	
				基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当談
成果	₹				目標値	_	_	_		_		
指標	[お達者年齢			実績値	男性79.0		R7.9公表	R8.9公表		歳	健康推
2				% 6		女性84.2	女性84.2	111.022	10.022			進課
					評価	_	_	_	_	_	以上	
目標値の			立した生活を送るため、静		去公表資	料を基に持	推計した将	来予測値を	·設定。今往	後、令和3	年度	以降の
考えた	5 3	実績を基に、	令和8年度以降の推計をし	ていく。								
成果	3			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当認
指標			ポーターの養成者数	R1	目標値	40	40	40	40	40	人	高齢者
\sim		(目標値は	0年间系計)	45人 (単年)	実績値評価	16	29	23 × 未達成	22		以上	福祉調
3								へ 不佳以	へ 不佳以		レノエ	
	古言	京齢者の日堂	 生活を支援するボランティ							般の向上を	図る	
目標値			生活を支援するボランティーターは既に226人が養成	アである	「生活支	援サポーク	ター」を養	成し、地域	の介護基準			
 目標(の	_ _	生活支援サポ	ーターは既に226人が養成	アである なされてい	「生活支 るが、高	援サポーク	ター」を養	成し、地域	の介護基準			
 目標(の	ー 方 し	生活支援サポ し、地域の支	ーターは既に226人が養成 え合い活動及び介護予防を	アである なされてい 支援する。	「生活支 るが、高	援サポータ	ター」を養増加に対応	成し、地域 するために	域の介護基係 こ毎年40ノ	くのサポー	ターを	を養成
 目標(の	ー 方 し	生活支援サポ し、地域の支	ーターは既に226人が養成	アである なされてい 支援する。	「生活支 るが、高	援サポータ	ター」を養増加に対応	成し、地域 するために	域の介護基係 こ毎年40ノ	くのサポー	ターを	を養成
目標値の考えが	- <u>/</u> 方 l	生活支援サポ し、地域の支 (実績評価)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症	アである なされてい 支援する。 コロナウイ となった。 に伴う介護	「生活支 るが、高 ルス感染 予防事業	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和	ター」を養増加に対応響による外4年度も見	成し、地域であるために出控えや介記	成の介護基準に毎年40人 要予防事業等の、チラシャ	くのサポー 等の一時休止 ウケーブルラ	ターを	を養成い、目
目標(の 考え)ア R	方 1 (生活支援サポ し、地域の支 (実績評価) (次年度修正点)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を ・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少	アである なされてい 支援する。 コロナウイ となった。 に伴う介護	「生活支 るが、高 ルス感染 予防事業	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和	ター」を養増加に対応響による外4年度も見	成し、地域であるために出控えや介記	成の介護基準に毎年40人 要予防事業等の、チラシャ	くのサポー 等の一時休止 ウケーブルラ	ターを	を養成い、目
目標値の考えが	方 【 1 (2 (生活支援サポ し、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実績評価)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症	アである なされてい 支援する。 コロナウイ となった。 に伴う介護	「生活支 るが、高 ルス感染 予防事業	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和	ター」を養増加に対応響による外4年度も見	成し、地域であるために出控えや介記	成の介護基準に毎年40人 要予防事業等の、チラシャ	くのサポー 等の一時休止 ウケーブルラ	ターを	を養成い、目
目標(Mの 考え) R 3	方 【 1 (2 ((生活支援サポレ、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症	アである 式されてい 支援する。 シロナウイ となった。 に伴う介護 の工夫をし	「生活支高が、高ルス感染の事業」、コロナ	接サポーク語を対しています。 おいまい でんしょう おいてい こうしん おいてい かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	ター」を養増加に対応響による外4年度も見も平常時に	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるたと 近い生活を記	成の介護基 に毎年40 <i>)</i> 養予防事業等 か、チラシな 送れるようす	人のサポー 等の一時休山 やケーブルラ きめる。	ターで レビ	を養成い、目を活用
目標値の考えが	方 【 1 (2 ((生活支援サポレ、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等	アである なされてい 支援する。 コロナウイとなった。 に伴う介護 の工夫をし 国実施する の	「生活支高が、高ルス感染・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	接サポーク語を対しています。 おいまい でんしょう おいてい こうしん おいてい かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	ター」を養増加に対応響による外4年度も見も平常時に	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるたと 近い生活を記	成の介護基 に毎年40 <i>)</i> 養予防事業等 か、チラシな 送れるようす	人のサポー 等の一時休山 やケーブルラ きめる。	ターで レビ	を養成い、目を活用
目標値の考えが	方 1 (2 (3 (生活支援サポレ、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点) (実績評価)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回	アである 式されてい 支援する。 シコーナウイ となった。 に伴う介護 に伴う介護 の工夫をし 実施する予 成となった	「生活支高が、高いス感染・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション	援サポーク 筋齢者数の 症拡大の影 中止は令和 禍において が、3回の	ター」を養増加に対応響による外4年度も見も平常時に	成し、地域でするためには はなるために 出控えや介記 込まれるため 近い生活を まん延防止い	成の介護基基に毎年40人 養予防事業等 か、チラシヤ 送れるよう多	人のサポー 等の一時休山 やケーブルラ きめる。	ターで レビ	を養成い、目を活用
目標の考えが、R3年度	方 1 (2 (3 (生活支援サポレ、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点) (次年度修正点)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え	アである なされてい 支援する。 シコナウイ となった。 に伴う介護 の工夫をし 実施する予 の感染状況	「生活支高 のが、感染 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和禍においてが、3回のた上で、養	ター」を養増加に対応響による外4年度も見も中常時につかが成講座を実	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるたと 近い生活を記 まん延防止い 施できるよ	成の介護基 に毎年40人 養予防事業等 か、チラシヤ 芝れるよう多 等重点措置期 う努める。	くのサポーク のサポーク のケーブルラク のある。	ターでに伴い	を養成い、目を活用
目標の考えア R3年度	2 (<u>((</u> 3))	生活支援サポレ、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (実集標評価) (次年度修正点) (実集標評価)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。	アである なされてい 支援する。 シコナウイ とに伴う介を にはいるでは、 実施する予た の感染状況 、コロナ禍	「生活支高 るが、感染 ルス感染 事業ナ 定。 定を考まける。 にを考まける	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和禍においてが、3回のた上で、養外出控えや	ター」を養増加に対応響による外4年度も見もサードの方2回が成講座を実	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるたと 近い生活を対 まん延防止い たできるよう	成の介護基 江毎年40人 養予防事業等 か、チラシャ 送れるよう多 等重点措置則 う努める。	くのサポークをある。 明間に予定し 態悪化から、	ターでに伴い	を養成い、目を活用
目標の考え R3年度 R	方 1 ((2 (3 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1	生活支援サポレ、地域の支 (実績評価) (次年度修正点) (実年度修正点) (実年度修正点) (次年度修正点) (次年度修正点) (次年度修正点) (次年度修正点)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え	アである なされてい 支援する。 シコナウイ とに伴う介を にはいるでは、 実施する予た の感染状況 、コロナ禍	「生活支高 るが、感染 ルス感染 事業ナ 定。 定を考まける。 にを考まける	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和禍においてが、3回のた上で、養外出控えや	ター」を養増加に対応響による外4年度も見もサードの方2回が成講座を実	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるたと 近い生活を対 まん延防止い たできるよう	成の介護基 江毎年40人 養予防事業等 か、チラシャ 送れるよう多 等重点措置則 う努める。	くのサポークをある。 明間に予定し 態悪化から、	ターでに伴い	を養成い、目を活用
目標の考えが R3年度 R4	2 (((((((((((((((((((生活支援サポリス (実績 評価) (実 集 度 に 面) (次 年 度 修 評 を 語 で で で 実 に で で 実 に で で ま ま で で で で で で で で で で で で で で で	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。	アである なされてい 支援する。 シコナウイ とに伴う介を にはいるでは、 実施する予た の感染状況 、コロナ禍	「生活支高 るが、感染 ルス感染 事業ナ 定。 定を考まける。 にを考まける	接サポーク語齢者数の記定拡大の影中止は令和禍においてが、3回のた上で、養外出控えや	ター」を養増加に対応響による外4年度も見もサードの方2回が成講座を実	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるたと 近い生活を対 まん延防止い たできるよう	成の介護基 江毎年40人 養予防事業等 か、チラシャ 送れるよう多 等重点措置則 う努める。	くのサポークをある。 明間に予定し 態悪化から、	ターでに伴い	を養成い、目を活用
目標の考えア R3年度 R4年	方 【1 (2 (3 (1 (1 (2	生活支援サポレ、地域の支 (実績 評価) (次年度修正点) (実年度修正面) (実年度 に面) (実年度 に面) (実年度 に面) (実年度 に面) (次年度 に面) (次年度 に面) (次年度 に面) (次年度 に面)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。	アである なされてい 支援する。 シコンナウイ とに伴う介を には、 実施する。 での感染状況 、コロナ被 の感染状況 、カロナ被 積極的に介	「生が、 ボス ホー で で まけ で まま で まま で まま で まま で まま で まま で	接サポーク語齢者数の記録が表述大の影症拡大の影中止はおいてが、3回のた上で、対出控えた	ター」を養増加に対応響による外4年度時による外4年度時にある外のでは、次満座を表の、フレイル	成し、地域でするためにはまれるためにはまれるためにはまれるためにまれるためにまれるためにまれるできるようでできるようである。	成の介護基基に毎年40人 養予防事業等 か、チラシャ きれるよう多 等重点措置見 う努める。 るい身の状態	のサポークをクローでは、 「のサポークをクローブルラックのの。」 「関目に予定しままれから、 」 、 3。	ターでに伴いていた。	を養成い、目を活用
目標の考えア R3年度 R4年	方 1 1 (2 (3 (1 ((1 ((2 ((3 (((((((((((((生活支援サポレ、地域の支 (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・感染状況を考慮しながら、	アである、 大されている。 大さ投すする。 とににの 大きにいまする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	「生活大高」 ルストンス に リス に リス に リス に リス に リス に リス に リス に リ	接サポーク語齢者数の記症拡大の影症拡大の影中心においてが、3回の養物を実施したが、	ター」を養増加に対応響による外4年度時にの方ち2回が実ので、フレイルででである。	成し、地域でするために 出控えや介記 込まれるために まん延い生活を記 施できるよう。 不足からする。 下では、 できるようでである。 できるようでである。 できるようでである。 できるようでである。 できるようでである。 できるようでである。 できるようでである。 できるようでは、 できるようでは、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるようでも、 できるななななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななななる。 できるなななるなる。 できるなななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるななるななななななななる。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	成の介護基準に毎年40人 養予防事業等 か、チラシャ きかれるよう多 等重点措置類 うる心身の状態 と防止を図る を実施するこ	くのサポーク 等の一時休止 やケーブルラ 等める。 期間に予定し 態悪化から、 3。	ターを上に伴	を養成い、居用たことを下
目標の考え R3年度 R4年度	2 (((3 (((((((((((((((生活支援サポレ、 (実)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・感染状況を考慮しながら、・令和5年度からは、これまと繋げていくために必要な、	アであるいますであるいます。 でもれずる。 でもれずる。 でもないますが、 でもないでは、 ではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	「生活」では、「生活」では、「生活」では、「ない」では、「ない」では、「ない」では、「はいい」では、「はいい」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	援サポーク 症拡大の影 症拡大の影 中禍において が、 3 で、 2 た ア と ま ン り の の 養 や し 、 の 会 の の の の の の の の の の の の の の の の の	ター」を養増加に対応 響による 4年年常 9 6 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	成し、地域 はするために 出控えや介記 込まれるために はなまれるために まん延らるようで まんできるらくる ではまない。 まででするようで ではまれるできる。 ではまれるでも、 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	成の介護基準に毎年40人 養予防事業等 かれるよ 措置 り ういのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	へのサポークを できた できた での 「助けられて」 (のサポーク できた	ターをに伴いていい。	を 養成 に た た を 下 へ の 動
目標の考え R3年度 R4年度	2 (((3 (((((((((((((((生活支援サポレ、 (実)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標未達・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウイルス感染症・感染状況を考慮しながら、・ウコナ禍の影響などから、・ウコナ禍の影響などから、・ウコリナ禍の影響などから、・ウコリナ禍の影響などから、・ウコリナ禍の影響などから、・ウコリナ禍の影響などから、・ウコリナ禍の影響などから、・ウリカリカー	アであるいますであるいます。 でもれずる。 でもれずる。 でもないますが、 でもないでは、 ではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	「生活」では、「生活」では、「生活」では、「ない」では、「ない」では、「ない」では、「はいい」では、「はいい」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	援サポーク 症拡大の影 症拡大の影 中禍において が、 3 で、 2 た ア と ま ン り の の 養 や し 、 の 会 の の の の の の の の の の の の の の の の の	ター」を養増加に対応 響による 4年年常 9 6 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	成し、地域 はするために 出控えや介記 込まれるために はなまれるために まん延らるようで まんできるらくる ではまない。 まででするようで ではまれるできる。 ではまれるでも、 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	成の介護基準に毎年40人 養予防事業等 かれるよ 措置 り ういのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	へのサポークを できた できた での 「助けられて」 (のサポーク できた	ターをに伴いていい。	を 養成 に た た を 下 へ の 動
目標の 考え R3年度 R4年度	2 ((3 ((3 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4	生活支援サポウ支 (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標来達・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アであるい。 であるいる。 でされずすって、 でもできません。 でもでもできません。 でもできません。 でもできません。 でもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもできません。 でもでもできません。 でもできません。 でもできません。 でもできません。 でもできません。 でもできません。 でもできません。 でもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもでもできません。 でもでもできません。 でもでもできません。 でもでもでもでもできません。 でもでもでもできません。 でもでもでもできません。 でもでもでもでもできません。 でもでもでもでもできません。 でもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	「生活、 一	援サポーク: 「新者数の」 症拡大の影 症拡大はおいののででは、 ないののででは、 ないののででは、 ないののででは、 ないののででは、 ないののでは、 ないののでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 な	ター」を養増加に対応を養増加に対応を受ける。 は、 本のでは、 本ので	成し、地域 はするために 出控えや介記 と近い はまれるために はまれるために まれるために をでといる。 ででか・重症 でなか・重症 でする。 でするによった。 ででない。 ででで、	成の介護基準に毎年40人 養予防事業等 かれるよ 措置り ういた。 一番のの状態 を関する。 というの状態 を関する。 を関する。 の状態 を関する。 の状態	へのサポーク 等の一時休止 やケーブルラ 等める。 期間に予定し 態悪化から、 ことができた ことができた ことができた	ターを に に い に に い に に に に い に に に に に に に に	を養成目用と下を下して下
目標のえ) R3年度 R4年度	2 ((3 ((3 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4 ((4	生活支援サポウ支 (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標末達・新型コロナウイルス感染症・動塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・感染状況を考慮しながら、・つロナ禍の影響などから、・つコナ禍の影響などから、・つロサーの高齢化に加え回ることとなった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アであるいる。 であるいる。 でかける でかける でかける でかける でかける でかける できない できない できない できない できない できない できない できない	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行る ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行した しょうけん たいがく しょうけん たいがく しょうけん たいがく しょうけん こうかん しょうかん しょう しょうかん しょうかん しょうかん しょう しょうかん しょうかん しょうかん しょうかん しょうかん しょうかん しょう	接サポークに対している。 を表している。 をましている。 を	ター」を養増加に対応を養増加に対応を受ける。 は、 本のでは、 本ので	成し、地域 はするために 出控えや介記 と近い はまれるために はまれるために まれるために をでといる。 ででか・重症 でなか・重症 でする。 でするによった。 ででない。 ででで、	成の介護基準に毎年40人 養予防事業等 かれるよ 措置り ういた。 一番のの状態 を関する。 というの状態 を関する。 を関する。 の状態 を関する。 の状態	へのサポーク 等の一時休止 やケーブルラ 等める。 期間に予定し 態悪化から、 ことができた ことができた ことができた	ターを に に い に に い に に に に い に に に に に に に に	を養成目用と下を下して下
目標のえ R3年度 R4年度 R	1 (((((((((((((((((((生活支援サポウ支 (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実) (実)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標を取り上があることであった。・感染状況を考慮しながら、・令和5年度からは、これまと繋げていくたの高齢化に加え回ることとなった。・動型コロナウイルス感染症予防事業を実施し、フレイル	アであるいる。 であるいる。 でかける でかける でかける でかける でかける でかける できない できない できない できない できない できない できない できない	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行る ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行した しょうけん たいがく しょうけん たいがく しょうけん たいがく しょうけん こうかん しょうかん しょう しょうかん しょうかん しょうかん しょう しょうかん しょうかん しょうかん しょうかん しょうかん しょうかん しょう	接サポークに対している。 を表している。 をましている。 を	ター」を養増加に対応を養増加に対応を受ける。 は、 本のでは、 本ので	成し、地域 はするために 出控えや介記 と近い はまれるために はまれるために まれるために をでといる。 ででか・重症 でなか・重症 でする。 でするによった。 ででない	成の介護基準に毎年40人 養予防事業等 かれるよ 措置り ういた。 一番のの状態 を関する。 というの状態 を関する。 を関する。 の状態 を関する。 の状態	へのサポーク 等の一時休止 やケーブルラ 等める。 期間に予定し 態悪化から、 ことができた ことができた ことができた	ターを に に い に に い に に に に い に に に に に に に に	を養成目用と下を下して下
目 考 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年	2 (() () () () () () () () () (生活・大学 (次)	ーターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標を表現である。・一回塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アでれてするい。 では、	「る」ル・予、 定。をに 護 回きルに 行化 大支 高 楽 業ナー た しる 事 し で ボプけ た 止を しる 事 し で かんしい こうれる こを	援サ者数 症 症 症 位 位 で で で で で で で で	ター」を養地に対して、 一」を養地に対して、 一」を養地によるを養地によるを持いて、 一」を表が、 一」を表が、 一」を表が、 一」を表が、 一」では、 一」では、 一」で、 一、 一」で、 一、 一」で、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	成し、地域 はするために 出控えれる活を はまれま活を にするらを をで足か・重な をで足が・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でいい不の機会	成の介護基基 成の介護基基 で毎年40人 養予防事業等 かれる。 おも、おき、おき、おき、おき、おき、また。 等のののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 ののでは、 のので、 ののでは、	へのサポークをある。 をケーブルラをある。 期間に予定し 態悪化から、 ことができた。 に変の「助け合い。	ターを に ドレ して 目 … 。	を 養 が た に 動 値 に 動 で が で が で が で が で が で が で が で が で が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の
目 考 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年	2 (() () () () () () () () () (生活・大学 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標を変更をある。・新型コロナウイルス感染症・団塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・感染状況を考慮しながら、・令和5年度からに必要にいくために必要にいくために必要にいることとなった。・新型コロナイルス感染症・野防事業を実施し、フレイルス感染症・養成数の目標値を下回った。・養成数の目標値を下回った。	アでれてするい。 では、	「る」ル・予、 定。をに 護 回きルに 行化 大支 高 楽 業ナー た しる 事 し で ボプけ た 止を しる 事 し で かんしい こうれる こを	援サ者数 症 症 症 位 位 で で で で で で で で	ター」を養地に対して、 一」を養地に対して、 一」を養地によるを養地によるを持いて、 一」を表が、 一」を表が、 一」を表が、 一」を表が、 一」では、 一」では、 一」で、 一、 一」で、 一、 一」で、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	成し、地域 はするために 出控えれる活を はまれま活を にするらを をで足か・重な をで足が・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でこれが・ でいい不の機会	成の介護基基 成の介護基基 で毎年40人 養予防事業等 かれる。 おも、おき、おき、おき、おき、おき、また。 等のののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 をつる。 ののでは、また。 ののでは、 のので、 ののでは、	へのサポークをある。 をケーブルラをある。 期間に予定し 態悪化から、 ことができた。 に変の「助け合い。	ターを に ドレ して 目 … 。	を 養 が た に 動 値 に か に た で か に で か に で か に で か に の に 。
目 考 R 3 年 B R 4 年 B R 5 年	1 (() () () () () () () () ()	生活・大学 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標率を10歳の世代の高齢化に加え回ることとなった。・感染状況を考慮しながら、・コロナ禍の影響などから、・コロナ禍の影響などから、・コロナ禍の影響などから、・奇和5年度からめに必要ないる。・新型コロナウイルス感染にあることとなった。・新型コロナウカーであることをなった。・新型コロナウカーであることをなった。・新型コロナウカーであることをあります。・養成数の目標値を下回った。・・養成数の目標値を下回った。・・・	アでれずりつとにの 実成の、 積 目で核、 が予 が、 対・ この であるいる。イ。	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行化 で生が、 感 事口 っ た きお 予 ったーお し防 養 の で ボプけ た 正 成 し し で し で で で かんし で し る い し う に る し し し か に る し し し し し し し し し し し し し し し し し し	接が者を 中禍 が た 外 業 ま ン り 外 と図 た が の 会 で い の 養 や し で っ テの出 にる ボ の 会 で い の 会 や い の 会 や い の 会 や い の 会 や い の 会 や い の 会 や い の 会 や い の 会 や い こ テー	マー」を 増加に対 響による は は は は は は は は は は は は は	成し、地域でするためにはまれるためにはまれるためにはまれるででは、まれででは、まれででは、まれででは、まれででは、まれででは、まれでは、まれ	成の介護基基 成の介護基基 で毎年40人 養予防事業等 かれる。 が表すうる。 一方ののでは、 をする。 である。 で。 である。 である。 でる。 で。 でる。 でる。 でる。 でる。 で。 でる。 でる	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、	ターをはにいている。	を養いをたいをたいをある。「「をなった」をなっている。これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、
目 考 R 3 年 度 R 4 年 度 R 5 年	1 (() () () () () () () () ()	生活・大学 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回から中止したため、目標を取り、不可塊の世代の高齢化に加え回ることとなった。・感染状況を考慮しながら、・令和5年度からは、必要ないの高齢化に加え回ることとなった。・新型コロナウイルス感染に予防事業を実施し、フレイルを発がある周知が行えた。・・養成数の目標値を下回った。・・・養成数の目標値を下回った。・・生活支援サポーターの養成・生活支援サポーターの養成をいた。・生活支援サポーターの養成をない。・生活支援サポーターの養成をないの意味をない。・生活支援サポーターの養成をないた。・生活支援サポーターの養成をないた。・生活支援サポーターの養成をないた。・生活支援サポーターの養成をないた。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アでれてすって、	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単生が ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位を か し で ボブけ たこを し は は で か し で は は し は は し か し か し か し か し し は は し は し	援い がた外業 まンり外と図 たない。 でなまた、 たいののでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	マー」を 増加に対 響による は は は は は は は は は は は は は	成し、地域でするためにはまれるためにはまれるだった。 はまれるためでするためではまれるだった。 まんできない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででない。 ででは、 でで	成の介護基基 成の介護基基 で毎年40人 養予防事業等 かれる。 が表すうる。 一方ののでは、 をする。 である。 で。 である。 である。 でる。 で。 でる。 でる。 でる。 でる。 で。 でる。 でる	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、	ターをはにいている。	を養いをたいをある。「「を養して、」である。「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
目 考 R 3 年 B R 4 年 B R 5 年	1 ((2 ((((((((((((((((生活 (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症した運動機会の提供を図る等・年度当初は養成講座を3回をの中止したため、見ている。を動したであることである。・一日のでは、必要などのでは、必要がある。のでは、必ずないる。のでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	アさだ。 でれずりた。 でれずりた。 が表して、 でれずりた。 が子でれずりた。 が子でれずりた。 が子でれずりた。 が子でれずりた。 から、 が子でれずりた。 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 のる。 のが、 のる。 のが、 のる。 のが、 のる。 のが、 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単を活、 感 事口 っ 慮け 防 て ボブけ た正 成 でえて シード しゅん で で 単を しょう いっぱん はて しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょくしょう しょうしょう しょうしょう しょく	援い が た 外 業 ま ン り 外 と図 た ない ない ま か の き や し が た 外 業 ま ン り 外 と図 た ない で 控 実 た ィ 勉控 よ。 ラ 、 。 マ え 施 が 、 の会 や 、 。 フ 、 。 ラ 、 。 ラ 、 。	マー」を 関連 響による は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	成し、地域でするためにはいます。 出控えなのではいます。 まいまれてではいるのでではいるでは、 まではいるのでは、 でで	成の介護基基では、	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪なから、	ターを に に し て 目 。 い 目 極 助 け 助 「 助 」 「 助 」 「 加 標 の 」 け 助 … か か か か か か か か か か か か か か か か か か	を養いをたい値を動しているけるのでは、おいては、これをからいるのでは、これをからいるのでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを
目 考 R 3 年 度 R 4 年 度 R 5 年	1 ((2 ((((((((((((((((生活 (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次) (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウイルを図る等・年度当初は養成講座を3両をのから中止したため、見ている。を対したである。を対したである。を繋げているでは、必要などから、のでは、必要などのでは、などのではないなどのでは、などのでは、などのではないなどのではないなどのではないなどのではないないなどのではないないなどのではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	アさだ。 でれずりた。 でれずりた。 が表して、 でれずりた。 が子でれずりた。 が子でれずりた。 が子でれずりた。 が子でれずりた。 から、 が子でれずりた。 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 から、 から、 でれずりた。 から、 のる。 のが、 のる。 のが、 のる。 のが、 のる。 のが、 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。 のる。	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単を活、 感 事口 っ 慮け 防 て ボブけ た正 成 でえて シード しゅん で で 単を しょう いっぱん はて しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょくしょう しょうしょう しょうしょう しょく	援い が た 外 業 ま ン り 外 と図 た ない ない ま か の き か し が た 外 業 ま ン り 外 と図 た ない で 控 実 た ィ 勉控 よ。 ラ 、 。 マ え 施 が 、 の会 や 、 。 フ 、 。 ラ 、 。 ラ 、 。	マー」を 関連 響による は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	成し、地域でするためにはいます。 出控えなのではいます。 まいまれてではいるのでではいるでは、 まではいるのでは、 でで	成の介護基基では、	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪なから、	ターを に に し て 目 。 い 目 極 助 け 助 「 助 」 「 助 」 「 加 標 の 」 け 助 … か か か か か か か か か か か か か か か か か か	を養いをたいをある。「「「「「」」を介いられている。「「」を介いられている。「「」を介いられている。「「」では、「「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」で
目 考 R 3 年 B R 4 年 B R 5 年	2 ((3) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	生」、 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウイルス感染症・耐塊の世代の高齢化に加え回る。 ・ ・ 会談では、必要によりないの世代の高齢化に加えいる。 ・ ・ 会談では、必要によりであった。 ・ ・ 養成数の目標値をかられた、 ・ ・ 養成数の目標値をがられた。 ・ ・ 養成数の目標値が行えた。 ・ ・ 養成数の目標値が行えた。 ・ ・ 生活支援サポースを発症がよりに、 ・ ・ 生活支援サポースを発症がよりに、 ・ ・ であった。 ・ ・ 生活支援サポーターのでで、 ・ ・ であった。 ・ ・ 生活支援サポーターのでで、 ・ ・ であった。 ・ ・ であった。 ・ ・ であった。	アでれずりとにの 実成の、 積 目で核、 が予 が 講るであれる。 イ。 護し 寒成の、 積 標養とコ 5防 、 座よ行った。 介を でを、 が予 が 講るで をうえるから。 が予 が 講るで をして が 移 で と で と が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と か で と で と	「る」ル・予、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単をう 上をが ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に で ボス 家 事士 た しる 事 し ブリオ た上 成 でえな でなな しょく	接続症 中禍 が た外 業 まンの外 と図 た ないた か ない たい か か か か か か か か か ら い たい たい か か か か か か ら い たい たい たい か か か か か か か か ら い か ら し にい か か か か か か か ら い か ら し にい か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か ら か ら か ら い か ら か ら い か ら か ら	マール マール マーカー が 実の ルース で かった	成し、地域でするためにはない。 出控えれる活を対したのででででいる。 はまいりでででいる。 をででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいるでいる。 ででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででででいる。 ででいるででいるででいる。 ででいるでででででいる。 ででいるでででででいるででででででででででででででででででででででででででで	成の介護基基では、	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪なから、	ターを に に し て 目 。 い 目 極 助 け 助 「 助 」 「 助 」 「 加 標 の 」 け 助 … か か か か か か か か か か か か か か か か か か	を養いをたい値を動しているけるのでは、おいては、これをからいるのでは、これをからいるのでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを
目 考 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度		生し、実年 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少に・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウオルを図る等・年度当初は養成講座を表示を関連の世代の高齢化に加え回から中止したのでは、水水にに加え回るのととなった。・感染状況を考慮しながら、・コロサイの高齢化に加え回るのととなった。・・一つのでは、必要があるととなった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アでれずりとにの 実成の、 積 目で核、 が予 が 講るであれる。 イ。 護し 寒成の、 積 標養とコ 5防 、 座よ行った。 介を でを、 が予 が 講るで をうえるから。 が予 が 講るで をして が 移 で と で と が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と か で と で と	「る」ル・予、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単をう 上をが ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に で ボス 家 事士 た しる 事 し ブリオ た上 成 でえな でなな しょく	接続症 中禍 が た外 業 まンの外 と図 た ないた か ない たい か か か か か か か か か ら い たい たい か か か か か か ら い たい たい たい か か か か か か か か ら い か ら し にい か か か か か か か ら い か ら し にい か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か ら か ら か ら い か ら か ら い か ら か ら	マール マール マーカー が 実の ルース で かった	成し、地域でするためにはない。 出控えれる活を対したのででででいる。 はまいりでででいる。 をででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいるでいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいるででいる。 ででいるででいるででいるででいるででいるででいるでででででいるででででででい。 でででいるででででででででででででででででででででででででででででででででで	成の介護基基では、	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪なから、	ターを に に し て 目 。 い 目 極 助 け 助 「 助 」 「 助 」 「 加 標 の 」 け 助 … か か か か か か か か か か か か か か か か か か	を養いをたいをある。「「「「「」」を介いられている。「「」を介いられている。「「」を介いられている。「「」では、「「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」で
目 考 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度 R 6	1 ((2 ((3 ((((((((((((((生し、実に、 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウオルス感染症・新型コロナウイルを図るに変がら、・対した変ががら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にながら、・が関係を表にないます。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アでれずりとにの 実成の、 積 目で核、 が予 が 講るであれる。 イ。 護し 寒成の、 積 標養とコ 5防 、 座よ行った。 介を でを、 が予 が 講るで をうえるから。 が予 が 講るで をして が 移 で と で と が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と し が で と か で と で と	「る」ル・予、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単をう 上をが ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に で ボス 家 事士 た しる 事 し ブリオ た上 成 でえな でなな しょく	接続症 中禍 が た外 業 まンの外 と図 た ないた か ない たい か か か か か か か か か ら い たい たい か か か か か か ら い たい たい たい か か か か か か か か ら い か ら し にい か か か か か か か ら い か ら し にい か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か か か か か か か か ら か い か ら し にい か か か か ら か ら か ら い か ら か ら い か ら か ら	マール マール マーカー が 実の ルース で かった	成し、地域でするためにはない。 出控えれる活を対したのででででいる。 はまいりでででいる。 をででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいるでいる。 ででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいるででいる。 ででいるででいる。 ででいるででいるででいる。 ででいるででいるででいるででいるででいるででいるでででででいるででででででい。 でででいるででででででででででででででででででででででででででででででででで	成の介護基基 成の介護基基 で毎年40人 養予防事業等 かれる。 おも、一方のでは	へのサポークをある。 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪化から、 は悪なから、	ターを に に し て 目 。 い 目 極 助 け 助 「 助 」 「 助 」 「 加 標 の 」 け 助 … か か か か か か か か か か か か か か か か か か	を養いをたい値を動しているけるのでは、おいては、これをからいるのでは、これをからいるのでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを
目 考 R 3 年 度 R 4 年 度 R 5 年 度 R 6 年		生し、実年 (次)	- ターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイントの減少値・新型コロナウイルス感染症・新型コロナウオルを図る等・年度当初は養成講座を表末を重要がある。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アさっぱっぱい では、 できない では、 できない。 できない しょくしょうない しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくし	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単をう し 登生が ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に 、 録録	援い 症 中禍 が た 外 業 ま ン り 外 と 図 た な い た イ は け 者 な し に る が た み 業 ま ン り 外 と 図 た な い た イ は る が 、 の 会 や 、 テ 治 よ ・ 人 の と の き い た イ は し が の 会 や 、 テ 治 よ ・ 人	ター は	成し、地域でするためにはまれるためにはまれるででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、できないでは、できないが、できないできないが、できないが、できないが、できないが、できないいいできないいいできないいいできないいいできないいいできないいできない	成の介護基基の介護を持ち、	のサポークをあった。 かりでする。 は悪化から、 は悪化から、 さいではける。 でのは、 地域でののは、 が、 がははする。	ターを に ド ド ド ド ド ド ド ド ド に に に に に に に に に に に に に	を (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)
目 考 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度 R 6		生し、実年 (次)	マターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイイルス感染症・新型コロナウウ提供を図る等・年度当初は養成講座を表示を持ちられている。・新型コロナウの高齢化に加え回ることが、の表別では、必要ないのでは、必要ないのでは、必要があり、のでは、必要があり、のでは、必要があり、のでであり、のでは、必要があり、のでであり、のでは、必要がは、のでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要がは、のでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、などは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	アさっぱっぱい では、 できない では、 できない。 できない しょくしょうない しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょく しょくしょくしょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくしょくし	「る」ルーラ、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単をう し 登生が ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に 、 録録	援い 症 中禍 が た 外 業 ま ン り 外 と 図 た な い た イ は け 者 な し に る が た み 業 ま ン り 外 と 図 た な い た イ は る が 、 の 会 や 、 テ 治 よ ・ 人 の と の き い た イ は し が の 会 や 、 テ 治 よ ・ 人	ター は	成し、地域でするためにはまれるためにはまれるででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、ででは、できないでは、できないが、できないできないが、できないが、できないが、できないが、できないいいできないいいできないいいできないいいできないいいできないいできない	成の介護基基の介護を持ち、	のサポークをあった。 かりでする。 は悪化から、 は悪化から、 さいではける。 でのは、 地域でののは、 が、 がははする。	ターを に ド ド ド ド ド ド ド ド ド に に に に に に に に に に に に に	を (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)
目考 R3年度 R4年度 R5年度 R6年		生し、実ののでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、	マターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と減少に要がある。・団塊の切りののののののののののののののののののののののののののののののののののの	アさっぱっとにの 実成の、 積 目で核、 が予 が 講るで 極 回修 でればけたう夫 すな染口 的 値 成な口 類・ こ をうえ に を の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	「る」ル・予、 定。をに 護 回きルに 行化 で 単をう し、登議生が ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に 、 録体活、 感 事口 っ 慮け 防 て ボプけ たよ し はてっ レ 数地で はてっ レ 数地で はんかい はてっ レ 数地で はんかい はんかい はんかい しょうにん しょうにん しょうにん はんしょうしょう	援節 症 中禍 が た 外 業 まンり外 と図 た ないた イ は域サ者 ないに 、 上出 を っテの出にる ボ くくこ ル 3の課 かん の い の 養 や し が の会や 、 テ 治 よ ・ 人解	Pull	成し、地域にするためにはまれた。 では、	成の介護基 成の介護 で の介護 で で の介護 で で の で の で の の で の の を の の を の の の を の の の の の の の の の の の の の	のサポークをあった。 なから、 は悪化から、 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 ででできる。 ででできる。 ででででできる。 でででででできる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。	ターで レー 1 ** C **	を (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
目 考 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度 R 6 年		生し、実ののでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、次のでは、	マターは既に226人が養成え合い活動及び介護予防を・団塊の世代の高齢化と新型標値より0.9ポイイルス感染症・新型コロナウウ提供を図る等・年度当初は養成講座を表示を持ちられている。・新型コロナウの高齢化に加え回ることが、の表別では、必要ないのでは、必要ないのでは、必要があり、のでは、必要があり、のでは、必要があり、のでであり、のでは、必要があり、のでであり、のでは、必要がは、のでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要がは、のでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、必要があり、このでは、などは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	アさっぱっぱい では、	「る」ル・予、「定。をに 護」回きルに 行化 で、単をう し、登議 く生が ス 防コ だ 考お 予 ったーお し防 養 位整に 、 録体 市で ボブけ た止 成 でえな フ 者(関本) ではてっ レ 数地 に	援齢 症 中禍 が た外 業 まンり外 と図 た ないた イ は域 周サ者 太 止に 、 上出 を っテの出にる ボ くくこ ル 3の 知れ数 の 令い 回 、 え 施 が ア強之 り 、 と 予 O課 し が ア強之 り ・ らと 予 O課 し 、 の会 や 、 テ 治 よ ・ 人解 よ	夕増 響 4も う 成交 、 予フを交 外 イ 会 り 重 に決 りを	成す は はす は はす は はす は はす は はす は はす は はな に はな に なる ら 重 で 足 防 に で 足 防 に で 足 で と	成の介年40人 養の介年40人 養の介年40人 養の分 大の一 養の一 大の一 大の一 大の一 大の一 大の一 大の一 大の一 大	Modular Manager Mana	ターで レー 1 ** C **	を だん 値 し 動い値に 一合い ポープで成目 用しと 下 し へ 下 護 活 い ン ないない

	_			_	指標数	18	18	18	18	18		本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	 ・主な内容(4桁=	コード)	達成数	5	6	5	5	0		・主な内容 幸成状況
					達成率	27.8%	33.3%	27.8%	27.8%	0.0%]	
		, 健康で生きがいのあ	ス替に」の士		指標数	3	3	3	3	3		
(21	1	の春りしの又	達成状況	達成数	1	1	0	0	0		
		技			達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		404 健康福祉センター等の	健康福祉センター	R1	目標値	28,000	33,000	39,000	46,000	55,000	人	高齢者
	0,	101 階原価値 ピンター等の 活用	の利用者数	44.984人	実績値	83,107	38,745	13,347	20,782			福祉課
		المال		44,9047	評価	〇 達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成		以上	田山山水
				R1	目標値	60	70	80	90	100	か所	高齢者
	O.	102 居場所の開催	居場所設置数	46か所	実績値	54	54	51	56		JJIJI	福祉課
				40000	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	шши
		京齢者の社会参加の 古	介護予防ボランティア		目標値	40	50	60	70	80	人	高齢者
	0,	103 高齢者の社会参加の支援	の登録者数	_	実績値	34	45	36	33			福祉課
		1/2	0万型冰日数	% 7	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	田山山水
		0101 実績値上、目標値を					ルス感染症	ワクチン接	種会場であっ	ったことから	ら、利	用者の
		大半はワクチン接種										
		0102 各圏域の生活支援コ						新型コロナ	ウイルス感染	染症のまんる	正に伴	U1.
	3	_ / / / / / //							/ I 	· =# ># += -1- N+	+	- 14
		0103 ボランティア養成研り 急きょ日程を変更した								感染拡大的	正(()	<i>⊂⊗)</i> 、
		0101 目標値を上回ったが、 ないと考える。	その内容は、昨年	度同様新型	ピコロナワ	クチン接種	会場として	の利用者数	であることだ	から、評価の	の対象	となら
年		O102 目標値を下回ったもの ターと包括支援センター					.。令和5年	度も引き続	き、各圏域の	の生活支援	コーデ	ィネー
+	4	0103 目標値を下回ったも					ニとが伺う	たことかに	コキ結キ	- 大子士	+ 12	カート
		協働し、地域での「								土心又饭!	ノハー	3-6
度		0101 目標値を下回ったが、								証価の対象	るとた	らない
		と考える。										
評	R 5	0102 居場所代表者の高齢 ターと協働し継続支持	化により、継続がで 選を行っていく	きず終了と	なる居場	脈があった	。各圏域の	生活支援コ	ーディネータ	ターと地域は	包括支	援セン
	5	0103 目標値に達していない。		シア活動を	白白のイ	・誰るばとは	ラ ぶしみ	たがに会加	される方がる	とかった		
価												
		O1O1 年間を通じ利用制限 知を行い利用者の増加	加に努めていきたい	0								
	R 6	后来,内别数(/)12/11(となった。課題とし	援センター て代表者の	-が協働し)高齢化に	人、居場所か より、居場	必要と思わ 所の継続が	れる地域にi 困難となるi	直接出向き、 箇所があるが	立上げ支払	援等を こ向け	行った
		0103 目標値を下回ったが、 いとの思いが聞かれる							だけではなく	く、楽しみな	まがら	続けた

いとの思いが聞かれるようになった。引き続き、ボランティア活動の周知を行っていく。 ※7 令和3年度からの新たな事業であるため、基準値は一とした。

					指標数	2	2	2	2	2		
)2	2 介護予防の推進		達成状況	達成数	0	0	0	0	0	1	
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		5488EU 775CEULL I)	R1	目標値	170	185	200	215	230	人	÷ 4.4.7/
	02	201 訪問型・通所型サーヒ スを活用した介護予防		146人	実績値	122	143	146	125			高齢者 福祉課
		, (C/G/13 0 /C/ 1123 1/2		(単年)	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	100 100 11
		一般介護予防教室や健	健康体操クラブ	R1	目標値	15,800	16,600	17,400	18,200	19,000	人	
	02	202 康体操クラブなどを通		15,007	実績値	4,849	14,806	12,630	16,413			高齢者 福祉課
		じた介護予防	(延人数)	人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	I III III III
		0201 新型コロナウイルス										策がさ
	R 3		参加への効果につい									
	3	O2O2 新型コロナウイルス い期間があったこと	、窓架症窓架拡入的II こから、目標値を大き			」なつ (いた	ニコミューア	イセノター	(9)主准字省(とノター寺ん	プツア	いとう
		O2O1 感染予防対策を施し 者の増加が見込まれ	ン事業を実施したが、 1.るため、本事業に参								上活機	能低下
	R			0444664	W-4-100 -	-/		*****	T		7 1 0	
Æ	4	0202 参加者が安心して参	別できるよう感染予 こ。コロナ禍で外出を	·防刃策や人 ・控えたこと	、数制限を で筋肉量	と行って開催 M低下等が	したか、感 心配される	梁リスクの ため 転倒	小安から参ス リスクを計績	川を目粛する 訓する歩行師	らとの R析ア	声もあり
年			、一人一人に合わせ					/C0)(+AIE)		41 9 (D/9/13/5	H-1/1/2	
度		0201 新型コロナウイルス										に参加
	R	する高齢者に対し、	体力測定及び本事業	の周知を行	ったが、	本事業に該	当する対象	者の抽出が	できず目標値	直を下回った	Ē.	
οŦ	5	0202 熱中症予防のため、	8月は全18会場を休	なにしたこ	ことで、ほ	実施回数と乳	€績値の減少	となった。				
価												
		0201 サービス提供を停止	こした事業所があり、 E広く行い、どの段階									事業の
										- 12 100 1		→
	R 6	0202 よりも実績値が増加	st加会場が指定されて Duた。しかし、6月	からの猛星	い、市和は) 年度からは k出控えがを	(中内の云場)	が大幅に伸	川 ぐさるよう びない原因の	つになっ <i>にに</i> カひとつとな	こめ、 なって	則年度
	О	引き続き、健康体質	4クラブが猛暑のため	休みとなる	8月に向	けて、事前	に歩行解析:	アプリで測算	定した結果を	を基に、個々	に合	った自
			ノーニングのメニュー	を6月から	7月にか	けて指導する	るとともに、	本事業に参	別すること	の有益性を	広くほ	割知し
		積極的に利用を働き	らかりていて。									

		傾極可に利用を倒るが	317 (017)									
					指標数	2	2	2	2	2	1	
(23	3 住民相互で行う地域の	の支え合い	達成状況	達成数	1	0	0	0	0		
					達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		生活支援コーディネー	サービスB	R1	目標値	50	60	70	80	90	人	高齢者
	03	301 ターによる生活支援・	利用者数	40人	実績値	67	57	55	47			福祉課
		介護予防の基盤整備	13/13 🗆 🗴		評価	○ 達成	× 未達成				以上	TED I TED IX
		この 高齢者を支援するボラ	 生活支援サポー	R1	目標値	40	40	40	40	40	人	高齢者
	03	302 同断白を又抜りるホノンション・ション・ション・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイ	ターの養成数	45人	実績値	16		23	22			福祉課
		0001 BUNNET 7-17-11		ニヘキが	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
	R	0301 周知が進んできており	7、利用有数の増加	にノなかつ	た。							
	3	0302 新型コロナウイルス原	或热症成热抗大防止	のため そ	定してし)た謙応3回	かうち2回	宝施できず	日煙を達成	せすスニと7	ができ	たかっ
		た。令和4年度につい								29 DCC		1013 2
		0301 目標値を下回ったが、	総合事業の対象者	の弾力化に	より介護	認定への移	3行後も、ケ	アマネジメ	ントを通じて	てサービスの	の利用	ができ
年	R	るものとなったため、	大幅な人数減には	至らなかっ	た。今後	後は介護支援	事業所のケ	アマネジャ	ーへの周知る	を積極的に行	テって	いく。
+	4	0302 目標値を下回ったが、									ランテ	ィアの
度		フォローアップを行い	1					/ -/6				1 - - 11
		0301 総合事業の対象者弾力 ついて周知を行ってい		マネジャー	等に行き	属いてなか	いったため、	ケアマネ部	会にて生活	支援サポーク	ターの	役割に
評	5	0302 養成数の目標値を下	,,,	差成したボ	ランティ	, ¬∧¬ → □	コーフップに	カたえわ	thtiiでの「F	カけ会い注	āh ı <i>1</i> -	つたが
侕		る周知を行うことが		良成した小	10011	アのフォロ	コーアックに	172/16 J		מסיי עם כיוש	刈」 に	. 2/6/3
ш		0301 施設入所等による利用		者数の伸び	悩みによ	り目標値を	下回った。	今後も生活	支援サポーク	ターの利用に	こつい	て、介
	R	護支援事業所のケア								107.0		
	6	0302 年度の養成数は目標値									がるよ	う、
		フォローアップ研修や	や2層協議体(地域の	の課題解決	や活性化	のために話	し合う場)	への参加も	動きかけてい	いる。		

					指標数	3	3	3	3	3		
(Э4	- 高齢者の権利擁護		達成状況	達成数	1	2	2	2	0		
					達成率	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課
		地域包括支援センター	司法書士を招いた	R1	目標値	14	16	18	20	22	件	高齢者
	O	401 を中心とした多職種協	合同相談会におけ	14件	実績値	0	9	2	0] ''	福祉課
		働による取組	る相談件数					× 未達成		_	以上	
		100 AF# DUT OF	成年後見人等への	R1	目標値	3	4	5	6	7	件	高齢者
	0	402 成年後見制度の活用	報酬支払助成件数	1件	実績値	9		16	12		15.1	福祉課
				D4	1	〇 達成	〇 達成		〇 達成	4	以上	
		100 京松老春往の吐止	伊東市家庭内暴力	R1	目標値	1	1	1	1	1		高齢者
	02	403 高齢者虐待の防止	及び虐待防止連絡 協議会等への参加	年1回	実績値評価	× 未達成	1	·	1 〇 達成		」 以ト	福祉課
		0401 新型コロナウイルス		のため #						ま匠歯わい		タフィト 1 °
		040 新空コロナライルス ネルをショッピング										
	R	0402 経済的に困窮してい										
	3			102/2011/201	D/ (1 ±2 (211 30/10 70/10		05 (+1XB/11257	V 1 05 0201	750 (76/00)		. 30
		0403 新型コロナウイルス	感染症感染拡大防止	のため、開	催が中山	となり、各	機関による	虐待対応実績	績の報告資料	料を共有する	るのみ	となっ
		た。今後は事例検討	を行えるように、コ	ロナ禍にお	ける開催	能方法を検討	けしていく。					
		0401 個人情報保護及び新									う方は	少なく
		目標を下回った。今										
年	R	0402 経済的に困窮してい	る身寄り無し局齢者	の成年後月	見入甲立て	件数が増加]しているた	め、報酬助り	 取甲請も目標	票値を上回・	った。	
+	4	 0403 新型コロナウイルス!	成効点が土成しのた	ぬ 伊恵ま	安克内里	╕ ╸ ┱┱┇┢╛	この亡・1 ト '市 4夕 +力	詳合を争る	ニア間/出し が	ヒ 夕士!!!		点法
		0403 新空コロブワイルス ケースを報告し、連		め、アネル		をリメリア	加工建裕协	俄女グ音画	こ(用惟し	こ。台又抜作	茂) (1)	ルミ1寸
度		0401 終活講座や対島地域		主体として	宇施する	3 「いきいき	健康フェス	タ」等におり	ハて、司法語	書十と協働で	で相談	対応を
		する機会が増えたこ) (IC00)	V. C()///		C 100x	ے اوار در
≡亚	R	0402 高齢化率の増加に比	列し、経済的に困窮	している身	寄り無し	高齢者の成	年後見人申	立て件数が	増加している	るため、報	酬助成	申請も
от	5	目標値を上回った。										
		O4O3 新型コロナウイルス!		め、伊東市	家庭内暴	関力及び虐待	防止連絡協	議会を書面	こて開催した	と。各支援	幾関の	虐待
価		ケースを報告し、連										
		合同相談会について										
		⁰⁴⁰¹ わなかったため、他の フェスタ」等におい										
		高齢者の権利擁護に					//Co JICINI	C, SME.	上しりた形		OIC,	
	IR											
	6	0402 高齢化率の増加に比	例し、経済的に困窮	している身	寄り無し	心高齢者の成	年後見人申	立て件数が	増加している	るため、報	酬助成	申請も
		目標値を上回った。	伊事士学院中里士	ロバーはは	トート・本をおけ	学会になせ	- +立 + 40 10 11	生 フナ	±0.1+ 1 \±+	生3分/レ/ーカ ワ・	ムヒ	
		0403 書面にて開催された。	、伊果中豕廷内暴刀	及び虐待防) 止 連 裕 防	施設会に合文	(抜機関の) [2]	付ケースを	報告し、連打	秀短化に劣む	めた。	

					指標数		4		4		4		4	4		
(05	・地域包括ケアシステークシステークを表す。	ムの構築	達成状況	達成数		2	<u> </u>	3		2		2	0		
		<u> </u>	**************************************	# <i>\#</i> #	達成率		0.0%	(5.0%		D.O%	5	50.0%	0.0%		+C \/ = B
		主な内容	管理指標	基準値	口+亜/法		R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
	0.	50.1 地域ケア会議による課	地域包括支援センター	R1	目標値		11		13		15		17	19		高齢者
	Ut	DOT 題解決	を中心に運営する地域 ケア個別会議の開催数	150	実績値評価	0	27 達成		27 達成	0	25 達成	0	34 達成		以上	福祉課
				R1	日標値	O	<u>達成</u>	0	<u>達成</u>	0	<u>達成</u>	O	建 成	2	以上	
	\cap	502 在宅医療・介護連携の	多職種連携研修会	111	実績値		<u>_</u>		2		2		2			高齢者
	00	進 推進	の開催数	1 🗆	7 44771	×	 未達成		<u>_</u> 達成	0	達成	0	達成		以上	福祉課
				R1	日標値	^	800		900	_	1,000		1,000	1,000	W_T	
	O.	503 認知症サポーターの養	認知症サポーター		実績値		408		469		482		325	1,000	人	高齢者
	•	成	養成講座受講者数	598人	- 4.1241	X	未達成	_	未達成	X		×	未達成		以上	福祉課
		企業及び警察の協力並び	伊東市高齢者あんしん	R3,1月末	月標値	, ,	35	, ,	40	, , ,	45	, ,	50	55		
	05	504 にICT機器を活用した		00#	実績値		39		47		42		49		件	高齢者
		認知症高齢者の見守り	ク事業登録者総数	28件	評価	0	達成	0	達成	X :	未達成	×	未達成		以上	福祉課
		0501 各地域包括支援センタ											D課題抽品	出及び関係を	るのネ	ット
		ワーク構築を目的と														
		0502 新型コロナウイルス										和4	4年度は、	新型コロス	ナウイ	ルス感
	R 3	楽症の感染状況を見る。 2000年1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日 1月1日										<u></u>		+ + 1 -	+1 >	>". O.4+
	3	0503 新型コロナウイルス! 成に向けて受講回数!			定とめり	∃∟ا(美施 9 る	٥٥٥	こかでき	ない	った。	下币	14年度1	よ、ナー ム/	1レン	ンの給
		0504 高齢者人口の増加に			老とたる	く可能	と性 が言	<u> </u>	対象者が	计单加	11.711	スた	- め 登録	急性数 4.191	רוח ד	ルス
				(0,13,1,0)		ונייט	RITZ	יי טע	3867	カロソロ	10 (1)	ص ار	_0 /\ \	ALLEY OTHE		V 1 0 0
		0501 各地域包括支援センタ	ターにて困難事例の	課題解決を	目的とし	ノた!	也域ケア	2会i	義だけで	なく	、地域	間の	D課題抽出	出及び支援を	皆間の	ネット
		ワーク構築を目的と	した地域ケア会議及	び自立支援	型地域ク	アダ	会議を開	催し	ノたこと	によ	り、目	標値	を上回:	った。		
		0502 新型コロナウイルス!	感染症拡大防止策を	講じ予定と	おり実施	きでき	きた。全	3和5	5年度以	降も	目標値を	を目	指し、内	容も充実し	てい	きた
	R	υ\ <u>.</u>														
年	4	0503 新型コロナウイルス!								_					が、	令和3
		年度に比べ、開催回						₹ <i>U</i> /	よいら、	幁悭	出し事	業を	性進し	CVIC.		
		0504 目標を達成すること	かできたので、51き	続さ事業の	周知を図	刈つ (CUIC.									
度			ターにて困難車例の	世 いっぱん かんしゅう かいかい かいかい かいしゅう はいしゅう はいしゅい はいしゅう はい	日的とし	,t=+	出またて	7슬▮	羔だけで	たく	t#htatif	四/	7.調査は1	セプスド関係る	どのさ	wb
		ワーク構築を目的と										_		山次し肉がも	ヨマノイト	· 5 1 ·
		0502 コロナ禍であったが											· 介護	車携の推進に	向け	た多職
評	R	種間の連携強化の取得		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	···	• • •	J		147-00 51	U.190			,,,,,,,		_, _,	, = 5 441
ōŦ	5	0503 コロナ禍により目標(直は下回ったが、開	催回数を増	やすこと	:ICo	より受講	者数	数は年々	増加	してい	る0.	つで、目標	票達成に向け	ナて講	座の告
		知等を積極的に行い、	、目標達成を目指す	ものとする	>.											
		0504 施設入所等で登録を	取り下げた人が見込	らく、目標	票値を	を下回っ	た。									
価				-merant		4	11.1-6	- ^ -	** *** !		111 1 77				×	
		0501 各地域包括支援センタ)課題抽じ	出及び関係を	かった	ット
		ワーク構築を目的と 0502 予定通り研修会を実施											向けたべ	を受ける	事t 佳 ?⇔	AL WHO
	В	USU2 予定週り研修会を実施 組を行っていく。	ルし、日信恒を達成	y accn	· (さた。	513	さ続させ		△別 ● 川	诗建	がり推	進に	コリリたき	夕明性回りだ	主污蚀	コロの対対
	R 6	0503 これまで依頼を受け	て講座を開催してい	たため -	口十級方	- 林経1	で依頼か	が耐り	 カレ, た. ー	4-	日煙値	を下	同って	()ろ (今後)	士仕	頓を受
		けて開催するだけで														
		0504 施設入所や死亡等で														
				, ,	5.509	,,		1	- ,	. ت						

					指標数	2	2	2	2	2		
(26	う 介護保険サービスの[向上	達成状況	達成数	0	0	1	1	0		
					達成率	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		。。. 介護給付費適正化の推	市の指定事業所へ	R1	目標値	32	32	32	32	32		高齢者
	06	601	の実地指導回数	23回	実績値	6	22	36	24			福祉課
			00天1011年日数	230	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	× 未達成		以上	田山山木
			介護保険事業所訪		目標値	24	24	24	24	24	件	高齢者
	06	602 介護保険相談員の配置	問回数	_	実績値	0	0	18	24			福祉課
				% 8	評価	× 未達成			〇 達成		以上	
		0601 新型コロナウイルス原		め目標どお	り実施す	ることはで	きなかった	。令和4年周	度についても	5、新型コロ	ナウ	イルス
	R	感染症の感染状況を				- L L		4		- (1) - = = = = = = = = = = = = = = = = = =		-+->-h .1.IS
	3	0602 新型コロナウイルス原 況を考慮し実施する。	O	め、事業が	「八の訪問	切かできなか	つた。令机	4年度は、業	対型コロナワ	フイルス感乳	細の	感染状
		902 3 NEW 0 7 (NO 7 G)	<u>'</u>	□+h+5/2	5 - -1×××××××××××××××××××××××××××××××××××	いよいマイキ	· - + +	· 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	ロ無はをて	3 - t	0 5 4	: c= l→
	R	0601 新型コロナウイルス原 新型コロナウイルス原							日標値と下	当つた。 わ 4	10 T	浸は、
年	4	0602 新型コロナウイルス原							から生度け	章方尼月0六廿日7	تلر ج	四ける
		れ側に負担とならない					1万万 しこん	.D. 7/C° 11/	MOHIZIO、	에미미장	٠ ـ ٠	支げ八
度		0601 新型コロナウイルス原			- • • •	4回行()	3年以上宝		施していなし	/主業所は7	こくな	った
≣177	R			· Æ010-5		1 = 13 4 14			100000	,	× 1/0	، ح، ده
0	5	0602 新型コロナウイルス原	感染症が5類移行と	なり、介和	15年6月	から訪問を開	開始した。国	事業所利用者	からの聞き	取り内容を	、事	業所責
価		任者へ直接伝え、業績				0 20/31-20/	5,2 5,20	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	5			12//12/
		0601 運営指導の事前提出資	資料の様式変更に伴	い、令和6	年8月か	ら月2~4	牛の頻度で選	運営指導を実	施したため	、目標値を	下回	った。
	R	令和7年度以降は、月	月2~4件の頻度で	実施してい	き、目標	標達成を目指	す。					
	6	0602 介護保険相談員による	る事業所への訪問は	、目標どお	り実施で	できた。利用	者の声を事	業所へ伝え	ることで、)	運営の改善?	を図る	ことが
		できた。										

※8 介護保険相談員の配置は、令和元年度からの新規事業であるが、新型コロナウイルス感染症拡大により事業所への訪問実績がないため、 基準値は一となっている。また、目標値は、新型コロナウイルス感染症がなかった場合の設定としている。(月2回×12か月=24件)

						_	_	_	_	_	1					
					指標数	2	2	2	2	2						
(7	7 介護人材の育成		達成状況	達成数	0	0	0	0	0						
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
		+->++ /	₩ <i>₩</i>	R1	目標値	50	50	50	30	30	1	= tA =				
	0	701 基準緩和型サービス研修による人材の養成	基準緩和型サービス研修の育成数	40.1	実績値	25	27	30	20		人	高齢者 福祉課				
		形による人物の食成	人训修切自成数	48人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	油川味				
		養成した人材を必要と		R1	目標値	10	10	10	10	10						
	0	702 する介護事業所との	上記受講者の内の		実績値	7	6	1	6		人	高齢者				
		マッチング	事業所採用者数	9人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	福祉課				
		O7O1 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、受講者数を限定し、席の間隔を空けて実施したため、目標どおり実施することはで														
	Ь	O7O1 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、受講者数を限定し、席の間隔を空けて実施したため、目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。														
	3		TI修による人材の善	成の実績値	i (人数)	の中で、介	・護事業所と	のマッチング	グを行うたぬ	カ. 日標には	‡到[幸	した				
		かった。			. () (90)	0) (()	以子木/// こ	·) ()) .	2 613 2760		V T:1 KT	. 0,0				
年		 O7O1 新型コロナウイルス原	成沈予防のため 研	タクノギュク	完昌を生	限している	ことから	日煙値を下	司った 巫訓	#孟胡の名!	が批修	である				
-	R	ので、感染予防に配原)CC/) 5\			舟印主のタリ	则则多	ر درسی				
度	4	0702 養成した人材と介護	事業者との意識のギ	ヤップによ	って、「	アッチングに	至らないケ	ースも散見る	されたため、	養成したん	人材の	介護知				
)X		識・技術向上意欲の!	曽進を図り、介護事	業者に人材	育成の習	路発活動を行	っていく。									
		0701 研修の人数の定員を制	訓限しなかったが、	周知方法が	不十分だ	ごったため、	目標値を下	回った。受	講希望の多し	ハ研修である	るので	、感染				
評	R	予防に配慮しつつ、乳	実施方法等の見直し	を図ってい	きたい。											
	5	0702 養成した人材と介護	事業者との意識のギ	ヤップによ	って、マ	アッチングに	至らないケ	ースも散見る	されたため、	引き続き、	養成	した人				
侕		材の介護知識・技術の	句上意欲の増進を図	り、介護事	業者に人	、材育成の啓	発活動を行	っていく。								
		0701 新たに高校生も参加し	ノ、介護職場の正し	い理解促進	及び将来	その介護人材	育成を図っ	たものの、「	目標値を下回	回った。今後	後は、	社会人				
		が研修を受講しやすり	いよう、開催時期等	の見直しを	図ってい	いきたい。										
	R	0702 養成した人材と介護	事業者との意識のギ	ヤップによ	って、「	アッチングに	至らないケ	ースも散見る	されているか	こめ、当初の	D目標	値を達				
	6	・・・ 成することが困難とな	ふっている。引き続	き、養成し	た人材の)介護知識・	技術向上意	欲の増進を[図り、介護	事業者に人材	才育成	の啓発				
		活動を行っていく。														

扫	当課 社会福祉課				施策2-6	の全指標達成	龙郊							
	日標っぱる間にい		年度	R3	R4	R5	74 R6	R7						
施策	分野 6 障がい者福祉の充実		指標数	13	13	13	13	13						
	度がい老(旧)。その家族にとって度が	い者	達成数	9	8	11	10	0						
目指	旨す姿 (児) が安心して生活することができる		達成率	69.2%	61.5%	84.6%	76.9%	0.0%						
			指標数	4	4	4	4	4						
1 8	或果指標(KPI)		達成数	3	3	3	3	0						
		++>4-1-	達成率	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	0.0%	>\ /-L	+0.1/-m				
成果		基準値 R1	目標値	R3 8,100	R4 8,200	R5 8.300	R6 8,400	R7 8,500		担当課				
指標	相談支援事業所の相談件数		実績値	8,295		9,328	9,127	0,000	件	社会福				
1		7,920件		○ 達成		○ 達成	○ 達成		以上	祉課				
目標の	相談を受ける事業所については新規事業													
考え	方 100人の増加を見込んだ。	甘淮店		R3	R4	R5	D6	R7	出出	担当課				
成果		基準値 R1	目標値	603			R6 624	630		担ヨ誄				
指標 2	(実数)		実績値	630			720	000	人	社会福				
		587人			〇 達成		〇 達成		以上	祉課				
目標														
考えて	している。障がい者の高齢化(65歳到遺 方いる。そのため、令和3年度から毎年度				.人から介語	遺保険のサ	ーヒスへの	が付も毎年	丰俶堪					
J/L)	マ・シ。 このにの、 日和日午及の ラ母牛及	基準値	7 IUU C	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果		R1	目標値	2.10			2.60	2.68						
指標3	未数値)	2.02%	実績値	2.29		2.12	2.29		%	社会福祉課				
						× 未達成		± 450 000	以上					
目標	令和3年4月に法定雇用率が2.3%に変する。その上昇率に近い0.05%を毎年度の													
日候1	し、毎年度0.05%の上昇率とした。障か													
考え	方 に引き上げられることが令和5年1月に													
	せた数値目標とする。													
成果	基準値													
指標	障がい福祉サービス利用後の一般 R1 目標値 2 2 2 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1													
4	は、一般には、これの一般のは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に													
目標	- パス日数 3人 天順 1 3 7 6 2 4 4													
の	している。また、同計画でもハローワーク等の 方 和6年度以降の一般就労移行者を増やすため、					の移行を努め	りることとし	<i>、</i> ている。そ	のため	か、令				
ちん)	1 (実績評価)・相談支援事業所の周知が進				٥/١٥،									
	(次年度修正点)・相談支援事業所の人員配置	等に変更は	ないため	、次年度の										
	2 (実績評価)・児童の事業所が新規開設し						を上回った。							
R 3	(次年度修正点)・令和3年度の上昇が一時的				の修正はな	し。								
年	3 (実績評価)・障がい者雇用率が企業努力 (次年度修正点)・コロナ禍における、企業の				ため 勿任	度の修正け?	٦.							
度	4 (実績評価) ・2人が一般就労したが、そ							型コロナウィ	(ルス!	感染症				
	の影響で障がい者の一般就労									J., ., .,				
	(次年度修正点)・次年度の修正はなし。													
	1(実 績 評 価)・電話による相談件数が多く		-	E+□=₩ <i>+</i> %+₩+=	11 アハフ	△ %++□=\\-	+惊声****	り田畑ナニュ						
	(次年度修正点)・新型コロナウイルス感染症 2(実 績 評 価)・障害福祉サービス利用者数			が旧談が培別	している。	フ佞も相談	又抜事美別(の同利を行う	٥,					
R	(次年度修正点) ・ 今後も相談支援事業所等か			がい福祉サ	ービスの必	要な方へ支統	給決定を行う	ō.						
4 年	3 (実績評価)・令和3年に企業の合併等に	より、ハロ	ーワーク	7伊東に報告	する対象企	業が増えたる	ことにより、	障がい者履						
度	た。しかし、令和4年は本社					たため、障が	かい者雇用図	率が大きく洞	返りし	た。				
	(次年度修正点)・ハローワーク伊東等と連携 4 (実績評価)・障害者就労・生活支援セン													
	4(夫 槇 評 畑)・障害有処分・生活支援セン((次年度修正点)・引き続き、ハローワーク伊!			又液で打つ	100									
	1 (実績評価)・対面相談だけでなく、電話			ど 手段により	、相談件数	は目標値を	習えている。							
	(次年度修正点)・相談件数が以前より増えて	いるが、相	談支援事	業所及びそ	の相談員が	増えないたと	め、修正はな	まし。						
	 2 (実 績 評 価) ・令和5年度中に新規障害児	温昕子控声	世の四	シャオル	陪実旧短が	サービフク	印書が前々	まは トル 地力	nı.=					
	<、大限計画/『74345以中及中に利戍障舌児; 	週が又抜争	未がいけ	ははないのり、	焊合汽油仙	ラー し入の	마마(아마·따마	+反みり追り	ن 10/	0				
R	(次年度修正点)・今後も相談支援事業所等か	らの報告を	受け、障	管害福祉サー	ビスの必要	な方へ支給液	央定を行う。							
5														
年度	3(実績評価)・市内企業の多くが従事者数						寸金の支払対	対象ではない	1。そ	のた				
反	め、障がい者雇用には理解を (次年度修正点)・ハローワーク伊東等と連携					0								
	一次十尺形止点/・ハローノーノザ末寺に建協。		少心性性	ナシルビ木で	. 									
	4 (実績評価)・障害者就労・生活支援セン	ターや就労	継続支援	事業所の支	援により、	大幅に一般を	就労移行者な	が増えた。						
	(次年度修正点)・引き続き、ハローワーク伊	東等と連携	を図る。											

1(実績評価)・電話相談等の多様な相談手段により、前年を下回ったものの、相談件数は目標値を上回った。

(次年度修正点)・相談件数はコロナ渦以降減少傾向にある。また、相談支援事業所及びその相談員が増えないため、修正はなし。

2 (実 績 評 価) ・発達障害などの軽度の障害に対する理解が進み、放課後デイサービス等、障がい児の利用者が増加した。また、令和 6年度中に新規自立訓練事業所の開設もあり、利用者が前年度より増加した。

(次年度修正点)・今後も相談支援事業所等からの報告を受け、障害福祉サービスの必要な方へ支給決定を行う。

3(実 績 評 価)・市内企業の障がい者雇用率は増加傾向にあるが、目標値までは達成していない状況である。

(次年度修正点) ・令和8年度以降法定雇用率が引き上げられるため、より一層ハローワーク伊東等と連携を強化し、法定雇用率の確保を目指す。

4 (実 績 評 価) ・障害者就労・生活支援センターや就労継続支援事業所の支援により、前年より微減であるが、目標値を上回った。

(次年度修正点)・引き続き、ハローワーク伊東等と連携を図る。

R6年

回った。

					指標数	9)		9		9		9	9	※ 基	本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	主な内容(4桁=	リード)	達成数	6			5		8		7	0		・主な内容 達成状況
					達成率	66.	7%	5	5.6%	8	8.9%	7	7.8%	0.0%	(()	主风扒兀
					指標数	3	3		3		3		3	3		
	01	相談体制及び情報提供	共の充実	達成状況	達成数	3	3		2		3		3	0		
					達成率	100	.0%	6	6.7%	10	00.0%	10	00.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R	3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
			相談支援事業所に	R1	目標値		100		100		100		100	100	%	** ^ *=
	O.	101 相談支援の充実	おける専門職の割	100%	実績値		100		100		100		100		70	社会福祉課
			合	100%	評価	Oì	 達成	0	達成	0	達成	0	達成			加木
		タセ製会の広報 2 の相	広報いとう及び	R1	目標値		12		12		12		12	12		サ 合垣
	O,	102 各相談会の広報への掲	ホームページへの	120	実績値		12		12		12		12			社会福祉課
		4 X	掲載回数	120	評価	Oì	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	111.00
		障がい福祉サービスに	站:1000000000000000000000000000000000000	R1	目標値		80		70		65		60	55	人	社会福
	0,	103 ノバトの情報症状の元	新規障害福祉サービス利用者数	96 J	実績値		81		57		86		65			社芸価
実 ピス利用者数 86人 評価 ② 達成 ② 達成 ② 達成 ② 達成 ② 以上 私 20101 相談支援事業所の従事者については、全員が専門職である状況である。														11110本		
	B				であるり	犬況では	ある。									
	3	0102 毎月、広報いとうに村														
		0103 児童の事業所が新規関	3071-1		0	11.701.07		のE	標値を	達成	できた。	•				
		0101 令和4年度も相談支持				を行った	こ。									
	R	0102 補聴器及び身体、知的				ii (CD) -	アルナ	· +\\ -	七世名	-1 /-	(E) / (C) - 1		レブガ	C+8410010-	つたが	` _ +=
	4	O1O3 目標値を下回ったもの その結果、継続者を含														
		ビス利用者数の減が見						() /		CV	احادا		V ()	又でノネバスが手へ	יי ע כ	ш)
年		0101 令和5年度も相談支援					=									
		の101 日和3年度の16級文章	を学未のしていめてい	_見 力 9・、C	シブロロ火で	113 21	∟ ∘									
度	R	O102 補聴器及び身体、知的	り、精神障害の相談	会を掲載し	た。											
割			3. 1131171 2 - 2 1000		,											
01		O103 障害児福祉サービスの	D新規利用者が大幅	に増加した	ことによ	はる。										
佃	i															
		O1O1 令和6年度も相談支援	援事業所の計画相談	員がすべて	の相談を	を行った	き。									
	R	O102 補聴器及び身体、知的	り、精神障害の相談	会を掲載し	た。											
	6	0100 0100 0100		401 /=04	hO I "	#±#00		n ± + «	11100	\ I I	- = 10	<u> </u>	+	++00	_ +=	5/= +-
		0103 令和6年度の新規利用	用有の内訳は、身体	13人、知	的9人、#	有仲とこ	5人、	心直り	い児20	人と	て ない、	即牛	るト回	ったものの、	日得	旭を上

					指標数	1	1	1	1	1				
(02	2 障がい福祉サービス	の充実	達成状況	達成数	0	0	1	1	0				
					達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
	0	熱海伊東地区(圏域) 地域自立支援協議会に 201 おける障がい福祉サー	熱海伊東地区(圏 域)地域自立支援 協議会の専門部会	R1	目標値	7	7	(7)	(7)	(7)		社会福祉課		
	ビス事業所との協議及 における事例検討 実績値 3 0 6 び連携による問題解決 会の実施回数 6回													
	評 価 × 未達成 × 未達成 ○ 達成 ○ 達成 以上													
	R 3	まBBからポリア スのBBとしたり またはキュナケニ Wのポルモノもり 口様ではよってもり												
年度	R 4	B 0201 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催によって課題検討が多く行われた。今後、障がい福祉サービスの												
年度評価	R 0201 対面にて専門部会を行い、3つの専門部会において、事例検討会を行った。 5													
	R 6	R 0201 3つの専門部会において、事例検討会(グループワーク)を行った。												

												· · · · · · · · ·			
		- 障がい者(児)へのE	甲解の促進・		指標数	3	3	3	3	3					
(23		生所の人にため	達成状況	達成数	1	1	2	2	0					
					達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		。。』 事業所授産品等の展示	障がい者による授	R1	目標値	11	11	11	11	11		社会福			
	03	301 学来が技座の寺の展示 会・販売会の開催	産品の販売会の開	10回	実績値	1	8	13				社課			
		Z	催回数		0.	× 未達成	× 未達成	0 14111	〇 達成		以上	IIION			
		この 障がい者(児)と地域	中高生に対する体験授業等及び障害者ス	R1	目標値	2	2	2	2	2		社会福			
	03	302 厚かい省(児)と地域 の相互理解の促進	ポーツ大会の実施回	20	実績値	0	1	1	1			礼課			
			数			× 未達成		× 未達成			以上	120/1			
		障がい者(児)虐待防	 啓発活動(街頭啓	R1	目標値	2	2	2	2	2		社会福			
	03	303 止のための啓発活動の	発等)の実施回数	1 🗇	実績値	2	2	2	2			社課			
		充実				〇 達成			〇 達成		以上				
	R	0301 新型コロナウイルス原						開催となっ	た。						
	3	3 0302 新空コロナフィルス燃架延拡入防止のため、市和3年度の事業が中止となった。													
	0303 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。														
	0301 販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染 症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。														
年	 4	0302 障害者スポーツ大会のなった。新型コロナワ									未達	成と			
							/ 上地り用作	(608)							
度		0303 障害者週間及び障害者						\+ /- +							
反		0301 定期的な販売会以外に	_障害者就为施設寺	WPRW/c8	ひ、伊果	マリンタリ.	ソに(販売を	ぎを付った。							
評	R	0302 新型コロナウイルス原	感染防止のため、障	がい者スポ	ーツ大会	きを中止した	-0								
5 *	5														
		O3O3 障害者週間及び障害者	皆差別解消への啓発	としてポス	ター掲示	を行った。									
価															
		0301 定期的な販売会を市役	设所内にて行った。												
	R	0302 障がい者スポーツ大名	会開催前に新型コロ	ナウイルス	感染症だ	が事業所内で	で 蔓延してい	たことから	、全体での関	開催を中止し	ノ、各	事業所			
	6	にて開催した。開催した。 た効果的なスポーツス				地域との医	アンフィスク	つににめ、	ラ俊は地域の	り相互理解の	ク促進	に回り			
		に刈木凹るヘハーノ)	ハロッカルでは	کا با کی کی دو	0										
		0303 障害者週間及び障害者	š差別解消への啓発	としてポス	ター掲示	を行った。									

					II- IT W		_								
					指標数		2	2	2	2	2				
	О4	ト 障がい者雇用の推進		達成状況	達成数		2	2	2	1	0				
					達成率	10	00.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
			就労関係機関が参加	R1	目標値		2	2	2	2	2	_	405		
	O	401 パローワーク等の関係 機関との連携	する特別支援学校の就職相談会への参加	0.6	実績値		2	2	2	2			社会福祉課		
		機関との建榜	の数	20	評価	0	達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	江市木		
		熱海伊東地区(圏域)	D. DET							6		** ^ +=			
	O	402 地域自立支援協議会就	事例検討会の実施	CE	実績値		6	16	14	5			社会福 祉課		
		労支援部会の充実	回数	60	評価	0	達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上	江林		
	R 0401 就労促進協議会に2回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。														
	R 0401 がわたにというない。 0402 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート会議となった場合もあったが、就労支援部会にて、障がい者の就労問題を協														
_	-	議した。													
年	R	O4O1 東部特別支援学校伊豆	豆高原分校にて卒業	生の進路相	談会に参	多加	した。								
度	4	0402 就労部会及びそれに付	寸随する部会に参加	した。											
12		0401 東部特別支援学校伊亞	豆高原分校にて卒業	生の進路相	談会に参	多加	した。								
<u>=1</u>	R														
	5	O4O2 就労支援部会等で事例	列検討を行った。												
佃															
		O4O1 東部特別支援学校伊亞	豆高原分校にて3年	生の進路相	談会に参	多加	した。								
	R														
	6	O4O2 就労支援部会等で事例	列検討を行ったが、	目標値を下	回った。	31	き続き、	就労部会及	びそれに付	随する部会	こ参加し、対	曽加を	目指		
		す。													

担当課	社会福祉課			施策2-70	の全指標達成	戊率	
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 7	地域福祉の充実	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	支援を必要とする人が住み慣れた地域の中で支え 合い共に暮らすことができる	達成数	9	8	9	7	0
日担り女	地域の多くの人が地域福祉活動等へ参加すること で地域が活性化される	達成率	64.3%	57.1%	64.3%	50.0%	0.0%

成果指標(KPI) O 達成数 50.0% 0.0% 50.0% 0.0% 0.0% 基準値 R3 R4 **R5** R6 R7 単位 担当課 「地域内の助け合いなどの地域福 65.0 R2 64.0 64.0 64.0 65.0 % 指標 祉の充実」に満足している市民の 社会福 63.9 実績値 64.3 64.1 割合(市民満足度調査) 63.2% 补課 達成 × 評価〇 達成 × 未達成 〇 未達成 平成30年度実績63.4%、令和元年度実績59.0%で、令和元年度以前3年間の平均割合が61.53%。年度により評価に差があるため、安定した評価が得られるよう業務に取り組み、基準値から2%以上の上昇が達成できるよう65.0%以上 目標値 σ 考え方 とした。 基準値 R3 R4 R5 R7 単位 担当課 R6 成果 ボランティアセンターによるボラ 日標値 25 30 9 50 60 R1 件 指標 社会福 ンティア活動あっ旋件数 宇結値 10 8 9 18件 祉課 評 価 × 未達成 × 未達成 × 未達成 × 未達成 平成30年度実績34件、令和元年度実績18件と利用数が減少傾向にあることから、地域の実情と利用者の二 - ズ把握に 目標値 努め、ボランティア活動の利用増を目指していくため、毎年10件増の目標値設定とした。 \mathcal{O} 考え方 (実績評価)・目標値をO.3%上回り目標に達することができた。 (次年度修正・地域福祉に関連する各個別計画を推進していくことで、評価が安定するよう努めていく。 3年 2 (実績評価)・続くコロナ禍の影響により活動にも制限が見られ、件数を伸ばすことができなかった。 度 (次年度修正・行動自粛が久しく続き、活動に関する認知度の低下が懸念されることから、事業の周知に努めていく。 1(実 績 評 価)・コロナ禍で閉塞的な日常、不安を感じる日々が長く続き、多くのことが疎遠になってしまったことが、一人ひとりの 不安を生み「満足していない」数値に現れたと思われる。 (次年度修正・新型コロナウイルス感染症の影響で人と人との関わり合いが薄れ、相談や支援が行き届かなくなってきていることか R まずは地域福祉に関する広報活動を積極的に行い、関わり合いができる環境に戻れるよう努めていく 年 2(実績評価)・コロナ禍であったこともあり、積極的な周知活動等は控えていたため、利用数が伸びることはなかった。 度 (次年度修正・新型コロナウイルス感染症が収束してきたことを踏まえ、ボランティア活動に関する周知を積極的に行い、利用者の 増加を図る 1(実績評価)・地域福祉に関する取組が評価され、1年ぶりに実績値が64%台に回復し、目標値を0.1%ながら上回ることができ た。 (次年度修正・新たに策定された地域福祉計画を推進していくことで、目標値の達成に努めていく。 5 年 2(実績評価)・個人からの依頼は減ったまま回復せず、件数を伸ばすことができなかった 度 (次年度修正・引き続き事業所との情報交換や各種催しにおいてニーズ調査を行うなどの取組を検討していく。 1 (実績評価)・少子高齢化や核家族化の更なる進行に伴い、隣近所との付き合いが減り、人間関係の希薄化が進むなど、多くのこと が疎遠になってしまったことが、一人一人の不安を生み、「満足していない」数値に現れ、目標値を下回る結果となっ たと思われる。 (次年度修正・人と人との関わり合いが薄れ、相談や支援が行き届かなくなってきていることから、地域福祉に関する広報活動を積 6 極的に行い、関わり合いができる環境づくりに努めていく。 年 2(実績評価)・昨年度より件数は増加したが、個人からの依頼は減ったまま回復せず、件数を伸ばすことができなかった。 度 (次年度修正・引き続き、事業所との情報交換や各種催しにおいてニーズ調査を行うなどの取組を検討していく。

					指標数	12	12	12	12	12		◆的な取 • 主な内容				
ı,	2 :	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁)	コード)	達成数	8	8	8	7	0		主なれる主				
					達成率	66.7%	66.7%	66.7%	58.3%	0.0%						
		社会福祉関係団体が行	テスまは短が		指標数	1	1	1	1	1						
	01	活動の支援	リンピ球曲性	達成状況	達成数	0	0	1	0	0						
		心到仍又按			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%						
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
		子ども・高齢者・障が	交流イベント参加	R1	目標値	2,400	2,400	1,000	1,200	1,500	,	分分				
	0	101 い者の地域交流が図ら	交流1 ヘノト参加 者数	2,344人	実績値	0	0	1,000	1,000		^	社会福祉課				
		れるイベントの推進	日奴	2,3447	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	× 未達成		以上	江山木				
		R 0101 コロナ禍におけるイベント自粛が続いたため、交流イベントを開催することができなかった。 3														
١.	F	。,。, 令和4年度は台風接近	た トル 車業が中止	¢£#J ¬ □	十ウィル	フ成込庁か	ム国など	めるので毎日	- FNW1F4	が結いている	スため	21=				
1	₹I_	0101 続き安全面を考慮し														
F	R ₹ 4	継続するなど、全体的														
1.	2 4	増加を目指すものとし	して、令和6年度以	降の目標値	を修正す	する。										
1	Ψ		*** = = = = = = = = = = = = = = = = = =	N/1 > ±±=	T(-1)-T-0		*00/W \- \- -	-1 5 5 5	+ ++++++	7 - 1 +°-						
	' R		感染症の5類移行に	伴い、対値	が式での	リイベントカ	開催された	ことから目	標を達成 9	ることか (*)	さた。					
1	5															
	R	0101 令和6年度のイベン					昨年度と同	様の数値と	なり、目標	を達成する	ことか	できな				
	6	かった。引き続き、気	安全面に配慮しつつ	、段階的な	増加をE	目指す。										
ш																

		へ雑 . 陰がい短がす	半記におけて		指標数	1	1	1	1	1					
	O2	2 介護・障がい福祉事業 専門職不足の解消	未別にのける	達成状況	達成数	1	1	0	0	0					
		中口地へいたりがら			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		UIターン等により市内事	「はじめようITO	R2から募集	目標値	10	10	30	30	-		社会福			
	С		新生活応援事業」	3年間で30人	実績値	47	38	14	14			社芸領			
		対する公的支援の実施	申請者数	(移住者)	評価	○ 達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成		以上	江山木			
		R 0201 目標値を大きく上回る申請があり、市内事業所における専門職人材の確保に繋がった。 3													
í	F 4	R 0201 前年度に比べ申請者に	は減ったが、目標値	を超えるこ	ことができ	きた。									
I	度 ⁴ R 0201 支援メニューの変更により利用者が減った結果、目標値を達成することができなかった。 m 5														
	R 0201 支援メニューの変更により利用者が減った結果、目標値を達成することができなかった。引き続き、専門資格者の不足を把握する とともに、事業の広報活動を見直し、増加を目指す。														

												<u> </u>				
					指標数	3	3	3	3	3						
(23	3 福祉ボランティアの		達成状況	達成数	2	2	3	3	0						
					達成率	66.7%	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%						
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
		。 新規登録のための養成	手話奉仕員養成講	R1	目標値	15	15	15	15	15	人	社会福				
	03	301 講座の開催	子品学は貝食以語 座への受講者数	13人	実績値	15	12	17	17		1	社芸領				
		明年につかりに	上 100支崎日欽	, ,	評価		× 未達成	0 14111	〇 達成		以上	IIII				
		202 登録者へのスキルアッ	登録手話奉仕員基	R1	目標値	25	25	25	25	25	人	社会福				
	03	302 豆球自へのスキルアップ研修の開催	礎研修、点字、音	21人	実績値	11	25	25	32			社芸徳				
		2 mile copetie	訳講習会受講者数		0		〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	IIIIA				
	Total To															
	0303															
			DELLEPPOIL		評価	〇 達成		〇 達成	〇 達成		以上	祉課				
	0301 初めて受講する手話奉仕員養成講座(入門編)については、16人の受講希望があり、そのうち15人が受講し、目標値を達成ることができた															
		ることができた。 R 0302 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音訳講習会が中止となり、目標値を下回った。手話奉仕員養成基礎講座及び点字講習														
	3															
		Zie z V Clor Mark a Rate Bank o Acta Core														
		0303 社会福祉協議会においてボランティアビューロー(ボランティアグルーブ連絡会)を開催し、グループでの間の交流、情報交換を 図ることができた。														
		0301 手話奉仕員養成講座 員養成講座の開催時期						加者が目標	値に達しな	かった。今	後も手	話奉仕				
_	R	0302 音訳講習会を再開した	Ē.													
年	4															
		0303 コロナ禍においても	青報交換に努めるべ	く、感染拡	大防止に	2努めながら	情報交換会	を実施した	0							
度		0004 = 1 1 1 1 1 =	901	N :	- / > 1 - 1 - 1											
		0301 テレビドラマ等の影響	警もあり、高校生も	養成講座に	参加した											
= 177	D	0302 音訳サークルから音	1日本羽今の中止の中	山がちった	がよう	⊋≡≢33.4≥hn.≯	・ がタノ ロ	煙を造むし	<i>t</i> =							
評	5	0302 自訳サーグルから自動	八神白云の中正の中	ш <i>и.</i> Ø) Э /2	-い、川土	一两白多川石	リンタく、日	惊で達成し	/ L o							
		0303 社会福祉協議会におい	ハてボランティアピ	`¬—П— (゚ボランラ	ティアグルー	-プ連絡会)	を盟催1,	グループで	の間の交流	信却	交換を				
価		図ることができた。		\		, , , , , ,	> Æ INU ZZ /	CHOILE		->1-0-> > ////	1151					
		0301 手話奉仕員養成講座	は、多数の参加があ	り、目標値	を上回っ	た。										
	R	0302 音訳講習会を再開した	こ。点字講習会は前	年初級講座	受講生だ	バサークル^	加入したた	め、参加者	が増加した	0						
	6						0.1.1									
		0303 社会福祉協議会におい		ピューロー	- (ボラン	ノティアグル	ノーブ連絡会)を開催し	、グループ	での間の交	流、情	爾交換				
		を図ることができた。														

		民生委員児童委員に	トス段数行動		指標数	2	2	2	2	2						
(Э4	マラボー 要支援者への支援活動		達成状況	達成数	2	2	2	2	0						
		女又版目への又版心!	Ĕ IJ		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%						
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
		404 地域の避難行動要支援	実情把握のための	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福				
	O ₂	401 岩の実情把握	名簿の配付状況	100%	実績値	100	100	100	100		/0	社芸福				
		- CONTRIBUTE	274°02013.17(%)		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			III				
			名簿登録者のうち、必	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福				
	O	402 必要な支援の実施	要な対象者への個別計画票の作成状況	100%	実績値	100	100	100	100		/	社課				
		0401 各地区定例会に出席	し、名簿に関する取	扱い方法等	について	「説明を行っ	たのち、委	員への配付	を行った。							
		R 3 0402 新規登録者について個別計画票の作成を行った。引き続き個別計画票に係る情報の充足を図りつつ、次のステップである個別避難														
	3 0402 新規登録者について個別計画票の作成を行った。引き続き個別計画票に係る情報の充足を図りつつ、次のステップである個別避難計画の作成に向けた準備を進めていく。															
		0401 民生委員児童委員に対	対し避難行動要支援	者名簿を配	付したこ	とで、地域	姓民の実態	把握や見守	り活動に活	用することだ	ができ	きた。				
玍	R															
_	4	0402 名簿情報の更新を行い	ハ、避難支援体制の	整備に向け	て、対象	含者の情報収	又集に努めた	-0								
度																
		0401 民生委員児童委員に対	対し避難行動要支援	者名簿を配	付したこ	ことで、地域	域住民の実態	把握や見守	り活動に活	用することが	かでき	きた。				
評	5 5	0400 0 to the total of the tota	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	***************************************		2 #	生にかみた	,								
侕	၁	0402 名簿情報の更新を行	ハ、避難文援体制の	整備に回り	C, XI	る石の情報が	く集に劣めた	0								
, 311		0401 民生委員児童委員に	対し避難行動要支援	者名簿を配	付したで	とで、地域	成住民の実態	把握や見守	り活動に活	用すること	ができ	た。				
	R		30~~~.320		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		.,,,,,,,,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,						
	6	0402 名簿情報の更新を行い	ハ、避難支援体制の	整備に向け	て、対象	骨の情報収	集に努めた	-0								

		生活	困窮者等に対する	る相談支援の		指標数	5			5		5		5	5		
	05	5 元 元 1		21日収入1及り	達成状況	達成数	3			3		2		2	0		
		ノじヲ	₹			達成率	60,0	0%	60	O.O%	40	O.O%	4	0.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R	3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
				D.V.+ 10 o. T.I.+*	R1国目安値	目標値		11		11		11		11	11	114	11 ^1=
	0	501 自	立相談支援	月当たりの平均新	人口10万人	実績値		21		14		12		11		件	社会福
				規相談者件数	当たり16件	評価	O 這	感	0	達成	0	達成	0	達成		以上	祉課
				家計再生プラン作成	H30~R2	日標値		34.0		34.0		34.0		34.0	34.0		
	0	502家	計改善支援	件数/自立相談支援		実績値		6.0		25.0		16.7		7.7		%	社会福
	J .	002 3.		プラン策定件数	32.79%	評価	× 未		× =	未達成	×	未達成	×	未達成		以上	祉課
	H				R1国目安値	01 100	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	4	/ /	4		4	^	4	4	W.T.	
		502 A	居確保支援	住居確保給付金支		実績値		24		4		0			4	件	社会福
	10.	303 E	心证体义版	給件数	人口10万人 当たり6件	評価	○ ½		$\overline{}$	達成	\ <u>\</u>	未達成	\/			以上	祉課
	H						U 1		0		^		^		0	以上	
		504	0+ 4- \7 + + =		R2	目標値		2		2		2		2	2	部屋	社会福
	O:	504 —	時生活支援	仮住居の確保数	2部屋	実績値	- 1	2		2		2		2		1	祉課
	L						O 這		0	達成	0	達成	0	達成		以上	
	H27~R1 目標値 5 5 4 4 4 4 4 4 4 4														サーケー		
	OSOS 就为準備支援事業 文援有数 年平均 美額恒 O 1 1 3																
	3.2人 評価 × 未達成 × 未達成 × 未達成 × 未達成 × 未達成 以上 ^{11.6末}														111.0*		
		0501	新型コロナウイルス原	感染症の影響による	離職等の増	動で、村]談件数	りが目	標値	より大	幅に	上回っ	た。				
		0502	新型コロナウイルス原	感染症の影響による	離職等の増	動で、高	(間で	又入減	によ	る相談	が多	く、家	計の	改善支	援を要する	対象を	の占め
	0502 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、離職や収入滅による相談が多く、家計の改善支援を要する対象者の占める割合が目標値を下回った。																
	R 0503 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、支給件数が目標値より大幅に上回った。																
	3																
	3 0504 特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内11市と共同で単年度で契約し、仮住居を確保することができた。																
		0505	支援対象者の早期支払	爰を目指したが、支	援対象者σ	か掘り起る	こしには	はつな	がら	らなかっ	た。						
		0501	件数は前年度の2/3	に減少したが、依然	然としてコ	ロナ禍の	影響を	受け、	日相	標値を」	Lo.	った。					
		0502	コロナ禍の長期化の影	影響を受けた離職や	収入減によ	る支援対	対象者だ	が多く	、家	常計改善	を要	する対	象者	の占め	る割合が低	かった	ため目
			標値を下回った。引き	き続き、支援対象者	への対応の	つ中で家記	†改善だ	が必要	とさ	られるケ	ース	につい	ては	、家計	再生プラン	の作成	
			的に勧めていく。														
	R	0503	件数は前年度の1/6	にまで減少したが、	年間を通	して支給	決定し	ており	り、1	今後も-	一定	数の申請	青 • :	支給決定	≧が予想され	いる。	
	4																
		0504	前年度に引き続き、特		が運営する	5一時生活	5支援 引	業に	県内	111市	iと共	同で単	年度	で契約	し、仮住居	を安定	≧的に確
年	╡		保することができた。														
ľ		0505	支援対象者となる稼働														
			えられるため、改めて	て、支援対象者とな	:り得るケー	-スに対し	っては積	責極的	に事	業利用	を仮	は等、	支援	対象者	の掘り起こ	しを図	図ってい
	\vdash	0504	<u> </u>	キャンサルト ナポーナ	かししてー	+÷@∠	、見く組Rナ	- 1771-		1+あ/士 左	LE	1 . +-					
烓	F	0501	件数は前年度に引き	元さ減少したか、依	然として	」ロナ禍())影響を	と受り	`	は帰他を	上巴	Jつ <i>に</i> 。					
حرا	1	0500		2 +7 +8 /2 / 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	**	2 + 1 /2 + 7 /	 . 4							1 			1 74 44 48
		0502	収入減による支援対象								2	一つた	. 5	さ続さ	、XJIMOV中	で家言	T以香刀
		0500	必要とされるケースは									30/			*#T#I + =		2074881
≡ī	R 5	0503	相談件数も2件に留る										をし	(おり	、離職者の	減少な	が影響し
0			たと思われる。また、										/- «	- ±11//5			コムトノーエホ
		0504	前年度に引き続き、特別を表		が連宮する)一時生活	5文援制	美に	시킜.	J12m	L H	同で単	牛尽	で契約	し、仮任店	を安川	EBJIC 0種
		0505	保することができた。		タレナフナ	×1	-=	- TII (TI	1 + 4	h.4	_	71	-+-	++107+++	G # 1-# 10	タフト	,-
/#	-	0505	自立相談支援事業の利益								に。	りさ続	₫,	文援刈	家者となり	侍るク	アースに
10	_	0504	対しては積極的に事業								++	¢+=	<i>l</i> + 1.	3 × - 1 - 1	+ +		
		0501	有効求人倍率はコロス	が個別と回程度に回	限し、則年	F及に515	かれて	日設件	- 致(7)	が減少し	ハこり	`、日標	但く	一回数と	なつに。		
		0500		2 +7 +8 /2 / 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	**	2 + 4 / 2 + 7 /	 . 4							1 		=	1 74 44 48
		0502	収入減による支援対象								をト	一つた	。5	さ続き	、対応の中	で家言	†改善か
			必要とされるケースに														
	R	0503	有効求人倍率がコロ				ンが相談	炎件数	に影	/響した	と思	われる	. 73	お、今	年度1件の	受給者	は前回
	6	0 = 0 :	給付金を利用し再離即					- 11/4									- /
		0504	前年度に引き続き、特別は		が連営する	5一時生活	5支援	業に	県内	112市	と共	同で単	年度	で契約	し、仮住居	を安定	色的に確
		-	保することができた。														
		0505	自立相談支援事業の利益								た。	引き続	き、	支援対	象者となり	得るケ	アースに
			対しては積極的に事業	業利用を促す等、支	.援对象者の)掘り起る	_しを図	として	111	. 0							

担当課	市民課・社会福祉課・教育指導課			施策2-80	の全指標達成	戊 率	
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 8	6分野 8 多様性のある社会の実現		10	10	10	10	10
日均す次	市民がお互いの個性と多様性を認め合い、いきい	達成数	5	4	6	5	0
日担分安	きと暮らすことができる	達成率	50.0%	40.0%	60.0%	50.0%	0.0%

									1				
			指標数	1	1	1	1	1					
1 成	果指標(KPI)		達成数	0	0	0	0	0					
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	「お互いの個性と多様性を認め合	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果		R2	目標値	60.2	61.4	62.6	63.8	65.0	0/				
指標	う社会の実現」に満足している市	F0.00/	実績値	57.0	54.6	62.0	60.8		%	市民課			
	民の割合(市民満足度調査)	59.2%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上				
日標値	お互いの個性と多様性を認め合う社会の	実現に満足	足してい	る市民の割	割合は、介	和2年度か	らの調査エ	目であり	、各	王度			
	1%程度の上昇を見込み、65.0%とし					102 123	J - 2 0/3 <u>—</u> 2		` _	1/2			
考え方		C 0											
	(実 績 譚 価)・ 今和3年度実施の市民満足度調査結果は実績値570%で、日標値及び其準値よりも低い結果となり、「お互いの個性												
R 3	レタ接触を認めたら社会の中国・に港ロープルス主星の割合を増めまったができなか。た												
年	と多様性を認めあう社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができなかった。 (次年度修正点) ・各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、確実に実行する。												
度	《《个人》 6月到00至个时况就相区0	ひいて日廷担		で個日光日		₹1J 9 る。							
	(実績評価)・令和4年度実施の市民満足	度調本紅甲	计宝结值	516%T	日	其淮信 トハ:	たぼい 盆田 と	-たり 「‡	<u>≎Б</u> []	の個性			
R	と多様性を認め合う社会の	.>40.0		,				_av, 10	3 <u>न</u> 01				
4 年	(次年度修正点)・各分野の基本的な取組にお		_					ハニついてに	+淬生	に宝行			
年度	する。	ひいて日廷担		で個日光日	し、回奴で	日圧担係し	J (1 1 2 0 0 0		地大	IC X IJ			
		中部木红田	计宝结点	62.09/75E	1 世际土 法 村	ケスちったが	「おをしい	の個性と名	全 十ち	図め合			
R	く 美 槇 評 価) ・ 节札3年及美地の作品画場 う社会の実現 に満足してい				- 1.3.1	(CO)	、100日010	グ回注こ多位	家主で				
5 年	(次年度修正点)・引き続き各分野の基本的な					同数を答り	用作権として	こいるものに	1 1	プロサエタ			
度	(次年度修正点) ・ 引き続き合力野の基本的で 実に実行する。	と月又が日10000	に官珪作	は日は同る	旭日兄旦し	、四数を官立	主拍标として	いるものに		ては地			
	(実績評価)・令和6年度実施の市民満足	中部木红田	计宝结点	60 00/7	口描信及	7.1. 新年度 F.1/	つた低い結果	3とたり 「	*F	いの個			
R	(美 韻 評 価) ・ TANO 4 及美地の印氏病が 性と多様性を認め合う社会の							こしなり、「	७७म।				
6 年								こいマナのに	1 1	プロサエカ			
度	(次年度修正点)・引き続き各分野の基本的な 実に実行する。	このここは大は大	に官理指	宗日宗旭を	旭且兄但し	、凹致で官は	王伯宗CU(いっていい		しる唯			
	大に大门する。												

						指標数	9	9	9	9	9		本的な取 ・主な内容
2	2 1	基本的な取	組(2桁コード)	・主な内容(4桁二	コード)	達成数	5	4	6	5	0		・主な内容 達成状況
						達成率	55.6%	44.4%	66.7%	55.6%	0.0%		
						指標数	1	1	1	1	1		
	01	人権を	E尊重する社会(の推進	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		Ì	を 内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		1 +4==	## 1 +# 1 − 88	改みばむの中共日	R2	目標値	8	10	11	11	11	П	
	0	1 () 1	教室等、人権に関 啓発活動の充実	啓発活動の実施回 数	6 0	実績値	10	11	11	11			市民課
		9 01		2 X		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上	
	R			青報発信、啓発を行								発を行	い、人
	3	権	尊重意識の高揚を図	図った。令和3年度	において目	標値を達	産成したため	、令和4年	度以降の目	標値を引き」	とげる。		
	R	0101 点	報紙等を利用した情	青報発信を行うとと	もに、人権	擁護委員	の協力を得	て幼稚園・	小学校での	人権教室、八	小学生の人材	をポス	ター・
年		花花	パネル展及び街頭語	啓発活動等を実施し	、人権意識	の醸成を	図った。令	和4年度に	おいて目標	値を達成した	こため、令和	05年	度以降
厚	Ę		目標値を引き上げる										
透影低	R			継続的な情報発信を					幼稚園・小!	学校での人材	霍教室、小 等	学生の	人権ポ
偛	5 5	ノ	ター・化パネル展/	及び街頭啓発活動等	を実施し、	人権意識	はの 醸成を 凶	った。					
	R			継続的な情報発信を					幼稚園・小!	学校での人材	霍教室、小 穹	学生の	人権ポ
	6	ス	ター・花パネル展別	及び街頭啓発活動等	を実施し、	人権意識	の醸成を図]った。					

					指標数	1	1	1	1	1				
(02	2 男女共同参画社会の	推進	達成状況	達成数	0	0	0	0	0				
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		伊東市男女共同参画「あ		R2	目標値	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	%			
0201 970 103 103 103 103 103 103 103 103 103 10									/0	市民課				
実														
	R 0201 令和3年3月改定の第3次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課ではホームページ等による情報発信のほか、新たに広報紙を利用した継続的な啓発を開始したが、目標値未達成であった。令和4年度においても一層の情報発信と継続的な啓発を行う。													
年度	R 4	O2O1 第3次プランに基づ のほか、広報紙によ 発を行う。												
度評価	R 0201 第3次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課では街頭啓発活動や講演会の実施、ホームページ等による情報発信													
	R 6	O2O1 第3次プランに基づ のほか、広報紙によ 強化を図る。												

						指標数	1	1	1	1	1		
-	OG	3 配偶	胃者等暴力防止対象	策の推進	達成状況	達成数	0	0	1	1	0		
						達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
) (0± 1 0 ± 1 0 = 5.7).	啓発活動(街頭啓 発・関係機関への	R1	目標値	3	3	3	3	3		+1 ^+=
	03		V防止のための啓発 動の充実	周知・ポスター等の掲出等)の実施	10	実績値	2	2	3	3			社会福 社課
回数 評 価 × 未達成 × 未達成 ○ 達成 ○ 達成 以上													
	R 0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会は書面開催とした。厚生労働省「支援情報 検索サイト」に相談窓口の情報を掲載した。												
年	R 4		前年度に引き続き、 イト」への相談窓口情	「伊東市家庭内暴力 青報の掲載に留まっ					中での啓発 な啓発活動			爰情報	検索サ
度評価	R 0301 「伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会」(書面開催)の中での啓発及び厚生労働省「支援情報検索サイト」への相談窓口情報の掲載を実施した。また、市役所1階女子トイレに内閣府男女共同参画局「DV相談ナビ#8008」のカードを利用者の目に届くところに掲示した。												
	届くところに掲示した。 ROSO1 11月12日から25日までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、市内ショッピングセンターにおいて高齢者福祉部門、子育て支援部門と協調して、啓発グッズの配布活動を行った。また、厚生労働省「支援情報検索サイト」へ相談窓口情報を掲載した。さらに、内閣府男女共同参画局「DV相談ナビ#8008」のカードを市役所1階女子トイレ内の利用者の目に届くところに掲示した。												

					指標数	1	1	1	1	1	1			
(Э4	心ゆたかな子どもの剤		達成状況	達成数	1	0	0	0	0	1			
					達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		教育活動全体を通じた	「友だちのことを	R2	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%			
	O	401 計画的、組織的な人権	思いやり行動することができる」児	91.0%	実績値	93.1	92.8	93.7	92.4		/0	教育指導課		
		教育の推進	童生徒の割合	91.0%	評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	3011		
	R 0401 道徳の教科化に伴う授業改善、各教科や行事・活動の中で人権意識や人権感覚を高める取組を推進してきたことにより、小・中ともに目標値を上回ることができた。													
年度	R 4	R 0401 各校は、道徳の授業だけでなく、日常生活の中でも他を思いやる気持ちが育まれるように努めてきたが、目標値をわずかに下回った。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う教育活動の制限が緩和されるため、児童生徒間のかかわりが増えているような思いない。												
及評価	R 0401 目標値をわずかに下回った。各校では、道徳の授業だけでなく、日常生活の中で他者のよさを見つける活動を今後も継続して取り 組み、思いやりの気持ちが育まれるようにする。													
	R 0401 目標値と昨年度の数値を下回った。しかし依然として90%を超える高い数値を継続しているので、引き続き人の気持ちを考えながら行動できる子どもを育てていく手立てを継続していく。													

			- I		指標数	3	3	3	3	3			
(25	- 障がい者(児)へのi	理解の促進・	達成状況	達成数	1	1	2	2	0			
	-) 啓発		X2/24/200	達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%			
		 主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		+ W-C45 + D M - D -	障がい者による授	R1	目標値	11	11	11	11	11		+1 ^ +=	
	05	501 事業所授産品等の展示 会・販売会の開催	産品の販売会の開	10回	実績値	1	8	13	11			社会福祉課	
		会・級がは会り角度	催回数	TOU	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	加林	
		 ₌₀₀ 障がい者(児)と地域	中高生に対する体験授	R1	目標値	2	2	2	2	2		社会福	
	O.	502 厚がい自く先がと地域 の相互理解の促進	業等及び障害者スポー	20	実績値	0	1	1	1			社芸領	
アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											III.UX		
障がい者(児) 虐待防 PR升(街頭路 R1 目標値 2 2 2 2 2 回 社会											社会福		
	0503 比のための各発活動の 発等)の実施回数 1回 実績値 2 2 2 2 4 2 4												
	0501 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、1回のみの開催となった。												
	P 0502 新刑コロナウイルフ成込庁拡大防止のため、全和2年度の事業が由止となった												
	R 0502 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度の事業が中止となった。												
	3 O5O3 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。												
		0503 水太夕一掲水と障害1	3週間で泊用した台	元心勁で1、	ا کارده								
		O5O1 販売会を開催予定し <i>1</i>	きが 新型コロナウ	イルス感対	11年の影響	望を受け出け	したことに	より、李逵	成となった	新型コロ-	ナウィ	ルフ感	
		染症の影響が緩和され						O O NE	× C/G //C0	*/III -	, , ,	707\L	
	R	0502 障害者スポーツ大会の						の影響を受	け中止したる	ことにより、	未達	成と	
年	4	なった。新型コロナワ											
		0503 障害者週間及び障害	š差別解消への啓発	としてポス	ター掲示	でを行った。							
度													
区		0501 定期的な販売会以外に	に障害者就労施設等	のPRのたと	め、伊東	マリンタウン	ンにて販売会	会を行った。					
		0=00 *5##= = 1 + 4# = 5	*************	· <i>L</i> % , + × =		S == -1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1							
評	R 5	0502 新型コロナウイルス原	感染防止のため、障	かい者スポ	マツ大会	きを中止した	-0						
	၁	0503 障害者週間及び障害者	长羊叫奶光人人改成	L1 7#7	, b, to =	ニケにった							
侕		0503 障舌右週间及0"障舌1	自左加胜消入仍合共	こしてハス	、ター拘り	いを打りた。							
ш		0501 定期的な販売会を市行	公所内にて行った										
		ביין אַ אַנייניונאָאָאיניונאָאָאיניונאָאָאיניונאָא	XIVIT'SIC CIJ J/Co										
		0502 障がい者スポーツ大き	会開催前に新型コロ	ナウイルス	感染症だ	が事業所内で	蔓延してい	たことから、	全体での	開催を中止	し、各	事業所	
	R	にく開催した。開催に	に当たり、景品代の	助成をした	こものの、	地域との関	わりはなか	ったため、	今後は地域の	の相互理解の	の促進	に向け	
	6	た効果的なスポーツス	大会の開催方法を検	討していく	. 0								
		 0503 障害者週間及び障害者	女子 回 昭 治 へ 小 政 登	としてポフ	クーセラ	た行った							
		0000 降古日週间次0 降古1	3年川肝内、10万台共	CUCMA	ノ一個ル	مار دای							

					指標数	2	2	2	2	2		
(06	障がい者雇用の推進		達成状況	達成数	2	2	2	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			就労関係機関が参加	R1	目標値	2	2	2	2	2		サム垣
	06	601 ハローワーク等の関係 機関との連携	する特別支援学校の就職相談会への参加	20	実績値	2	2	2	2			社会福祉課
		成民との住房	回数	20	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	江本
熱海伊東地区(圏域) 就労問題に関する R1 目標値 6 6 6 6 6											サム症	
O6O2 地域自立文援協議会就 事例模訂会の実施 6 5 16 14 5												社会福祉課
カマ援部会の元美 回数 ・・ 評 価 〇 達成 〇 達成 〇 達成 × 未達成 以上											加林	
0601 就労促進協議会に2回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。												
R												
	3	0602 新型コロナウイルス原	感染防止のため、リ	モート会議	となった	に場合もあっ	たが、就労	支援部会に	て、障がいる	者の就労問題	夏を協	議し
		た。										
		0601 東部特別支援学校伊豆	豆高原分校にて卒業	生の進路相	談会に参	家加した。						
年	R		10x+									
	4	0602 就労部会及びそれに作	可随する部会に参加	した。								
度		0601 東部特別支援学校伊豆	うさほとはにてな業	ナか性吸tc	15火会にも	≥tn1 た						
====	Ь	UOUI東部特別文族学校伊克	は高原力仪に(卒業	生の進始性	一般云に多	を別し <i>しに</i> 。						
評	5	0602 就労支援部会等で事例	別検討を行った									
価		0002 州万文版即云寺で事に	がたらっていった。									
ш	0601 東部特別支援学校伊豆高原分校にて3年生の進路相談会に参加した。											
	R					7.55 0 700						
	6 0602 就労支援部会等で事例検討を行ったが、目標値を下回った。引き続き、就労部会及びそれに付随する部会に参加し、増加を目指											
		す。										

担当課	保険年金課、健康推進課			施策2-90	の全指標達成	戊率	
政策目標 2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 9	保険・年金制度の運営	指標数	15	15	15	15	15
口比才次	制度加入者が制度の理解を深め、生涯にわたり安	達成数	9	9	9	10	0
目指す姿	心して保険・年金サービスを享受できる	達成率	60.0%	60.0%	60.0%	66.7%	0.0%

			指標数	2	2	2	2	2	1				
1 .	成果指標(KPI)		達成数	2	2	2	2	0					
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					
成月		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
指標	■ 門反注所の嵌入する区のにののA	R1	目標値	27	28	29	30	31		保険年			
1	* 報による周知	260	実績値	29	30	35	34			金課			
			評価	-	_	○ 達成 ##□##	○ 達成		以上				
目標		氏牛金制	受 問 知 に	. 関 9 る 山 ギ	報 就 記 事 掲	朝 回 致							
考え													
	公平な負担に対する意識向上の取	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成別指標		R1	目標値	54	54	54	54	54		保険年			
2		54回	実績値	54	54		54			金課			
			評価		〇 達成	○ 達成	○ 達成		以上	212 0/14			
目標)	• 国民年	金受給に	関する相談	会開催回数	又						
考え													
57	1(実績評価)・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標が達成でき												
	た。												
R	(次年度修正点) ・関係機関との更なる連携を深め、迅速な情報収集に努める必要がある。												
3													
年	2 (実績評価)・公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標が達成できた。												
度													
	(次年度修正点)・納付相談会については、今 よう、職員のスキルアップに			保するとと	もに、年金	相談会につ	ハては、遺派	弱無き案内 を	を可能	とする			
	1(実績評価)・市民の理解を深めることを			は新制度に	ついても適	正回数の周代	知を実施した	きため. 日料	亜を達	成でき			
	た。		., «	100/10/10/10/10		TEX (7)(9)	No C / 100 O / 1	_/C0J(ж С. Е	134 CC			
R	(次年度修正点)・関係機関との更なる連携を	深め、迅速	を情報収	集に努める	必要がある	0							
4													
年	2(実 績 評 価)・公平な賦課、納付、給付を	目的として	、適正回	数の相談会	等を実施し	たため、目標	標を達成でき	きた。					
度		火 七 火 亜 七	- C-146 +- 7#	vn ナ フ ト ト	+	+D=W^!C~!	いては 1919	2年七安ホナ	 1 46	レナフ			
	(次年度修正点)・納付相談会については、今 よう、職員のスキルアップに			ほりること	さに、午玉	相談芸にノ	ハくは、退場	雨無さ条内を	きり形	C98			
	1(実績評価)・市民の理解を深めることを			は新制度に	ついても適	正回数の周先	知を実施した	- ため、日本	票を達	成でき			
	た。		7										
R	(次年度修正点)・関係機関との更なる連携を	深め、迅速	を情報収	集に努める	必要がある	0							
5													
年度	2 (実 績 評 価) ・公平な賦課、納付、給付を	目的として	、適止回	数の相談会	等を実施し	たため、目	標を達成で	きた。					
152	 (次年度修正点)・納付相談会については、今	後去 必要な	「同物を疎	タママント	士に 年全	担談合につい	ハブけ 浩	呈無き安内を	た可能	とする			
				はなること	. OIC, +w	他或女にノ	ハては、思』	明無の未内で	ᅺᆔᄠ	C960			
				は新制度に	ついても適	正回数の周	知を実施した	こため、目標	票を達	成でき			
	1(実 績 評 価)・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。												
R	(次年度修正点)・関係機関との更なる連携を	深め、迅速	を情報収	集に努める	必要がある	0							
6			- 14	18t o 105t o	// / 	+++	H=+++						
年度	2 (実績評価)・公平な賦課、納付、給付を	目的として	、適止回	数の相談会	寺を実施し	にため、目	崇を達成で	さた。					
反	 (次年度修正点)・納付相談会については、今	後も必要な	で同数を疎	2. (4.ストト	まに 年全	相談会につい	ハアは 浩将	=無き安内を	を可能	とする			
	(次年度修正点)・納い柏談云については、ラ よう、職員のスキルアップに			1本9のCC	. いに、 4 並	で受力に力	いては、退制	当者の米別で	그비만	C90			
	0.01 4995000010000000000000000000000000000000	- 5-5- 5-6-5	2.000										

				指標数	13	13	13	13	13		本的な取
2	2 基本的な取組(2桁コード)・主な	な内容(4桁コー	-ド)	達成数	7	7	7	8	0		・主な内容 達成状況
				達成率	53.8%	53.8%	53.8%	61.5%	0.0%		
				指標数	1	1	1	1	1		
	O1 情報提供の充実	達	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	窓口配架、広報紙、ホームページの活用、被保険		R1	目標値	27	28	29	30	31		
	0101 者証や保険料(税)通知 広書へのパンフレット同封	260	実績値	36	37	42	41			保険年 金課	
	による配布		200	評価	○ 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	R 0101 市民の理解を深めることを 3	目的として、改	正又は新	制度につ	いても適正	回数の周知	を実施した	ため、目標が	が達成できた	Ē.	
白田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	R 0101 市民の理解を深めることを 4	目的として、改	正又は新	制度につ	いても適正	回数の周知	を実施した	ため、目標で	を達成できた	Ē.	
記证	度 [▼] 〒 R 0101 市民の理解を深めることを <mark>〒 5</mark>	目的として、改	正又は新	制度につ	いても適正	回数の周知	を実施した	ため、目標で	を達成できた	Ē.	
	R 0101 市民の理解を深めることを 6	目的として、改	正又は新	制度につ	いても適正	回数の周知	を実施した	ため、目標で	を達成できた	Ē.	

					指標数		4		4		4		4	4	1	
()2	1 相談業務の充実		達成状況	達成数		3		3		4		4	0		
	ےر	. 伯威来物以几天		(年)34八///	達成率	7	<u> </u>	-	75.0%	10	00.0%	10	00.0%	0.0%		
		 主な内容	管理指標	基準値	上 八 十	- 1	R3	'	R4	- 1	R5	- 1	R6	R7	半位	担当課
		土は内台	日生扫标	至学但 R1	目標値		3		3		<u> </u>		110	117	半四	担当味
		201 関係機関との連携※9	未納者対策用所得情	IN I	実績値		1		1							保険年
	O ₂	201 関係機関との建携が9	報提供回数※9	30	評価	\	· ·								以上	金課
				R1	日標値	X	<u>未達成</u> 27	X	未達成		27		27	27	以上	
		202 説明会・研修会への参	★ ₩	ΠI					27 27		27		27	21		保険年
	O ₂	202 加	参加回数	270	実績値		34	_							15.1.1	金課
				5.4		0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
	_	200 mg ======	=0 + += += 0 **	R1	目標値		4		4		4		4	4		保険年
	O ₂	203 窓口・電話対応	課内研修回数	40	実績値		4	_	4		4		4			金課
						0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
				R1	目標値		54		54		54		54	54		保険年
	02	204 相談会の実施	開催回数	540	実績値		54		54		60		54			金課
										達成	0	達成		以上	37.07	
			所得情報提8回数	R1	目標値						2		2	2		保険年
	02	205 関係機関との連携 ※9	※9	30	実績値						2		2			金課
		0201 新型コロナウイルス原		_	評価					0	達成	0	達成なかった		以上	37.0%
	O202 リモートや書面開催により、従来以上の参加回数が確保されたため、目標が達成できた。 O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。 O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標が達成できた。 O201 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで、未納者の情報提供をする機会がなくなったことから、目標未															
	R	達成となった。今後も 0202 リモートや書面開催に 0203 制度に対する理解の配	らマイナンバーによ こより、参加回数が	る連携を行 確保された	うため、 ため、E	管理 目標を	理指標を を達成で	見i できi	直し、管 た。	理指	i標O2C)5を	新設した	<u>.</u>		
年	4	た。 O2O4 公平な賦課、納付、約	合付を目的として、	適正回数の)相談会等	je j	実施した	たと	め、目標	を達	成でき	た。				
		0205 マイナンバーを活用し	ンた連携による情報	提供が可能	どなった	EC(とで情報	提	共回数等	が洞	れったた	め、	管理指標	票を新設した	<u>.</u>	
度		0202 リモートや書面開催に	こより、参加回数が	確保された	ため、目	標	を達成で	き	た。							
評	R	O203 制度に対する理解の た。	穣成を目的として、	年度当初に	おいて年	長	者から配	置	職員にO	JT&	肝修を実	施し	たこと	もあり、目	標を達	成でき
	5	0204 公平な賦課、納付、約	合付を目的として、	適正回数の)相談会等	手を	実施した	たと	め、目標	を達	成でき	た。				
価		0205 年金機構への所得情報								を達	成でき	た。				
		0202 リモートや書面開催に	こより、参加回数が	確保された	ため、目	標	を達成で	·き	た。							
	R	O2O3 制度に対する理解の た。										_	たこと	もあり、目	標を達	成でき
	6	0204 公平な賦課、納付、約	合付を目的として、	適正回数の)相談会等	手を到	実施した	たと	め、目標	を達	成でき	た。				
		O205 年金機構への所得情報	根提供(免除及び年													

					11 - 1000 - 111	_	_	_	_	_		
					指標数	2	2	2	2	2		
(03	3 保険料(税)収納率[句上	達成状況	達成数	2	2	2	2	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		口座振替等の便利な納		R1	目標値	6	6	6	6	6		归除压
	03	301 付方法や減免制度につ	広報実施回数	CE	実績値	8	11	18	18			保険年 金課
		いての周知強化		60	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	並詠
				R1	目標値	4	4	4	4	4		
	03	302 告種手続・相談時の案	課内研修回数		実績値	4	4	4	4		. 🗆	保険年
		内強化	3111031113 = 311	40	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	金課
		0301 市民の適正な納付に加	IIIえ、減免制度の利	用を目的と		原正回数の周		-	標が達成で	きた。	->	
	R		,0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J, C		
	3	O3O2 制度に対する理解の配	黛成を目的として.	年度当初に	おいて年	E長者から配	置職員にの	IT研修を実	施したこと	もあり、日	連が诸	成でき
年		た。	RIN ELLICO CC		.000.0				, o o / c c c		3,75 A	194 CC
		0301 市民の適正な納付にた	川え、減免制度の利	用を目的と	して、 道	前下回数の居	知を実施し	たため、日	標を達成で	きた。		
	R		1076(1190) 611315(951) 5	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		=###		/C/C05(L)	, X C X L / X C X	٥,٠٠٥		
度	R 4	0302 制度に対する理解の	魔成を目的として.	年度当初に	おいて年	E長者から配	温職員にの	JT研修を実	施したこと	もあり、日	漂を達	成でき
	ľ	た。	M/VCBB3CO CC	1,2,3,5,6					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		ж с д	_/// (C
言平		0301 市民の適正な納付にな	IIIえ、減免制度の利	用を目的と	して、道	節下回数の馬	別を実施し	たため、目	標を達成でき	きた。		
ōŦ	R		,0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,, C,C,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J, C		
	5	0302 制度に対する理解の配	魔成を目的として.	年度当初に	おいて年	E長者から配	温職員にの	IT研修を実	施したこと	もあり、日	漂を達	成でき
価		た。	M/VCBB3CO CC	1,2,3,5,6					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		ж с д	_/// (C
		0301 市民の適正な納付にた	叩え、減免制度の利	用を目的と	して、通	原正回数の周	知を実施し	たため、日本	標を達成で	きた。		
	R	3.1111111111111111111111111111111111111	"/// 0//-3//									
	6	0302 制度に対する理解の	醸成を目的として、	年度当初に	おいて年	E長者から配	置職員にの	JT研修を実	施したこと	もあり、日	漂を達	成でき
		た。		, , , , , ,				5/11/2 (2/4			.,	

	_		и п	達成状況	指標数	6		6	6	6	6			
(04 医療費適正化への取組				達成数達成率	1 16.7	2/2	1 16.7%	0.0%	16.7%	0.0%			
		 主な内容	管理指標	基準値	建热华	R3	/0	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		101 ジェネリック医薬品の 普及促進	ジェネリック医薬品使用割合	R1	目標値		7.0	78.0	79.0					
	O			75.9%	実績値	7	7.1	78.4	78.4	84.0		%	保険年	
					評価	〇 達) 達成	× 未達成	〇 達成		以上	金課	
			受診率	R1	目標値		6.5	58.0	60.0			%	健康推	
	O۷	402 特定健康診査の美施 ※10		49.8%	実績値		2.2	45.3		R7.10公表			進課	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					_		× 未達成			以上	X=0/K	
	0402 後期高齢者健康診査の 平認度			R1	目標値		0.0	40.0	40.0			%	健康推	
	O ₄	0403 度期局即有健康診算の 受診率			実績値		3.9	36.5		R7.10公表			進課	
				31.3%					× 未達成	400	100	以上		
			受診者数	R1	目標値		00	400	400				健康推	
		(国保)			実績値		15	330	314			IVI L	進課	
	O	0404 一日人間ドックの実施 		R1				× 木達成 150	× 未達成			以上		
		受診者数			目標値実績値		30 21	149	180 150			人	健康推	
	(後期高齢)			69人				- : : -	× 未達成			以上	進課	
				R1	目標値		9.0	54.0	60.0					
	\cap	0405 健康指導の実施 ※10 特定保健指導実施率			実績値		0.5	26.3		R7.10公表		%	健康推	
	O2						-		-	111.1021	•	_ 以上	進課	
	R	証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。 O4O2 新型コロナウイルス感染症拡大により、受診控えなどの影響に加え、積極的な受診勧奨を控えていた時期等があったため、受診は減少した。 O4O3 後期高齢者被保険者対象者の増加傾向にあわせて、受診率は増加している。											受診率	
									イルス感染」	大沢の影響:	ちあったとき	きえる	_	
		0404 (国保) 応募は345人だったが、最終的に30人が未受診となった。新型コロナウイルス感染状況の影響もあったと考える。 (後期) 応募は145人だったが、最終的に9人が未受診となった。国保同様の理由が一因と思われる。												
		- (後期)												
		スが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。												
		0401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険 証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。												
		O4O2 特定健診は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるものの、勧奨等に工夫を加え受診行動に繋げるよう取り組んだことで、前年度を上回った受診率となったが、目標には至らなかった。引き続き県等の助言を受けながら、勧奨等に工夫を加え、受診対象者の行動変容を促したい。												
	R 4	O4O3 目標値を下回ったものの、後期高齢者健診事業では堅実な増加傾向がある。引き続き、目標達成に向けて事業周知をしていき、受診率の向上に繋げる。												
年														
		O405 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。 I C T の利活用など、対象者も気軽に利用できるサービス提供に努めたい。												
度		0401 メーカーの薬機法違反を契機とした供給量の低下や、新型コロナウイルス感染拡大による需要の増加により、メーカーの限定出荷による供給不足が続いたため、目標を達成できなかった。												
		0402 前年比増となった。											100 -	
		0403 ##### スいく	国民健康保険で特定	健診を受診	ジレた被係	段者の	迷続的	受診が習慣	化したもの	と推察する	。引き続き、	受診	機会を	
=177	R	0403 維持提供していく。												
平	5	O4O4 (国保) 応募は346 なった。広報等で募集 員確保に努める。												
価		特定保健指導対象者 I O4O5 確保が困難であった。			加えて、勧約	受専門	職員の							
ш		 0401 高額療養費の申請案 証更新時に同封する				載、保	食証(こ貼ること	ができるジ	ェネリック	医薬品希望	シール	を保険	
		0402 令和7年10月公表	5. 2.2.5XIII. CO. 7 L		. =0									
	R 6	0403 令和7年10月公表				//:								
		0404 (国保) 応募は363 度から広報等での募集 年度より増加したが、	集案内に加え、イン	ターネット	- (ロゴフ	フォーム	から	らの申請を	導入し、申	込者数は国				
		0405 令和7年10月公表												

※10 令和6年度及び7年度の目標値については、伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施 計画に基づき、再設定した。